

ISSN: 0037-3796



神経化学

Bulletin of the Japanese Society for Neurochemistry
Vol.56 (No.2), 2017

第 60 回日本神経化学会 (仙台) 大会

プログラム号

平成 29 年 9 月

目 次

第 60 回日本神経化学会・総会の開催について	巻頭
ご挨拶 /Greetings	71/72
日本神経化学会の歩み	73
大会委員一覧	75
交通のご案内 /Access	76/79
会場案内図 /Floor Plan	77/80
お知らせとお願い	
大会参加者へのご案内	82
座長へのご案内、COI に関する掲示、COI 該当基準	85
動物実験について	86
「第 60 回日本神経化学会大会 優秀発表賞」審査員へのご案内、口演発表者へのご案内	87
ポスター発表者へのご案内	89
「第 60 回日本神経化学会大会 優秀発表賞」の結果発表、発表資料の配色についてのお願い	90
Notification and Request	
Information for Participants	91
Information for Session Chairpersons, Information for Speakers in Symposia, and Speakers in Oral Sessions	94
Information for Poster Presenters	96
Request Concerning Use of Color in Presentation Materials	97
特別企画のご案内 /Special Programs	98/100
受賞者一覧	102
大会日程概要 /Tournament Overview	103/106
大会日程表	110
Day 1 Thursday, September 7	
Plenary Lecture	116
Symposia	117
Oral Sessions	123
Wakate Dojo	125
Poster Sessions	129
ISN/APSN/JSN Luncheon Seminar, Co-sponsored Seminars (Luncheon Seminars) 共催セミナー（ランチョンセミナー）	136
Day 2 Friday, September 8	
Plenary Lecture	137
Symposia	138
Oral Sessions	144
Wakate Dojo	147
Poster Sessions	149
Co-sponsored Seminars (Luncheon Seminars) 共催セミナー（ランチョンセミナー）	158
Day 3 Saturday, September 9	
Symposia	159
Oral Sessions	164
Co-sponsored Seminars (Luncheon Seminars) 共催セミナー（ランチョンセミナー）	167
Author Index	168
謝辞	175
学会からのお知らせ	177
理事会議事録	183
次期大会のご案内	192
学会掲示板	193
賛助会員	198
投稿規定	199

2017 年 8 月

日本神経化学会
会員 各位

日本神経化学会
理事長 和田 圭司

* 第 60 回日本神経化学会・総会の開催について *

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の通り日本神経化学会総会を開催致したくご案内申し上げます。

なお、欠席される方は委任状に必要事項（代理人もご指定下さい）をご記入の上、事務局宛てにご送付下さるか、学会当日、受付までご提出下さいますようお願い申し上げます。

敬 白

記

日 時： 2017 年 9 月 8 日（金） 13：00 ～ 14：10

場 所： 仙台国際センター A会場 2 階（大ホール）

- 議題(予定)：
- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 理事長報告 | 9. 同監査報告 |
| 2. 選挙結果報告 | 10. 2018 年度予算の件 |
| 3. 庶務報告 | 11. 監事選任の件 |
| 4. 会計報告 | 12. 評議員選任の件 |
| 5. 出版・広報報告 | 13. 名誉会員推薦の件 |
| 6. 各種委員会報告 | 14. 功労会員推薦の件 |
| 7. 2017 年度優秀賞・奨励賞選考結果報告 | 15. 会則・細則改定の件 |
| 8. 2016 年度決算の件 | 16. 次期大会の件 |
| | 17. その他 |

2017年
日本神経化学会
総 会

委 任 状
(ご欠席の方はご記入ください)

2017年日本神経化学会総会の議決権の行使に
関する一切の権限を
代理人 _____ に委任します。

2017 年 月 日

ご所属 _____

ご芳名 _____ ㊟

* なお、代理人氏名のご記入がない委任状は、
大会長を代理人としたものとして取扱います。

郵便がき

1608792

376

料金受取人払郵便

新宿局承認

4687

差出有効期間
平成30年7月
31日まで



日本神経化学会

(財)国際医学情報センター内

東京都新宿区信濃町三五 信濃町煉瓦館5階

行

ご挨拶



日本神経化学会（JSN）は神経化学懇話会を母体として、1958年に第1回大会が開催されました。今年は発足60年という節目を迎え、先輩方の功績に感謝すると同時に、次の10年の計をたてる重要な大会になります。本学会は臨床系の神経・精神学者と基礎脳科学者がお互いに切磋琢磨して発展してきました。私も研究を始めた頃、学会での発表と討論で鍛えられ、励まされたことで神経化学の基礎を作りました。即ち、本学会の使命は脳研究の発展と同時に、次世代の育成であると思います。

今年のメインテーマは「神経・精神と化学の融合を目指して60年」としました。神経化学会は神経内科や神経精神科の専門家と基礎脳科学者が集い、高次脳機能と疾患を物質レベルで追究するというユニークな学会です。特別講演では Ype Elgersma 博士（ENCORE Expertise Centre For Neurodevelopment Disorders, Rotterdam）に“Neurodevelopmental disorders: From basic mechanisms to clinical trials”と Ronald Melki 博士（Paris-Saclay Institute of Neuroscience, Paris）に“Prion-like propagation of alpha-synuclein assemblies in synucleinopathies”の講演をお願いしました。まさに基礎から臨床へのアプローチを実践されている先生です。次世代の神経化学会の担い手である若手育成セミナー出身者が2つのシンポジウムを企画します。神経化学会理事会企画シンポジウムは一般公開として、東北地域の一般学生に無料で公開されます。さらに、ISN/JSN および APSN/JSN のジョイントシンポジウムを含めて、24のシンポジウムを会員の先生が企画されました。口頭およびポスター発表において優れた発表者には優秀発表賞が授与されます。

日本神経化学会のもう一つの特徴は、International Society for Neurochemistry (ISN) とそのグループである APSN と JSN が密接に連携して、若手研究者の育成と学会の国際化を進めていることです。今回も ISN-APSN-JSN Advanced School を学会前、5日間開催します。Advanced School にはアジア・オセアニア地域からチャレンジ精神をもった若者が参加します。是非、発表を通じて交流してください。東北地方も東北大震災から6年がたち、復興から発展へとチャレンジを続けています。この秋には生まれ変わった東北を体験してください。最後に、本大会が次の10年の足がかりになることを祈念しております。

第60回日本神経化学会大会

大会長 福永 浩司

（東北大学大学院薬学研究科教授）

Greetings



The Japanese Society for Neurochemistry (JSN) is originated for Nihon-Shinkeikagaku-Konwa-kai, which started in 1958. The society will pass its 60 years anniversary this year. The society members are grateful to senior members for their great contribution and have new feelings for the next decade of JSN. Our society will promote collaborative research and the next generation of training.

The main theme for 60th Annual Meeting has been set as “Impact of 60 Years in Fusion of Neurology/ Psychology and Chemistry”. In this context, basic neuro-chemists should make more efforts to collaborate with clinical pathologists and psychologists to define molecular basis underlying higher brain dysfunctions. We introduce Dr Ype Elgersma’s special lecture entitled “Neurodevelopmental disorders: From basic mechanisms to clinical trials” and Dr Ronald Melki’s special lecture entitled “Prion-like propagation of alpha-synuclein assemblies in synucleinopathies”. Indeed, the lectures bring us impact of basic to clinical research. You can also enjoy 24 symposiums including the next generation symposiums and the society council member’s symposium. We also make a program of ISN/JSN and APSN/JSN joint symposium. Young investigators with excellent performance are awarded prizes both in oral and poster presentations.

We would like to emphasize the close relationship between JSN and ISN/APSN for the society globalism and the next generation training. We therefore celebrate to organize ISN-APSN-JSN Advanced School in Sendai for 5 days before JSN annual meeting. We hope to communicate with attractive students from Asia/ Oceania areas during the annual meeting. We also announce that people suffering from the Great East Japan Earthquake now establish their new life after disaster recovery. Please let experience something from the Tohoku areas in this autumn.

The 60th Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry

Chairperson: **Kohji Fukunaga**

Professor, Department of Pharmacology

Tohoku University Graduate School of Pharmaceutical Sciences

日本神経化学会の歩み

日本神経化学会年表

理事長	名 称	年 度	会 期	会 長	開催地	備 考
	第 1 回神経化学懇話会	1958	10/11-10/12		大 阪	
	第 2 回神経化学懇話会	1959	11/14-11/15		東 京	
	第 3 回神経化学懇話会	1960	11/05-11/06		大 阪	
	第 4 回神経化学懇話会	1961	11/25-11/26		東 京	
塚田 裕三 (常任委員長)	第 5 回神経化学懇話会	1962	11/17-11/18	中 修三	大 阪	会員制施行。「神経化学」創刊。
	第 6 回神経化学懇話会	1963	10/04-10/05	臺 弘	東 京	
	第 7 回神経化学懇話会	1964	10/09-10/10	中 修三	大 阪	
	第 8 回神経化学懇話会	1965	09/16-09/18	塚田 裕三	東 京	日米神経化学会議（大磯）10/11-10/15
塚田 裕三	第 9 回神経化学懇話会	1966	10/07-10/08	佐野 勇	大 阪	日米神経化学会と改称（11月）
	第 10 回日本神経化学会	1967	10/05-10/06	小林 龍男	東 京	7/23-7/28 第 1 回 ISN 国際神経化学会議開催（Stasbourg）
	第 11 回日本神経化学会	1968	10/18-10/19	早石 修	京 都	
	第 12 回日本神経化学会	1969	10/24-10/25	塚田 裕三	東 京	
	第 13 回日本神経化学会	1970	10/16-10/17	高坂 睦年	岡 山	
	第 14 回日本神経化学会	1971	10/15-10/16	山川 民夫	東 京	
	第 15 回日本神経化学会	1972	10/15-10/16	中嶋 照夫	大 阪	
	第 16 回日本神経化学会	1973	11/30-12/01	平野 修助	東 京	8/26-8/31 第 4 回 ISN 国際神経化学会議開催（東京）
	第 17 回日本神経化学会	1974	10/24-10/26	栗山 欣弥	京 都	
	第 18 回日本神経化学会	1975	11/13-11/15	黒川 正則	東 京	
	第 19 回日本神経化学会	1976	10/14-10/16	佐武 明	新 潟	
	第 20 回日本神経化学会	1977	10/27-10/29	吉田 博	大 阪	
	第 21 回日本神経化学会	1978	10/26-10/28	永田 豊	名古屋	
	第 22 回日本神経化学会	1979	11/16-11/17	高垣玄吉郎	東 京	
	第 23 回日本神経化学会	1980	11/13-11/15	柿本 泰男	松 山	“神経化学の将来を語る”集会
	第 24 回日本神経化学会	1981	11/27-11/28	高橋 良	長 崎	科学研究費調査委員会及び学会運営検討委員会の設置
	第 25 回日本神経化学会	1982	11/13-11/15	永津 俊治	東 京	
	第 26 回日本神経化学会	1983	11/14-11/16	垣内 史朗	大 阪	
	第 27 回日本神経化学会	1984	11/15-11/17	植村 慶一	東 京	会則改正に関する答申
	第 28 回日本神経化学会	1985	11/05-11/07	宮本 英七	熊 本	
	第 29 回日本神経化学会	1986	10/30-11/01	大月 三郎	岡 山	
	第 30 回日本神経化学会	1987	10/28-10/30	塚田 裕三	東 京	第 30 回記念大会
	第 31 回日本神経化学会	1988	10/26-10/28	小暮 久也	仙 台	
柿本 泰男	第 32 回日本神経化学会	1989	09/27-09/29	野村 靖幸 山下 格	札 幌	
	第 33 回日本神経化学会	1990	10/24-10/26	瀬川 富朗	広 島	3 月 ASN-JSN Joint Symposium (Phoenix)
	第 34 回日本神経化学会	1991	10/14-10/16	永井 克孝	東 京	公募によるシンボルマークの決定（デザイン：田中 亮）
	第 35 回日本神経化学会	1992	10/20-10/22	田中 亮	名古屋	10/22-10/23 第 1 回アジアパシフィック神経化学会議（APSN）開催（名古屋）
植村 慶一	第 36 回日本神経化学会	1993	10/25-10/27	三木 直正	大 阪	科研費細目 神経化学・神経薬理の発足
	第 37 回日本神経化学会	1994	10/06-10/08	武富 保	松 本	
宮本 英七	第 38 回日本神経化学会	1995	07/01-07/02	中嶋 照夫	京 都	7/2-7/7 第 15 回国際神経化学会議開催（京都）
	第 39 回日本神経化学会	1996	10/02-10/04	加藤 尚彦	横 浜	
小宮 義璋	第 40 回日本神経化学会	1997	10/22-10/24	片岡 喜由	松 山	
	第 41 回日本神経化学会	1998	09/21-09/23	御子柴克彦	東 京	第 1 回神経化学・神経科学合同大会
三木 直正	第 42 回日本神経化学会	1999	09/15-09/17	中村 重信	広 島	
	第 43 回日本神経化学会	2000	10/18-10/20	東田 陽博	金 沢	奨励賞の創設
御子柴克彦	第 44 回日本神経化学会	2001	09/26-09/28	畠中 寛	京 都	会長代行：三木 直正
	第 45 回日本神経化学会	2002	07/17-07/19	野村 靖幸	札 幌	
	第 46 回日本神経化学会	2003	09/24-09/26	辻 省次	新 潟	生物物理学会と合同
	第 47 回日本神経化学会	2004	09/21-09/23	遠山 正彌	大 阪	Neuro2004

理事長	名 称	年 度	会 期	会 長	開催地	備 考
遠山 正彌	第 48 回日本神経化学会	2005	09/28-09/30	神庭 重信	福 岡	<三学会合同>精神神経薬理 生物学的精神医学
	第 49 回日本神経化学会	2006	09/14-09/16	鍋島 俊隆	名古屋	
高坂 新一	第 50 回日本神経化学会	2007	09/10-09/12	高坂 新一	横 浜	Neuro2007
	第 51 回日本神経化学会	2008	09/11-09/13	武田 雅俊	富 山	日本生物学的精神医学会と合同 / The 2nd WFSBP Asia Pacific Congress と連携開催
	第 52 回日本神経化学会	2009	06/21-06/24	田代 朋子	伊香保	神経組織の成長・再生・移植研究会と合同
	第 53 回日本神経化学会	2010	09/02-09/04	井上 和秀	神 戸	Neuro2010
井上 和秀	第 54 回日本神経化学会	2011	09/26-09/28	米田 幸雄	金 沢	第 11 回アジア太平洋神経化学会大会と合同
	第 55 回日本神経化学会	2012	09/30-10/02	池中 一裕	神 戸	
木山 博資	第 56 回日本神経化学会	2013	06/20-06/23	木山 博資	京 都	Neuro2013 / 第 11 回世界生物学的精神医学会国際会議と連携開催
	第 57 回日本神経化学会	2014	09/29-10/01	塩坂 貞夫	奈 良	第 36 回日本生物学的精神医学会と合同
今泉 和則	第 58 回日本神経化学会	2015	09/11-09/13	白尾 智明	埼 玉	第 38 回日本生物学的精神医学会と合同
	第 59 回日本神経化学会	2016	09/08-09/10	和田 圭司	福 岡	
和田 圭司	第 60 回日本神経化学会	2017	09/07-09/09	福永 浩司	仙 台	

大会委員一覧

第 60 回日本神経化学学会大会

大会長

福永 浩司 東北大学大学院薬学研究科薬理学分野 教授

組織委員会

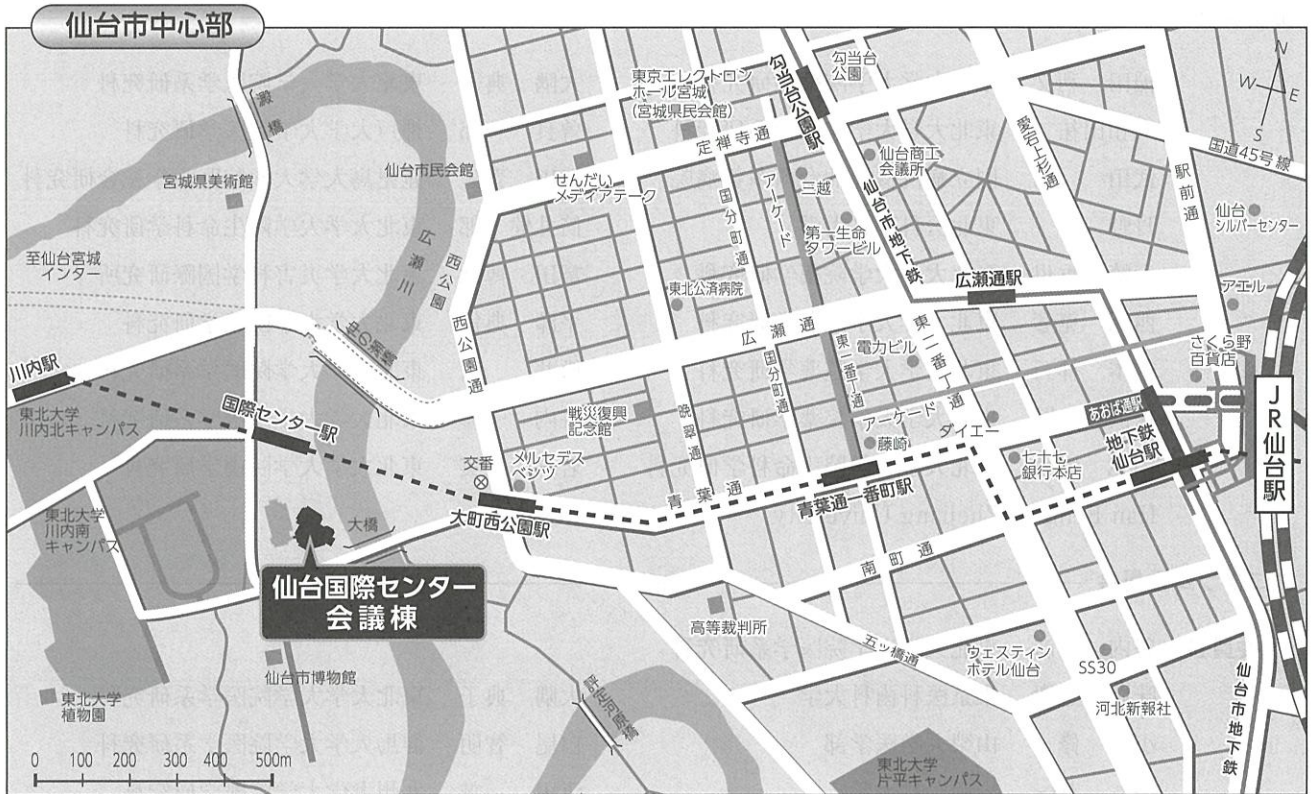
稲田 利文	東北大学大学院薬学研究科	大隅 典子	東北大学大学院医学系研究科
大和田祐二	東北大学大学院医学系研究科	曾良 一郎	神戸大学大学院医学研究科
武田 篤	国立病院機構仙台西多賀病院	武田 泰生	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
丹野 孝一	東北医科薬科大学	筒井健一郎	東北大学大学院生命科学研究科
寺崎 哲也	東北大学大学院薬学研究科	富田 博秋	東北大学災害科学国際研究所
西森 克彦	東北大学大学院農学研究科	平澤 典保	東北大学大学院薬学研究科
古本 祥三	東北大学大学院薬学研究科	松井 広	東北大学大学院医学系研究科
松沢 厚	東北大学大学院薬学研究科	谷内 一彦	東北大学大学院医学系研究科
山元 大輔	東北大学大学院生命科学研究科	若森 実	東北大学大学院歯学研究科
Han Feng	Zhejiang University		

プログラム委員会

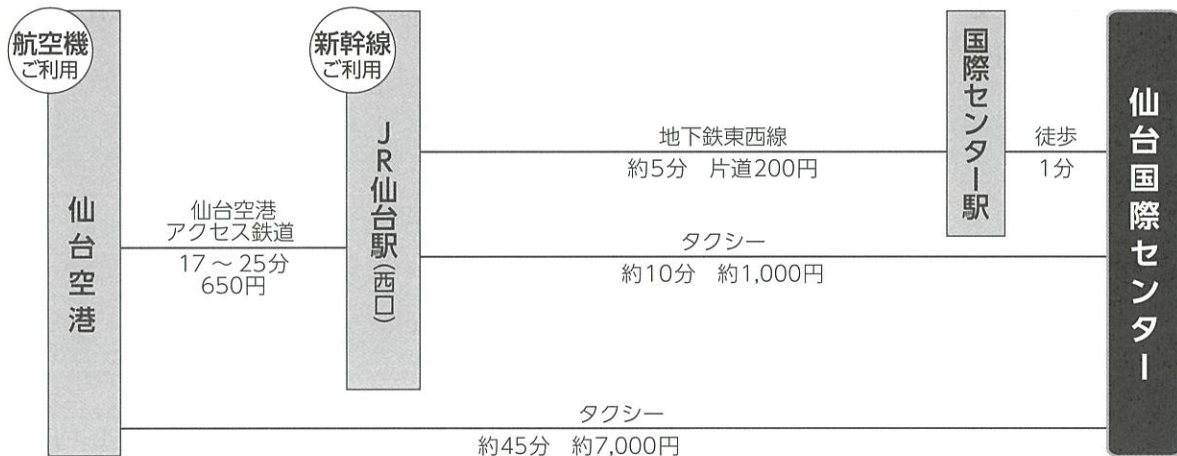
委員長：谷内 一彦 東北大学大学院医学系研究科			
味岡 逸樹	東京医科歯科大学	大隅 典子	東北大学大学院医学系研究科
小泉 修一	山梨大学医学部	白尾 智明	群馬大学大学院医学系研究科
平 英一	岩手医科大学	津田 誠	九州大学大学院薬学研究科
橋本 均	大阪大学大学院薬学研究科	橋本 亮太	大阪大学大学院医学系研究科
長谷川隆文	東北大学大学院医学系研究科	久永 真市	首都大学東京理工研究科
和中 明生	奈良県立医科大学		

交通のご案内

仙台国際センター 会議棟
〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山
TEL: 022-265-2211



●交通のご案内



★東京から新幹線で

東京駅より、仙台駅まで新幹線「はやぶさ」で約1時間35分。

★航空機で

札幌、成田、小松、名古屋(中部)、大阪(伊丹)、大阪(関西)、広島、福岡、沖縄(那覇)からのフライトがあります。

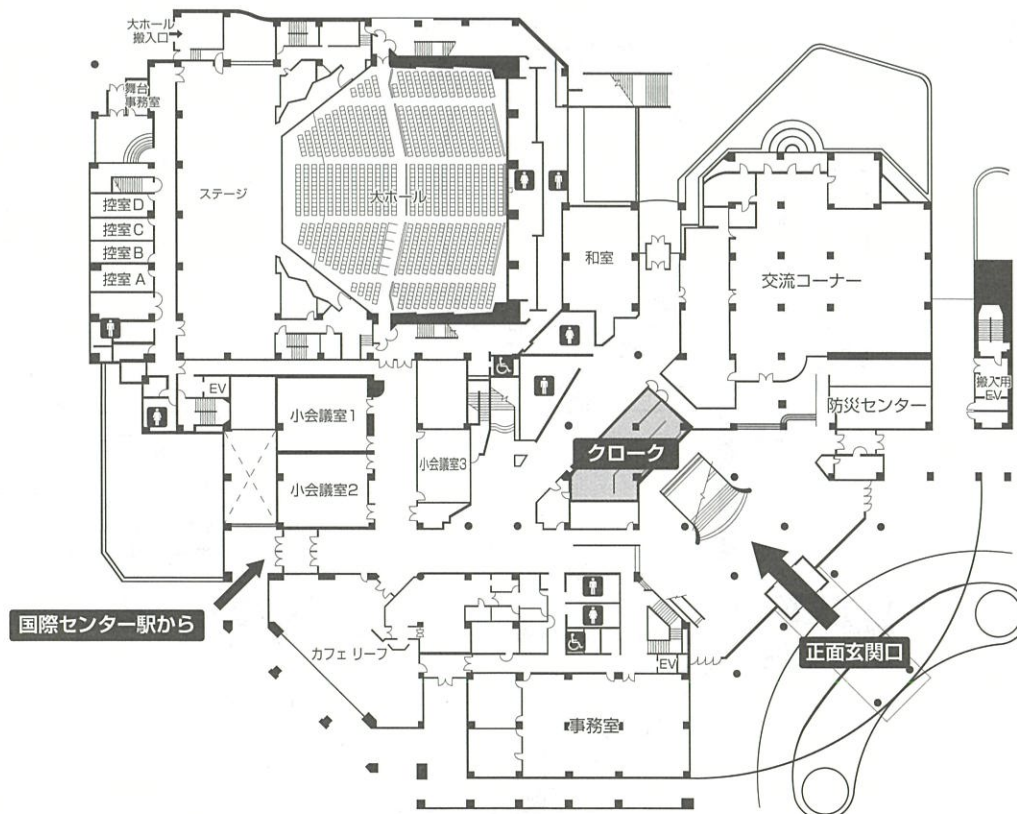
会場案内図

仙台国際センター会議棟

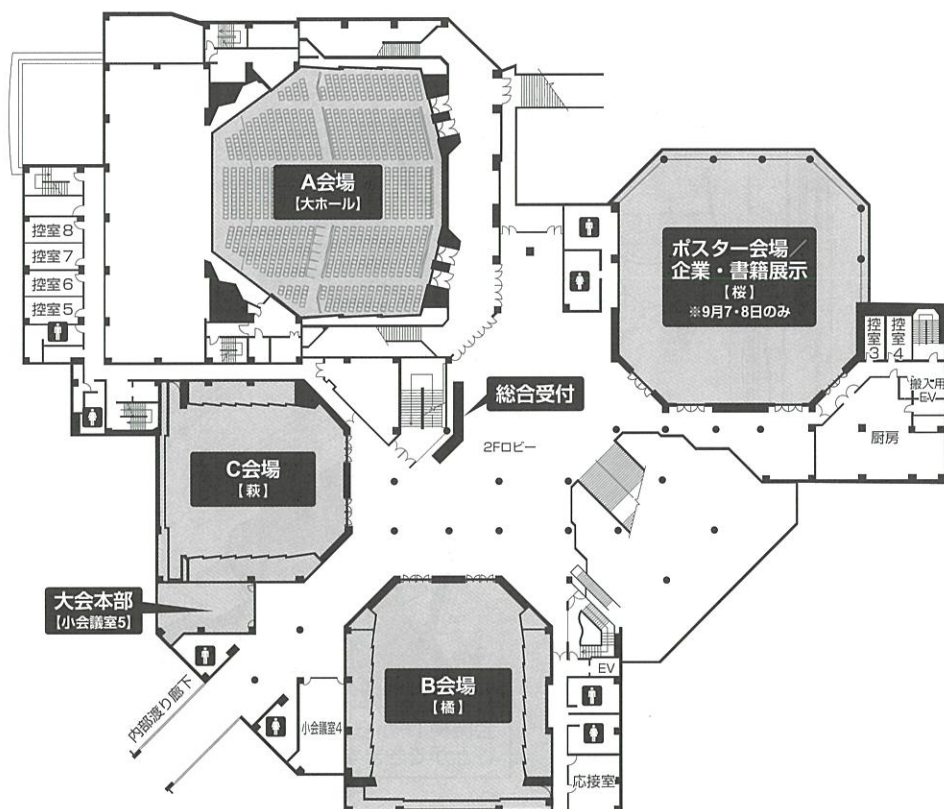
●国際センター駅から会場へのルート



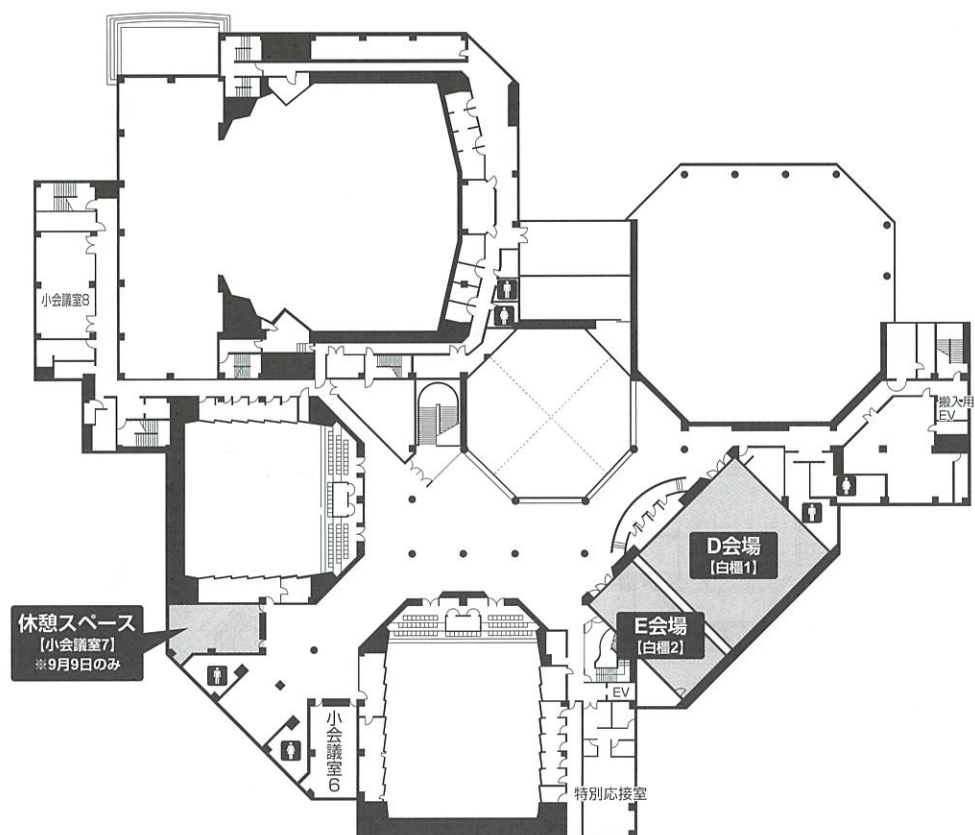
1F



2F



3F



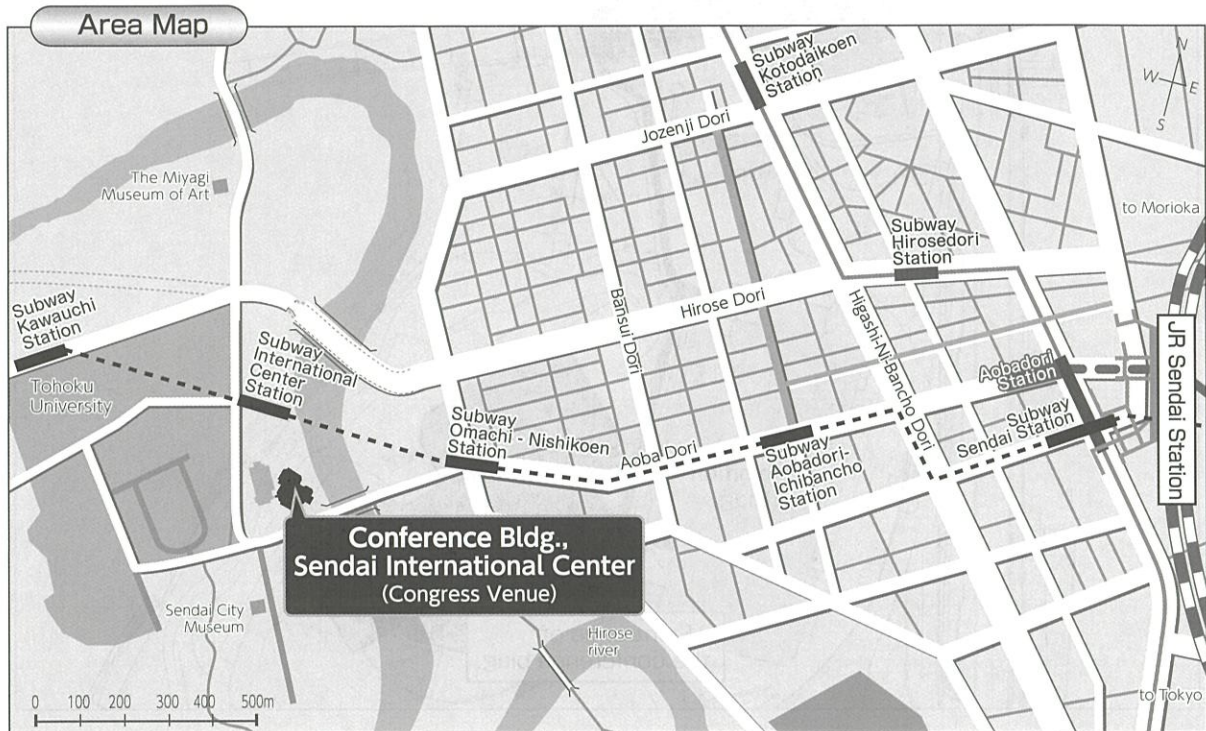
Access

●Congress Venue

Conference Bldg., Sendai International Center

Aobayama, Aoba-ku, Sendai 980-0856

Tel. +81-22-265-2211



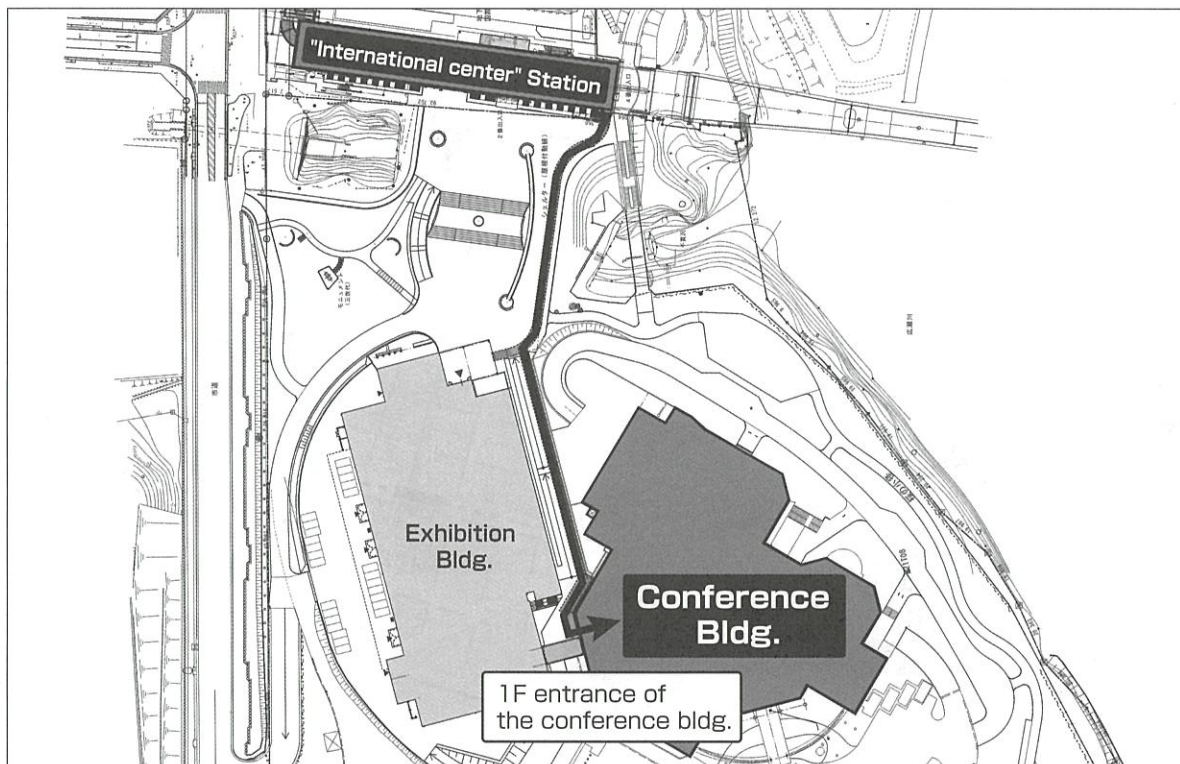
●Access



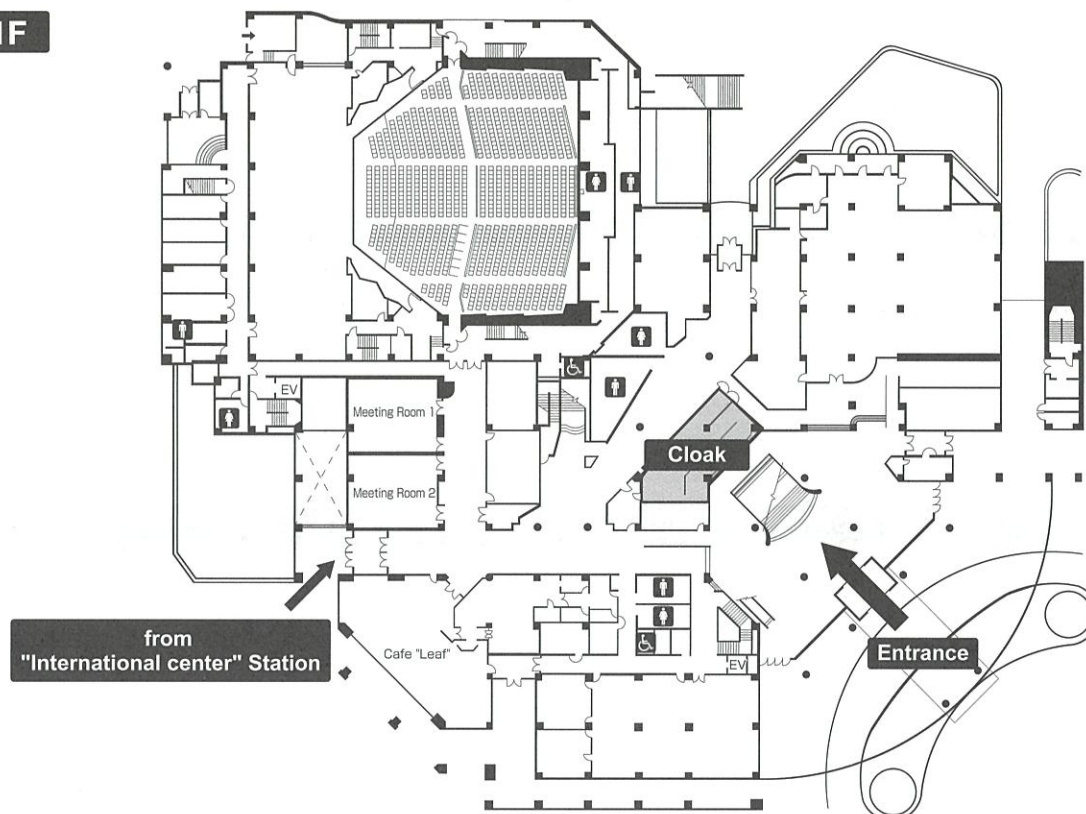
Floor Plan

Conference Bldg. Sendai International Center

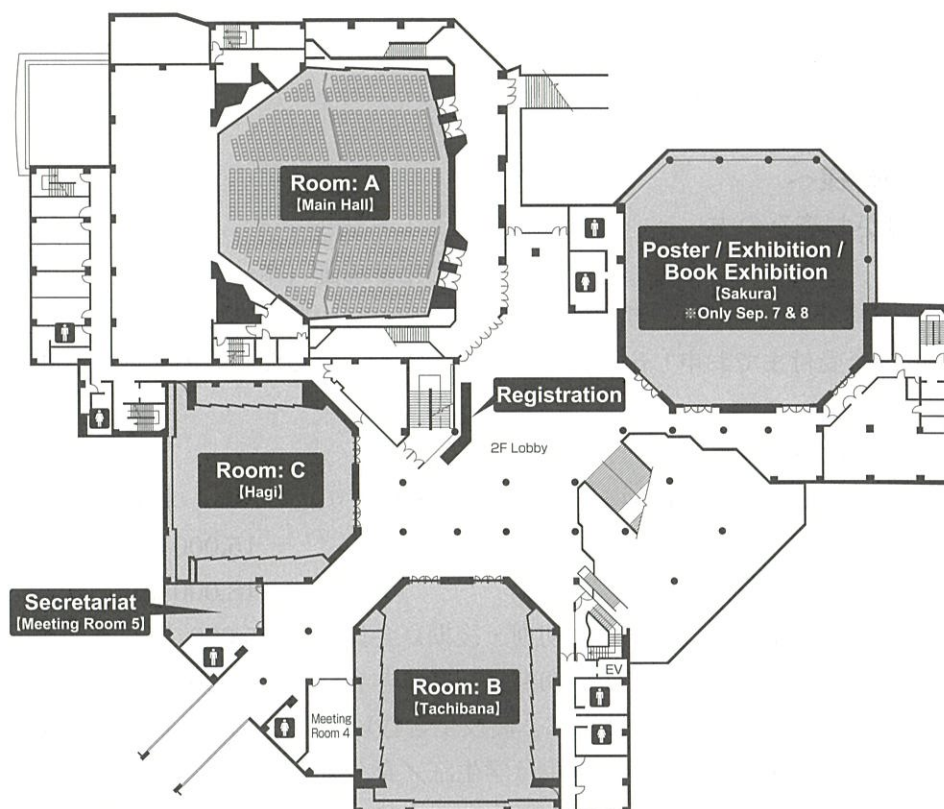
● Route from "International center" station to venue



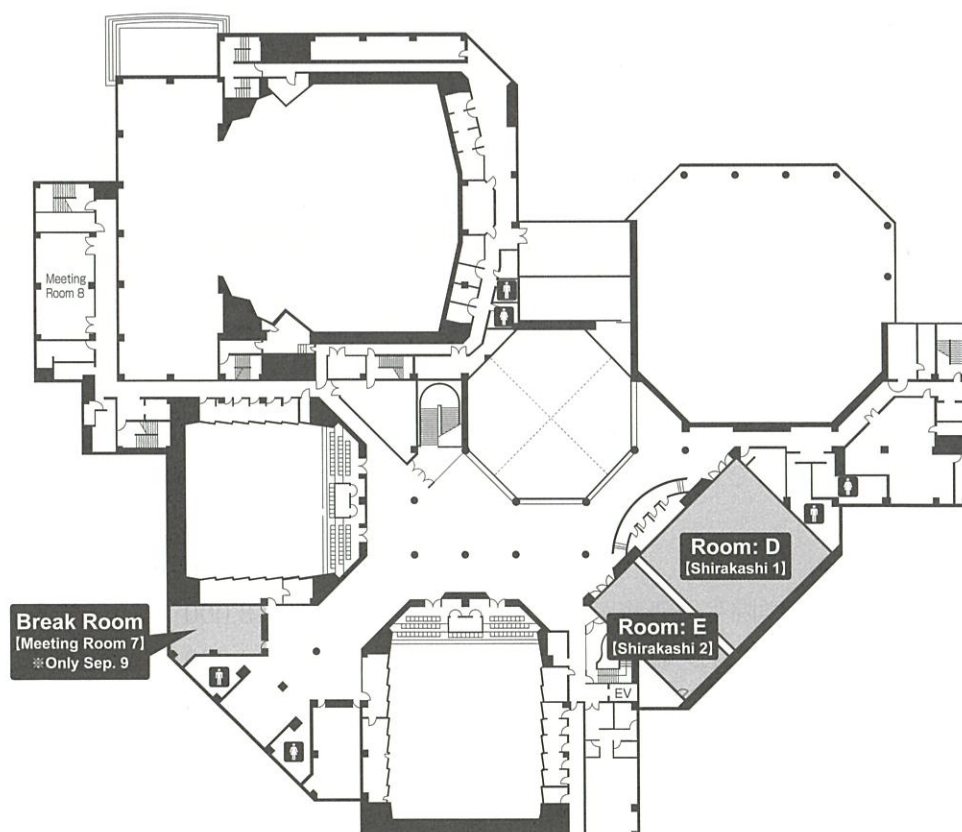
1F



2F



3F



大会参加者へのご案内

総合案内

【仙台国際センター 2F ロビー】

9月7日（木）8：00～18：30

9月8日（金）8：00～18：30

9月9日（土）8：00～15：00

1. 参加者の皆様へ

●事前登録がお済みの方

学会当日は、大会事務局からお送りいたしました参加証（ネームカード）に所属と氏名をご記入の上、必ずご持参ください。会期中はネームカードを必ず着用してください。万が一、お忘れになった場合は総合受付までお申し出ください。ネームカードのない方の入場はお断りいたします。

●当日参加登録される方

受付は仙台国際センター 2F ロビーにおいて、8時より開始いたします。参加費は以下の通りです。

会員（一般） 15,000 円 （不課税）

非会員（一般） 18,000 円 （税込）

博士・修士課程大学院生、研修医（初期・後期）会員 5,000 円 （不課税）

博士・修士課程大学院生、研修医（初期・後期）非会員 7,000 円 （税込）

※学部学生（6年生の医学部、薬学部、高校生含む）は会員・非会員に関わらず無料です。

※博士・修士課程大学院生、学部学生は学生証／身分証をお持ちください。

●非会員の方

日本神経化学会に入会希望の方は、下記事務局までお問い合わせください。

（入会申込連絡先）

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館

（一財）国際医学情報センター内 日本神経化学会事務局

TEL：03-5361-7107 FAX：03-5361-7091

E-mail：jsn@imic.or.jp

●懇親会

大会2日目の9月8日（金）19時より仙台国際センター 2F 桜にて行います。

参加費は以下の通りです。当日参加も総合受付で受付けます。お早目に申し込みください。

会員（一般） 5,000 円 （税込）

非会員（一般） 5,000 円 （税込）

博士・修士課程大学院生、研修医（初期・後期）会員 3,000 円 （税込）

博士・修士課程大学院生、研修医（初期・後期）非会員 3,000 円 （税込）

学部学生 3,000 円 （税込）

●研修単位・認定ポイントについて

本学会への参加は、日本精神神経学会の認定医療研修単位の対象となります。

日本精神神経学会の精神科専門医資格認定更新は、専門医認定ポイントの受付にて会員証をご提示の上、ご登録ください。

それ以外の学会については、参加証および領収書を各自で学会に提出し、単位申請してください。

2. お知らせ

●会場の入場について

仙台国際センターの開館は午前 8 時となっております。午前 8 時以前には入場できませんのでご注意ください。

●会場内について

会場内では携帯電話をマナーモードに設定いただき、通話をご遠慮願います。

また、携帯電話・ビデオカメラによる撮影もご遠慮願います。

災害発生時は係員の指示に従い速やかに避難してください。

●呼び出し・伝言

アナウンスでの参加者の呼び出し、お電話のお取次ぎ等は一切いたしません。

総合案内（仙台国際センター 2F ロビー）に伝言掲示板を設けておりますので、ご利用ください。

●クローク

会期中はクロークを設置いたします。なお、貴重品や傘はお預かりできませんので、予めご了承ください。

クローク開設場所・時間

【仙台国際センター 1F】

9 月 7 日（木）8：00～19：00

9 月 8 日（金）8：00～20：45

9 月 9 日（土）8：00～16：00

●ランチョンセミナー

お弁当に限りがありますので、整理券を開催日の 8：30 より先着順に整理券デスク（仙台国際センター 2F ロビー）にて配布いたします。

配布は 1 人 1 日 1 枚となります。なお、参加証のご提示が必要になります。

●フリーWi-Fi サービス

会場に設置された案内に従って、回線を選択し、パスワードを入力の上ご使用ください。

●ドリンクコーナー

9月7日（木）、8日（金）：2F 桜

9月9日（土）：3F 小会議室7

無料のテアニンコーヒー等をご用意いたします。

※数に限りがございますので、予めご了承ください。

●抄録集

Web 抄録集のみとなります。

URL につきましては別途ご案内申し上げます。

●大会本部

仙台国際センター 2F 小会議室5

3. 関連行事

●理事会

日時：9月6日（水）13時～17時（終了予定）

会場：仙台国際センター 1F 小会議室1

●評議員会・総会

日時：9月8日（金）12時20分～13時00分（評議員会）

9月8日（金）13時00分～14時10分（総会）

会場：A会場（仙台国際センター 2F 大ホール）

座長へのご案内

- 座長の方は、セッション開始 15 分前までに各会場へお越しの上、右手前方の次座長席にお掛けください。
- 発表時間、質疑応答時間を厳守し、円滑な運営にご協力をお願いいたします。
一般口演、若手道場会場に計時回線をご用意いたします。発表中は緑色ランプ、質疑応答時には橙色ランプ、時間超過時には赤色が点灯いたします。

COI に関する掲示

第 60 回日本神経化学学会大会では、COI の開示に関してはご発表時に規定の COI に関するスライド（またはポスター）掲示をご参考ください。発表時に口頭での説明は不要です。規定スライドのダウンロード並びに使用方法是大会ホームページをご覧ください。

指定演題、一般口演または若手道場での発表者の方

※該当基準は下記「COI 該当基準」をご覧ください。

該当なし：タイトルスライドに、COI 該当なしを枠付きで明記してください。

該当あり：スライドの 1 枚目に、学会指定の COI スライドを提示してください。

一般演題（ポスター）での発表者の方

※該当基準は下記「COI 該当基準」をご覧ください。

該当なし：ポスター最下段に「演者 COI 該当なし」を枠付きで記載してください。

該当あり：ポスター最下段に該当項目を枠付きで記載してください。

（表形式でも文章でも結構です）

COI 該当基準

開示が必要なものは、一年間（演題登録時・講演時・論文投稿時から遡って過去一年間）とする。

なお、開示すべき事項は、該当する発表の内容にかかわるものに限るものとする。

各々の開示すべき事項について、自己申告が必要な金額を次のように定める。

下記に該当する場合、「該当する」として、その内容を提示する。

- 1) 企業、法人組織、営利を目的とする団体の役員、顧問職についている場合。ただし、一つの企業・組織や団体からの報酬額が年間 100 万円以上の場合に限る。
- 2) 学会活動に関連したエクイティを所有している場合。なお、エクイティとは、株式・出資金、ストックオプション・受益権・転換社債等をいう。ただし、株式の保有については、一つの企業についての 1 年間の株式による利益（配当、売却益の総額）が 100 万円以上の場合、あるいは当該全株式の 5 パーセント以上を保有する場合に限る。

- 3) 特許権等に基づく収入を得ている場合。なお、特許権等とは、特許権、実用新案権、意匠権、育成者権、回路設置利用権、プログラムの著作権等を含む。ただし、一つの権利使用量が年間 100 万円以上の場合に限る。
- 4) 自らの主たる給与が勤務先の経常費以外から支出されている場合。
- 5) 民間企業や営利を目的とした団体等から金銭的支援（受託研究費、共同研究費、臨床試験、寄付講座、奨学寄附金等）を受けている場合。ただし、一つの企業・団体から総額で年間 100 万円以上受領している場合に限る。
- 6) 企業や営利を目的とした団体から、会議の出席（発表）に対して支払われた日当や講演料等の報酬、または、パンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料がある場合。ただし、一つの企業・団体から年間 50 万円以上受領した場合に限る。
- 7) その他、第三者から見て、利益相反状態を指摘される可能性があると考えられる事項。例えば、学会活動とは無関係な旅行や贈答品の受領などが該当する。ただし、一つの企業や団体等から受けた報酬が年間 5 万円以上のものに限る。

日本神経化学会利益相反指針は大会ホームページよりご確認ください。

動物実験について

動物実験に当たっては、その原則である代替法の利用（科学上の利用の目的を達することができる範囲において、できる限り動物を供する方法に代わり得るものを利用すること）、使用数の削減（科学上の利用の目的を達することができる範囲において、できる限りその利用に供される動物の数を少なくすること等により実験動物を適切に利用することに配慮すること）及び苦痛の軽減（利用に必要な限度において、できる限り動物に苦痛を与えない方法をとること）の 3R（Replacement、Reduction、Refinement）に基づいて、「動物愛護管理法」、「飼養保管基準」、「研究機関における動物実験等の実施に関する基本指針」、「動物実験の適切な実施に向けたガイドライン」、「動物の処分方法に関する指針」その他の法令などを遵守し、研究施設の定める動物実験規則に従って実施しなければなりません。

動物実験に該当する発表者は「動物実験に関する関連法令・通達のほか、当該施設における動物実験指針を遵守した」旨を明記してください。

「第 60 回日本神経化学学会大会 優秀発表賞」 審査員へのご案内

本大会では若手研究者の育成のため、学部学生、大学院生、若手研究者の発表は口演（若手道場）、ポスターを審査対象にしております。

神経化学学会大会優秀発表賞：若手道場の座長・審査員には、予め審査用紙をお渡ししますので総合受付までお越してください。セッションにおいて最も優れた発表に投票してください。審査用紙は、セッション終了後に総合受付までご提出ください。

神経化学大会優秀ポスター賞：プログラム集に貼付しました投票用紙に優秀ポスター賞にノミネートされた演題の中から最も優れた発表を記載し、総合受付に設置している優秀ポスター賞投票ボックスにお入れください。ポスターパネルにリボンのついた演題が審査対象となります。なお、投票は神経化学学会の会員に限らせていただきます。投票者のご所属とお名前も記載してください。公平性を期すために、同所属の演者への投票は無効とさせていただきます。ご了承ください。

口演発表者へのご案内

■発表言語

- 二つの特別講演、シンポジウム・若手道場・ポスター発表の一部のセッションは英語になります。
- スライドの作成は英語で行ってください。

■発表時間

- シンポジウムは、座長の指示に従ってください。
- 一般口演は発表 10 分、討論 5 分です。
- 若手道場は発表 10 分、討論 10 分です。

■発表の流れ

発表は全て PC プレゼンテーションでお願いします。

発表の際は演台に設置しておりますキーボードとマウスを使って、演者ご本人にて操作をお願いします。音声の出力には対応しておりませんので、予めご了承ください。

【発表データ受付方法】

ご自身が発表される会場内左手前方にございます、PC デスクにて受け付けます。発表の 30 分前までにお越してください。

<Windows でのご発表の場合>

- ・PC 本体の持込
- ・USB フラッシュメモリーの持込

<Macintosh でのご発表の場合>

- ・PC 本体の持込

■発表データ作成について（USB フラッシュメモリーの持込）

- 文字化けを防ぐため、下記のフォントにて作成してください。

MS (MSP)ゴシック、MS (MSP)明朝、Century、Times New Roman

- OS : Windows 7

- アプリケーション : Power Point2003、2007、2010、2013、2016

- 画像の解像度は XGA (1024×768 ピクセル) です。このサイズより大きい場合、スライドが正しく表示されない場合がありますので、画像の設定を XGA に合わせてください。
- 動画データを使用の場合は下記のソフトで再生可能であるものに限定いたします。

Windows Media Player

※ メディアプレーヤーの初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画、WMV (ウインドウズメディアビデオ) フォーマットでの使用が安全です。

- 必ず事前にご自身でウィルスチェックを行ってください。
- データは作成した PC 以外の PC に貼り付け、画像などを必ず確認してからお持ちください。
- コピーしたデータは、会終了後主催者側で責任を持って消去いたします。

■機材について（PC 本体の持込）

- 会場で使用できる PC は Windows7 です。WindowsXP、Windows8、Macintosh の方は必ず PC 本体をご持参ください。
- 発表に使用される PowerPoint に動画ファイルを添付している場合は、PC 本体のお持込をお勧めします。
- PC と機器との接続は、Mini-D sub15 ピンで行います。PC を持参される場合は、予め差込口があるかご確認ください。ない場合は、変換コネクタを合わせて持参してください。
- PC 本体の AC アダプターは必ずご用意ください。バッテリーでの発表は、バッテリー切れとなることがあります。
- 発表中にスクリーンセイバーが起動したり、省電力モードにならないように設定してください。
- プレゼンテーションデータに静止画・動画・グラフ等のデータをリンクさせている場合はそのデータも必ず保存していただき、事前に動作確認を行ってください。
- 発表に際し、音声の利用はできません。

ポスター発表者へのご案内

●パネルは事務局にて用意します。ポスターは、貼付パネルのスペース内に収まるように作成してください。貼付パネルのサイズは、下図を参照してください。

パネルサイズ

高さ：180 cm（全長 210 cm）

幅：120 cm

●英語にて作成ください。

●ポスター発表は発表 3 分、討論 2 分です。

●貼付・閲覧・発表時間帯は下記の通りになります。

9 月 7 日（木）

貼付時間：9 時～10 時 30 分

閲覧時間：10 時 30 分～17 時 30 分

発表時間：17 時 30 分～18 時 30 分

撤去時間：18 時 30 分～19 時

9 月 8 日（金）

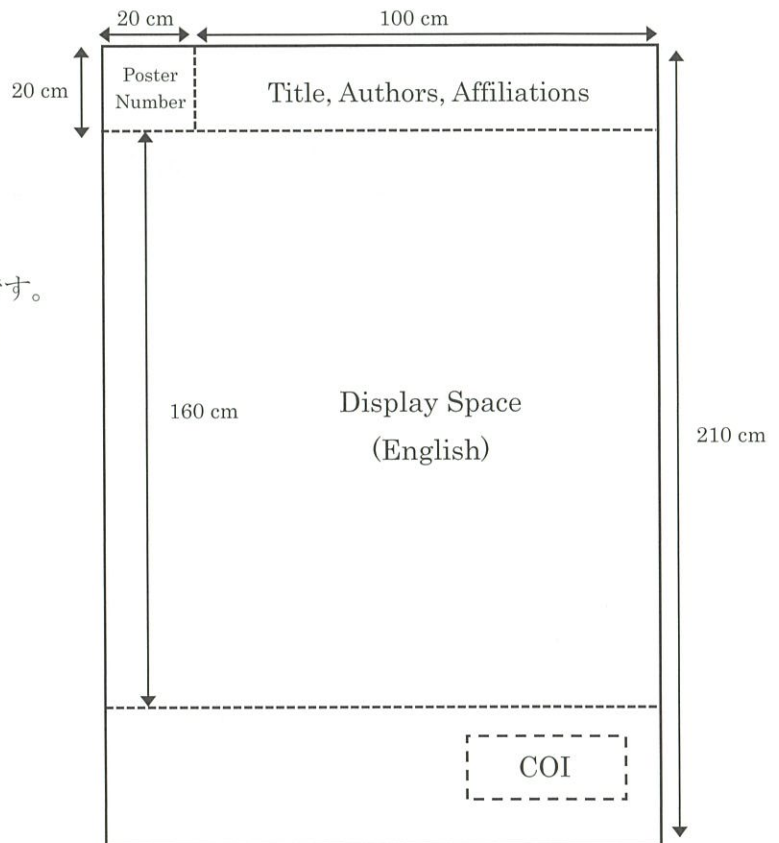
貼付時間：9 時～10 時 30 分

閲覧時間：10 時 30 分～13 時 20 分

14 時 20 分～16 時 30 分

発表時間：13 時 20 分～14 時 20 分

撤去時間：16 時 30 分～17 時



●ポスター番号は、大会の日程と演題番号から割り振られます（1 日目 17 番→1P-17）。

●ポスターは、ご自身のポスター番号の位置に、貼付時間内にご自身で貼り付けてください。ポスター番号は、予めパネルに表示してあります。お間違いないようご注意ください。

●貼付に必要な画びょうは、予めパネルに設置いたします。

●ポスター優秀発表賞の候補者のパネルには、事務局にてリボンをつけてあります。

●撤去時間を過ぎてもポスターが残されていた場合、事務局にて回収・処分いたします。予めご了承ください。

「第 60 回日本神経化学学会大会 優秀発表賞」の結果発表

若手道場の受賞者の発表は、9 月 9 日（土）の午前中に 2F ロビーの掲示板で行います。また、授賞式を同日の閉会式の際に行います。受賞者の方々は、ご参加いただきますようよろしくお願い致します。参加できない場合は、その旨をスタッフにお伝えください。

ポスターの優秀発表賞の発表については、集計の都合上、後日大会ホームページにて行います。

発表資料の配色についてのお願い

日本人男性の 5%（約 300 万人）、白人男性の約 8%は、赤や緑の混じった特定の範囲の色について、差を感じにくいという視覚特性を持っています。発表資料作成の際は以下の点にご配慮いただきますよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 2 重染色や DNA チップの画像は、緑と赤だけではなく緑と赤紫（マゼンタ）で表示する。
2. 3 重以上の染色は、全色の重ね合わせだけでなく重要な 2 色だけの組み合わせも緑と赤紫で表示する。（あるいは各チャンネルの図を別々に表示する）
3. グラフや解説図では、離れた 2 か所の色を照合するのが非常に難しいので、色分けされた各項目の内容や凡例で示すのみではなく、それぞれのグラフ・図に内容・凡例を書き込むこと。また各項目は、色だけでなく線種やシンボルの形、網掛け（ハッチング）などでも区別する。
4. 暗い背景の場合は、赤文字や細い青文字は使わずなるべく白や黄色、オレンジなどを使う。
詳しくは、<http://www.nig.ac.jp/color/> をご覧ください。

Information for Participants

Registration Desks

Sendai International Center 2F

Registration Time

September 7th (Thu) 8 : 00 ~ 18 : 30

September 8th (Fri) 8 : 00 ~ 18 : 30

September 9th (Sat) 8 : 00 ~ 15 : 00

1. To All Requests

●Participants with Early-bird and Regular Registration

Please write your institution on your name tag and wear the Meeting ID (name card) that you have received in advance to the Meeting. People without a Meeting ID (name card) will not be permitted to enter.

●Participants with On-site Registration

Member General	JPY 15,000
----------------	------------

Non-Member General	JPY 18,000
--------------------	------------

Member Graduate Student	JPY 5,000
-------------------------	-----------

Non-Member Graduate Student	JPY 7,000
-----------------------------	-----------

* Undergraduate students are admitted free of charge.

* For graduate and undergraduate students: Please show your student ID at the Registration Desk.

●Banquet

7:00 – 8:30 p.m. September 8th at Sakura Hall on 2F

Fee (Onsite)

Member General	JPY 5,000
----------------	-----------

Non-Member General	JPY 5,000
--------------------	-----------

Member Graduate Student	JPY 3,000
-------------------------	-----------

Non-Member Graduate Student	JPY 3,000
-----------------------------	-----------

Undergraduate Student	JPY 3,000
-----------------------	-----------

●Training Credits and Certified Points

Attending JSN2017 is recognized by the Japanese Society of Psychiatry and Neurology (JSPN) specialist qualification as a credit toward their training programs.

To obtain training points toward renewal of the JSPN specialist qualification, please show your Psychiatric Specialist Certification Test Certificate (point card) at the JSPN Point Registration Desk. A Meeting staff will register your points.

For other academic societies, please submit your Meeting ID and receipt to the relative society concerned and apply for the credit yourself.

Please inquire with the relevant society concerned for further information.

2. Information

●Admission of Venue

Participants cannot enter the venue before 8:00.

●Use of Cameras and Videos

The Use of any electronic equipment as camcorders and mobile phones to record presentations is strictly prohibited.

●Paging and Messages

Participants cannot be paged while inside of the Meeting venue by means of slides or the public address system. Please use the message board near the Registration Desk.

●Cloakroom

Please use the cloakroom at 1F. Please be aware that cloakroom is unavailable for valuables and umbrellas.

September 7th (Thu) 8 : 00~19 : 00

September 8th (Fri) 8 : 00~20 : 45

September 9th (Sat) 8 : 00~16 : 00

●Luncheon Seminars

As the number of lunch boxes available for luncheon seminars is limited, numbered tickets will be distributed at the Luncheon Seminar Ticket Desk at 2F in the morning of the day of each seminar.

Ticket are limited to one per person. Also, you must show your Meeting ID (name card) to receive a ticket.

●Wi-Fi Service

Please check the on-site guide.

●Beverage Service

September 7th (Thu) , 8th (Fri) Sakura hall, 2F

September 9th (Sat) Meeting room 7, 3F

There is a free beverage service counter in the above.
(limited numbers)

●Abstracts

Abstracts will be only online version.

Please visit the meeting website for more details.

<http://www.jsn2017.jp/index.html>

3. Associated Event

●Board of Directors

1F, Meeting Room 1, Sendai International Center

September 6th (Wed) 13 : 00~17 : 00

●Trustees Committee

2F, Main Hall, Sendai International Center

September 8th (Fri) 12 : 20~13 : 00

●General Assembly

2F, Main Hall, Sendai International Center

September 8th (Fri) 13 : 00~14 : 10

Information for Session Chairpersons

- Chairpersons are requested to arrive at the venue for their session 15 minutes in advance and to make their presence known to the staff in the presentation room. Please take next chairperson's seat in the front and the right side of room.
- Please be punctual the timetable for presentations and Q&A sessions to ensure the smooth running of the Meeting.

Information for Speakers in Symposia, and Speakers in Oral Sessions

■ Languages for Presentations

- Two Special Lecture and a part of Symposia, Oral Sessions and Poster Sessions will be given in English.

■ Timing Presentations

- Please comply with the chairperson's directions during symposia.
- The time allowed for Oral Sessions is 10 minutes for presentations and 5 minutes for Q&A.
- The time allowed for "Wakate Dojo" is 10 minutes for presentations and 10 minutes for Q&A.

■ Making Presentations

All speakers make presentations with laptop PC.

Please operate keyboard and mouse on presentation desk by yourself. Audio cannot be used during presentations.

【Reception of presentation file】

Please come to a PC registration desk located at front in the left-side of your presentation room at least

30 min before presentation.

< Windows >

- Carrying in your laptop PC
- USB flash memory

< Macintosh >

- Carrying in your laptop PC

■ Preparation of Presentation file (with a USB flash memory)

- Please use the following fonts:
Century, Times New Roman
- OS; Windows 7
- Applications: Power Point 2003, 2007, 2010, 2013, 2016
- Image resolution is XGA (1024 × 768 pixel). If the size is excess of it, your slide may not be display properly. Please set up the images with XGA.
- Windows Media Player is the only software that can be used to play a video data during your presentation.
*The default codecs those are included in Windows Media Player. Using WMV is recommended.
- Please run a virus check on your computer in advance.
- Please check your presentation data including images by pasting the data from host/main computer to another computer if the data is shown properly.
- All the copied data will be deleted by organizers appropriately after the meeting ended.

■ Presentation instruments (with your laptop PC)

- The OS for the computer in the venue is Windows7. If you are using Windows XP, Windows 8, or Macintosh, please bring your own laptop.
- We recommend bringing your own laptop if you have movie files attached to your PowerPoint presentation.
- Connection between instruments and PC will use D-sub15 pin. If PC is without this kind of output terminal, please bring D-sub15 pin conversion adaptor with you.
- Please be sure to bring an AC adaptor to the presentation venue in case your laptop's battery runs out.
- Please adjust your computer settings so it does not revert to screensaver or energy-saving mode during your presentation.

Information for Poster Presenters

- Please make your poster fit the space within the display panel.

Panel size

Height : 180 cm (Total 210 cm)

Width : 120 cm

- The time allowed for Poster Sessions is 3 minutes for presentations and 2 minutes for Q&A.

- Poster will be changed every day.

September 7 (Thu)

Installation : 9:00~10:30

Viewing : 10:30~17:30

Presentation : 17:30~18:30

Removal : 18:30~19:00

September 8 (Fri)

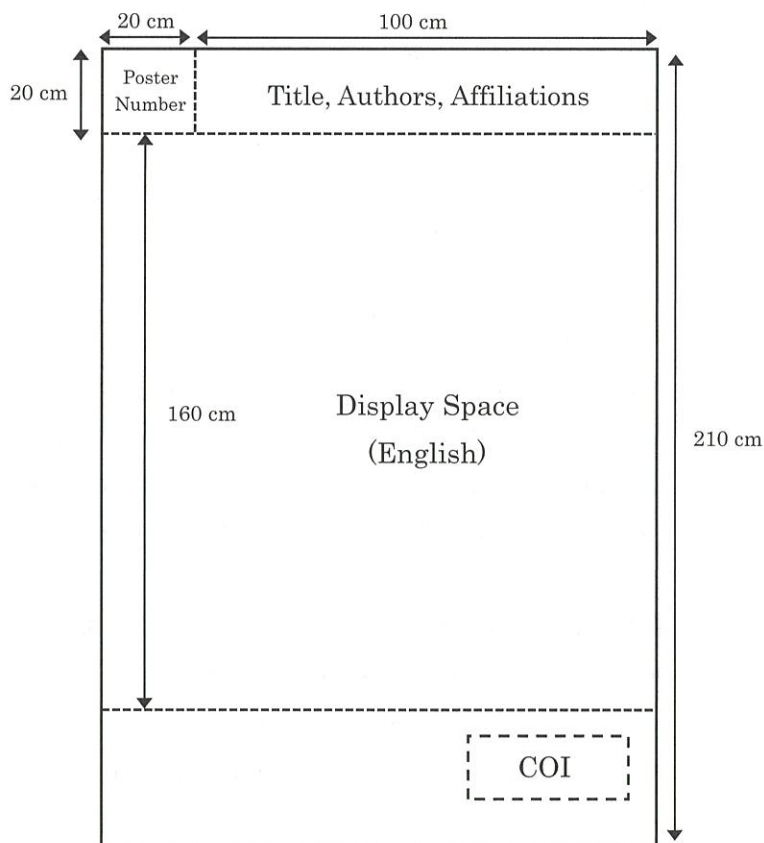
Installation : 9:00~10:30

Viewing : 10:30~13:20

14:20~16:30

Presentation : 13:20~14:20

Removal : 16:30~17:00



- Day and number assign your poster the poster number (Day1, No.17→1-17)

Please display your own poster in the panel with your poster number within the stated time.

Please check your poster number, and be careful to put up your poster on the correct panel.

- Tacks for putting up posters will be given by Secretariat.

- Ribbons will be attached on the panel of candidate for poster presentation award. Most outstanding presentation will be selected in the session.

- Please help by taking your poster down within the day. Posters still displayed after the removal time will be disposed of by Secretariat.

Request Concerning Use of Color in Presentation Materials

Around 5% of Japanese men (3 million people) and 8% of Caucasian men have a specific type of vision that makes it difficult to distinguish between colors in a particular range, including red and green. In light of this, you are requested to take the following points into account when preparing presentation materials.

1. Images of two-color staining or DNA chips should be displayed in green and magenta, not red and green.
2. Three or more stains should not be displayed only as composites with all colors, but also with the two most important colors alone shown in green and magenta. (Alternatively, images of each channel can be displayed separately.)
3. In graphs and explanatory figures, it is extremely difficult to match colors shown in two separate places. For this reason, do not use only color-coded descriptions or legends for different items, but write them directly into figures.

Do not differentiate between items by using different colors, but rather with different types of lines, shapes/symbol, or types of hatching.

4. On a dark background, use white yellow, or orange lettering as far as possible.

For further information, see <http://www.nig.ac.jp/color/>.

特別企画のご案内

本大会では、通常のプログラムのほかにシンポジウムや特別プログラムを企画しております。ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. ISN / JSN 合同シンポジウム

日時：9月7日（木）9：00～11：30

会場：A会場（仙台国際センター 2F 大ホール）

タイトル：Interneuronal transmission of cytoplasmic disease proteins; the molecular mechanism and pathology

2. APSN / JSN 合同シンポジウム

日時：9月7日（木）14：00～16：00

会場：A会場（仙台国際センター 2F 大ホール）

タイトル：The new aspects of neurotransmitters and receptors in neuropsychiatric disorders

3. 日本神経化学会－日本薬理学会若手研究者合同シンポジウム

日時：9月7日（木）16：10～18：10

会場：B会場（仙台国際センター 2F 橘）

タイトル：次世代・その次の世代へ：日本神経化学会－日本薬理学会若手研究者合同シンポジウム

4. 若手育成セミナー出身者による次世代シンポジウム

日時：9月7日（木）16：10～18：10

会場：C会場（仙台国際センター 2F 萩）

タイトル：若手育成セミナー出身者による次世代シンポジウム①【メカニズム・分子】

日時：9月8日（金）14：10～16：10

会場：B会場（仙台国際センター 2F 橘）

タイトル：若手育成セミナー出身者による次世代シンポジウム②【生理・疾患】

5. 日本神経化学会第3回優秀賞受賞者企画シンポジウム

日時：9月8日（金）16：20～18：20

会場：B会場（仙台国際センター 2F 橘）

タイトル：オリゴマー仮説に基づいて神経変性疾患の病態を考える

6. 理事会企画シンポジウム（一般公開）

日時：9月9日（土）9：00～11：30

会場：A会場（仙台国際センター 2F 大ホール）

タイトル：最先端のゲノム編集技術と次世代疾患モデル動物研究

7. 神経化学の若手研究者育成セミナー

日時：9月7日（金）～9日（土）

本セミナーでは、第一線で研究に携わる講師陣が、最新の研究内容や実験手法、さらには研究者としての心構えなどについて熱心に講義し、参加者とフリーディスカッションを行います。これらを通じて、明日の神経化学を支える人材の育成を目指します。

8. 理事長と話をしてみよう

日時：9月7日（木）16：30～17：30、 8日（金）16：00～17：00

会場：展示会場（仙台国際センター 2F 桜）

日本神経化学会 理事長 和田 圭司 先生

（国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナル・メディカルセンター）

Special Programs

During the Meeting, a wide variety of symposium and special program have been arranged in addition to the regular program, with the collaboration of the Meeting. We Hope as many people as possible will attend these special programs.

1. ISN / JSN Joint Symposium

September 7th 9 : 00~11 : 30

Room A (Sendai International Center, 2F Main Hall)

Theme : Interneuronal transmission of cytoplasmic disease proteins; the molecular mechanism and pathology

2. APSN / JSN Joint Symposium

September 7th 14 : 00~16 : 00

Room A (Sendai International Center, 2F Main Hall)

Theme : The new aspects of neurotransmitters and receptors in neuropsychiatric disorders

3. JSN – JPS Young Investigator Joint Symposium (in Japanese)

September 7th 16 : 10~18 : 10

Room B (Sendai International Center, 2F Tachibana Conference Hall)

Theme : The next generation, and beyond: JSN-JPS young investigator joint symposium

4. Next generation symposium by alumni of the Educational Seminars for Young Researchers (in Japanese)

September 7th 16 : 10~18 : 10

Room C (Sendai International Center, 2F Hagi Conference Hall)

Theme : Next generation symposium by alumni of the Educational Seminars for Young Researchers ① 【mechanisms and molecules】

September 8th 14 : 10~16 : 10

Room B (Sendai International Center, 2F Tachibana Conference Hall)

Theme : Next generation symposium by alumni of the Educational Seminars for Young Researchers ② 【physiology and diseases】

5. Symposium Organized by the Recipient of the 2016 Award for Distinguished (in Japanese)

September 8th 16 : 20~18 : 20

Room B (Sendai International Center, 2F Tachibana Conference Hall)

Theme : The Pathogenesis of Neurodegenerative diseases on the Oligomer Hypothesis

6. JSN Symposium (in Japanese)

September 9th 9 : 00~11 : 30

Room A (Sendai International Center, 2F Main Hall)

Theme : Cutting-edge Genome Editing Technology and Next Generation Disease Model Animals

7. 神経化学の若手研究者育成セミナー (in Japanese)

September 7th ~ 9th

In this session, well known lecturers give presentations on latest research, experiment technique and attitude toward research. Attendee can have open discussions with lecturers, so it will be a wonderful opportunity to foster the careers of young investigators.

8. Talk with the JSN President

September 7th 16 : 30~17 : 30, 8th 16 : 00~17 : 00

Sendai International Center, 2F Sakura Hall

President: Keiji Wada M.D., Ph.D. (Translational Medical Center, National Center of Neurology and Psychiatry)

受賞者一覧

2017年度（第4回）
日本神経化学会優秀賞・奨励賞受賞者

優秀賞

■永井 拓

名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・付属病院薬剤部

テーマ：脳機能を制御するリン酸化シグナルの解明に関する研究

奨励賞（2名）

■平山 友里

山梨大学大学院総合研究部医学域薬理学講座

テーマ：グリア細胞主導型の虚血耐性獲得メカニズムの解明

■矢吹 悌

東北大学大学院薬学研究科薬理学分野

テーマ：脳におけるT型カルシウムチャネル機能解析に関する研究

大会日程概要

◆特別講演

A 会場 仙台国際センター 2F 大ホール

1. Ronald Melki 博士 (Paris-Saclay Institute of Neuroscience)

9 月 7 日 (木) 11 : 40 ~ 12 : 40

2. Ype Elgersma 博士 (Expertise Centre For Neurodevelopment Disorders)

9 月 8 日 (金) 11 : 10 ~ 12 : 10

◆日本神経化学会第 4 回優秀賞受賞者講演

B 会場 仙台国際センター 2F 橘

9 月 8 日 (金) 11 : 10 ~ 11 : 50

◆理事会企画シンポジウム (一般公開)

A 会場 仙台国際センター 2F 大ホール

9 月 9 日 (土) 9 : 00 ~ 11 : 30

◆ISN / JSN 合同シンポジウム

A 会場 仙台国際センター 2F 大ホール

9 月 7 日 (木) 9 : 00 ~ 11 : 30

◆APSN / JSN 合同シンポジウム

A 会場 仙台国際センター 2F 大ホール

9 月 7 日 (木) 14 : 00 ~ 16 : 00

◆JSN-JPS 若手研究者合同シンポジウム

B 会場 仙台国際センター 2F 橘

9 月 7 日 (木) 16 : 10 ~ 18 : 10

◆若手育成セミナー出身者による次世代シンポジウム

①【メカニズム・分子】

C 会場 仙台国際センター 2F 萩

9 月 7 日 (木) 16 : 10 ~ 18 : 10

②【生理・疾患】

B 会場 仙台国際センター 2F 橘

9 月 8 日 (金) 14 : 10 ~ 16 : 10

◆第3回優秀賞受賞者企画シンポジウム

B会場 仙台国際センター 2F 橘

9月8日（金）16：20～18：20

◆シンポジウム

A会場 仙台国際センター 2F 大ホール

B会場 仙台国際センター 2F 橘

C会場 仙台国際センター 2F 萩

D会場 仙台国際センター 3F 白樺1

E会場 仙台国際センター 3F 白樺2

◆一般口演

C会場 仙台国際センター 2F 萩

D会場 仙台国際センター 3F 白樺1

E会場 仙台国際センター 3F 白樺2

◆若手道場

D会場 仙台国際センター 3F 白樺1

E会場 仙台国際センター 3F 白樺2

◆ポスター

ポスター会場 仙台国際センター 2F 桜

◆ランチョンセミナー

B会場 仙台国際センター 2F 橘

C会場 仙台国際センター 2F 萩

D会場 仙台国際センター 3F 白樺1

◆企業・書籍展示

展示会場 仙台国際センター 2F 桜

◆理事会、評議員会・総会

理事会

仙台国際センター 1F 第一会議室

9月6日（水）13：00～17：00（終了予定）

評議員会

仙台国際センター 2F 大ホール

9月8日（金）12：20～13：00

総会

仙台国際センター 2F 大ホール

9月8日（金）13：00～14：10

◆懇親会

仙台国際センター 2F 桜

9月8日（金）19：00～20：30

Tournament Overview

◆Plenary Lectures

Room A (Sendai International Center, 2F Main Hall)

1. Ronald Melki 博士 (Paris-Saclay Institute of Neuroscience)

September 7th (Thu) 11 : 40~12 : 40

2. Ype Elgersma (Expertise Centre For Neurodevelopment Disorders)

September 8th (Fri) 11 : 10~12 : 10

◆Lecture by the Recipient of the 2017 Award for Distinguished Investigator of JSN

Room B (Sendai International Center, 2F Tachibana Conference Hall)

September 8th (Fri) 11 : 10~11 : 50

◆JSN Symposium (Open)

Room A (Sendai International Center, 2F Main Hall)

September 9th (Sat) 9 : 00~11 : 30

◆ISN / JSN Joint Symposium

Room A (Sendai International Center, 2F Main Hall)

September 7th (Thu) 9 : 00~11 : 30

◆APSN / JSN Joint Symposium

Room A (Sendai International Center, 2F Main Hall)

September 7th (Thu) 14 : 00~16 : 00

◆JSN—JPS Young Investigator Joint Symposium

Room B (Sendai International Center, 2F Tachibana Conference Hall)

September 7th (Thu) 16 : 10~18 : 10

◆Next generation symposium by alumni of the Educational Seminars for Young Researchers

- ① 【mechanisms and molecules】

Room C (Sendai International Center, 2F Hagi Conference Hall)

September 7th (Thu) 16 : 10~18 : 10

- ② 【physiology and diseases】

Room B (Sendai International Center, 2F Tachibana Conference Hall)

September 8th (Fri) 14 : 10~16 : 10

◆**Symposium Organized by the Recipient of the 2016 Award for Distinguished Investigator of JSN**

Room B (Sendai International Center, 2F Tachibana Conference Hall)

September 8th (Fri) 16 : 20 ~ 18 : 20

◆**Symposia**

Room A (Sendai International Center, 2F Main Hall)

Room B (Sendai International Center, 2F Tachibana Conference Hall)

Room C (Sendai International Center, 2F Hagi Conference Hall)

Room D (Sendai International Center, 3F Shirakashi Conference Room 1)

Room E (Sendai International Center, 3F Shirakashi Conference Room 2)

◆**Oral Sessions**

Room C (Sendai International Center, 2F Hagi Conference Hall)

Room D (Sendai International Center, 3F Shirakashi Conference Room 1)

Room E (Sendai International Center, 3F Shirakashi Conference Room 2)

◆**Wakate Dojo**

Room D (Sendai International Center, 3F Shirakashi Conference Room 1)

Room E (Sendai International Center, 3F Shirakashi Conference Room 2)

◆**Poster Discussion**

Poster (Sendai International Center, 2F Sakura Hall)

◆**Luncheon Seminars**

Room B (Sendai International Center, 2F Tachibana Conference Hall)

Room C (Sendai International Center, 2F Hagi Conference Hall)

Room D (Sendai International Center, 3F Shirakashi Conference Room 1)

◆**Exhibition / Book Exhibition**

Poster (Sendai International Center, 2F Sakura Hall)

◆Board of Directors, Trustees Committee and the General Assembly

Board of Directors

Sendai International Center, 1F Meeting Room 1

September 6th (Wed) 13 : 00~17 : 00

Trustees Committee

Room A (Sendai International Center, 2F Main Hall)

September 8th (Fri) 12 : 20~13 : 00

General Assembly

Room A (Sendai International Center, 2F Main Hall)

September 8th (Fri) 13 : 00~14 : 10

◆Banquet

Sendai International Center, 2F Sakura Hall

September 8th (Fri) 19 : 00~20 : 30

大会日程表 (大会第1日目 9月7日 (木))

仙台国際センター 会議棟			
2F 大ホール		2F 橘	2F 萩
A 会場		B 会場	C 会場
8:00			
9:00	開会式		
10:00	(1S1) Interneuronal transmission of cytoplasmic disease proteins; the molecular mechanism and pathology Chairs: Takashi Nonaka Shin-ichi Hisanaga	(1S2) Physiological and pathological controls of the central nervous system by multifunctional organelle-endoplasmic reticulum Chairs: Kazunori Imaizumi Takashi Kudo	(1S3) Novel knowledge and analysis for developmental neurotoxicity Chairs: Sachiko Yoshida Yasunari Kanda
11:00			
12:00	(1L1) Plenary Lecture 1 Ronald Melki Prion-like propagation of alpha-synuclein assemblies in synucleinopathies Chair: Kohji Fukunaga		
13:00		(1LC) Invitation from ISN/APS/N/JSN Sponsored by JSN	(1LC1) ランチョンセミナー 1 共催：田辺三菱製薬株式会社
14:00			
15:00	(1S4) The new aspects of neurotransmitters and receptors in neuropsychiatric disorders Chair: Akio Wanaka	(1S5) モノアミンによる気分・情動の調節と適応行動 Chair: Ken-Ichiro Tsutsui	(1S6) Mysterious protein α synuclein Chairs: Hideki Mochizuki Yoshitaka Nagai
16:00			
17:00	(1S7) Neurovascular Inflammatory Disorder and Drug Target Chairs: Feng Han Zhong Chen	(1S8) 次世代・その次の世代へ： 日本神経化学会-日本薬理学会若手研究者 合同シンポジウム Chairs: Norifumi Shioda Hiroaki Wake	(1S9) 若手育成セミナー出身者による 次世代シンポジウム① 【メカニズム・分子】 Chairs: Noriyoshi Usui Yuri Hirayama
18:00			
19:00			
20:00			

仙台国際センター 会議棟				
3F 白樺 1	3F 白樺 2	2F 桜		
D 会場	E 会場	ポスター会場／企業・書籍展示		
				8:00
				9:00
EJ (101) 一般口演 1 シナプス Chairs: Koichi Tan-No Seiji Hitoshi	(1DJ1) 若手道場 1 神経ネットワーク、細胞内・ 細胞間情報伝達 Chairs: Atsumi Nitta Yasuyuki Ishikawa	ポスター 貼付		10:00
(102) 一般口演 2 神経系の発生・再生、神経画像 Chairs: Hirotaka James Okano Ken-ichi Mizutani				11:00
				12:00
				13:00
(1LC2) ランチョンセミナー 2 共催：文部科学省科学研究費補助金新学術領 域研究（研究領域提案型）多様な「個性」 を創発する脳システムの統合的理解			企業・書籍展示 休憩場	14:00
E		ポスター 展示		15:00
(1DJ2) Wakate Dojo 2 (若手道場 2) 神経細胞死 神経ネットワーク その他 Chairs: Keiji Wada Akiko Hayashi-Takagi	(1DJ4) 若手道場 4 グリア、ミエリン、回路網形成 Chairs: Makoto Sato Kenji Tanaka			16:00
E				17:00
(1DJ3) Wakate Dojo 3 (若手道場 3) シナプス 神経系の発生・再生 その他 Chairs: Akio Wanaka Haruhiko Bito			「理事長と話を してみよう」 和田 圭司	18:00
		ポスター 発表		19:00
		ポスター 撤去		20:00

大会日程表 (大会第2日目 9月8日 (金))

仙台国際センター 会議棟			
	2F 大ホール	2F 橘	2F 萩
	A 会場	B 会場	C 会場
8:00			
9:00	E		
10:00	(2S1) Frontiers in animal research on neurodevelopmental diseases Chair: Noriko Osumi	(2S2) ミエリンバイオロジーの進歩 Chairs: Hiroko Baba Hirohide Takebayashi	(2S3) 脳腸関連からみた神経化学 Chairs: Hideo Matsuzaki Nobuyuki Sudo
11:00			
12:00	(2L1) Plenary Lecture 2 Ype Elgersma Neurodevelopmental disorders: From basic mechanisms to clinical trials Chair: Noriko Osumi	第4回日本神経化学会優秀賞受賞講演 道川 誠	
13:00	評議員会・総会 (優秀賞・奨励賞授賞式)	(2LC1) ランチョンセミナー3 共催: アッヴィ合同会社	(2LC2) ランチョンセミナー4 共催: 協和発酵バイオ株式会社
14:00	E		
15:00	(2S4) Microglia-endocrine interaction in health and disease Chair: Mami Noda	(2S5) 若手育成セミナー出身者による次世代シンポジウム②【生理・疾患】 Chairs: Yuuki Fujiwara Tomohiro Umeda	(2S6) 神経発生及び正の再生シグナルとしてのJNK シグナリング Chair: Michihiro Igarashi
16:00	E		
17:00	(2S7) Multidimensional approach toward understanding of autism and neurodevelopmental disorders Chairs: Koichi Nagata Toru Takumi	(2S8) オリゴマー仮説に基づいて神経変性疾患の病態を考える Chairs: Kenjiro Ono Hideyuki Okano	(2S9) ペリニューロナルネットによる神経制御 Chairs: Mariko K Hayashi Kosei Takeuchi
18:00			
19:00			
20:00			

仙台国際センター 会議棟					
3F 白樫 1	3F 白樫 2	2F 桜			
D 会場	E 会場	ポスター会場／企業・書籍展示			
				8:00	
(201)一般口演 3 イオンチャンネル、回路網形成 Chairs: Norio Sakai Yasuki Ishizaki	(2DJ1) 若手道場 5 グリア、ミエリン、神経ネットワーク Chairs: Kazunobu Sawamoto Atsushi Saito	ポスター 貼付	企業・書籍展示 休憩場	9:00	
(202) 一般口演 4 グリア、ミエリン Chairs: Schuichi Koizumi Hiroshi Kiyama				10:00	
		11:00			
	ポスター 展示	12:00			
		13:00			
		14:00			
	ポスター 発表	15:00			
		16:00			
E/J (203) 一般口演 5 グリア、ミエリン、神経免疫 Chairs: Toshihide Yamashita Hiroyuki Nawa	(2DJ2) 若手道場 6 神経系の発生・再生、神経画像 Chairs: Itsuki Ajioka Hitoshi Hashimoto	ポスター 展示		「理事長と話を してみよう」 和田 圭司	17:00
(204)一般口演 6 軸索輸送、神経細胞死 Chairs: Nobuyuki Kimura Shin-ichi Hisanaga				ポスター 撤去	
				19:00	
東北を楽しむ					
		Banquet (懇親会) 19:00-20:30		20:00	

大会日程表 (大会第3日目 9月9日 (土))

	仙台国際センター 会議棟		
	2F 大ホール	2F 橋	2F 萩
	A 会場	B 会場	C 会場
8:00			
9:00		E	
10:00	(3S1) 最先端のゲノム編集技術と 次世代疾患モデル動物研究 Chair: Seiji Hitoshi	(3S2) Glial dysfunction and intractable epilepsy - from basic to clinical studies - Chair: Shuichi Koizumi	(3S3) 遺伝性神経疾患における病態解明の最前線 ～基礎から臨床へ～ Chairs: Norifumi Shioda Eiji Nanba
11:00			(303)一般口演 9 分子イメージング、神経ネットワーク Chair: Osamu Nakagawasai
12:00		(3LC1) ランチョンセミナー 5 共催：ファルマシュプール株式会社、 株式会社イナリサーチ	(3LC2) ランチョンセミナー 6 共催：味の素株式会社
13:00			
14:00	(3S9) 【一般公開】 アルツハイマー病のクスリ創り ー病気の理解と病態モデルー Organizers: Tomoaki Shirao Yuko Sekino	(3S5) メンブレントラフィッキングと 神経変性疾患 Chairs: Takafumi Hasegawa Mitsunori Fukuda	(3S6) PTSD 研究の現状と展望 ～東日本大震災から6年～ Chairs: Hiroaki Tomita Satoshi KIDA
15:00	閉会式・発表賞表彰式		
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			

仙台国際センター 会議棟		
3F 白樫 1	3F 白樫 2	
D 会場	E 会場	
		8:00
		9:00
(3S4) グリアと神経の成熟と精神・神経疾患 Chairs: Shingo Miyata Tsuyoshi Hattori	(301) 一般口演 7 神経ネットワーク Chairs: Shigetaka Yoshida Kazunori Nakajima	10:00
	(302) 一般口演 8 グリア、ミエリン、ストレス Chairs: Naoko Kaneko Kazunori Imaizumi	11:00
(304) 一般口演 10 細胞内・細胞間情報伝達、その他 Chair: Norifumi Shioda		12:00
(3LC3) ランチョンセミナー 7 共催：ライカマイクロシステムズ株式会社		13:00
(3S7) 連合大会・多分野交流委員会企画 Chair: Hiroshi Kiyama	(3S8) 精神疾患における ドーパミン神経伝達の役割 Chairs: Ichiro Sora Kohji Fukunaga	14:00
		15:00
		16:00
		17:00
		18:00
		19:00
		20:00

Plenary Lecture

1L1

9/7 (Thu) 11:40-12:40 [Room A]

Prion-like propagation of alpha-synuclein assemblies in synucleinopathies

Chairperson: Kohji Fukunaga (Dept Pharmacol, Grad Pharm Sci, Tohoku Univ)



Ronald Melki

*Paris Saclay Institute of Neuroscience, Centre National de la Recherche Scientifique,
Avenue de la Terrasse, 91190 Gif-sur-Yvette, France*

The deposition of aggregated proteins into intracellular inclusions within the central nervous system is the hallmark of several progressive neurodegenerative disorders in man. The main protein constituent of these aggregates and the affected regions within the brain differ from one neurodegenerative disorder to another. Until recently, the vicious circle consisting of spread, seeded assembly and accumulation over time within the central nervous system of misfolded proteins aggregates was thought to be restricted to the prion protein PrP. Recent reports suggest that a variety of protein aggregates spread and amplify within the

central nervous system leading to distinct diseases.

I will present data illustrating the propagation propensities of alpha-synuclein protein aggregates. I will discuss the nature of protein assemblies that are "Infectious", how they bind to the cell membranes, what do they bind to and the cellular consequences of binding. I will present a quantitative assessment of their uptake, transport and export. I will show data demonstrating that alpha-synuclein pathogenic assemblies disrupt the endo-lysosomal membranes to reach the cytosol where they amplify. Finally, I will show how alpha-synuclein takes advantage of its chameleon properties to assemble into structurally and functionally distinct assemblies, we believe associated to distinct diseases. Strategies targeting the propagation of protein assemblies involved in age-related dementias will be presented and discussed.

References:

- Pieri L et al. (2012) Fibrillar alpha-synuclein and huntingtin exon 1 assemblies are toxic to the cells. *Biophys J* 102: 2894-905.
 Bousset L et al. (2013) Structural and functional characterization of two alpha-synuclein strains. *Nat. Comms.* 4:2575
 Peelaerts W et al. (2015) alpha-Synuclein strains cause distinct synucleinopathies after local and systemic administration, *Nature*, 522:340-4.
 Brahic M et al. (2016) Axonal transport and secretion of fibrillar forms of α -synuclein, A β 42 peptide and HTTexon 1. *Acta Neuropathol.* 131:539-48.
 Shrivastava AN et al. (2015) α -synuclein assemblies sequester neuronal α 3-Na⁺/K⁺-ATPase and impair Na⁺ gradient, *EMBO J*, 34:2408-23.
 Monsellier et al. (2016) α -Synuclein and huntingtin exon 1 amyloid fibrils bind laterally to the cellular membrane. *Sci Rep.* 6:219180
 Pieri L et al. (2016) Structural and functional properties of prefibrillar α -synuclein oligomers. *Sci Rep.* 6:24526
 Flavin W et al. (2017) Endocytic vesicle rupture is a conserved mechanism of cellular invasion by amyloid proteins. *Acta Neuropathol.* Online DOI 10.1007/s00401-017-1722-x

Director of Research, Paris Saclay Institute of Neuroscience, Centre National de la Recherche Scientifique, Avenue de la Terrasse, 91190 Gif-sur-Yvette, France

E-mail: ronald.melki@cns.fr

Ronald Melki received his PhD degrees (1990) from the University Pierre et Marie Curie in Paris. During his PhD, he visualized microtubule dynamic instability by synchronizing billions of microtubules in solution and observing oscillatory kinetics of assembly and disassembly. He was recruited immediately after defending his thesis as a permanent scientist by the French National Center for Scientific Research (CNRS). He got interested in protein folding and was the first to fold in vitro two constituent of microtubules organizing center: gamma-tubulin and centractin. The independent team he established in 1996 was the first to purify in biochemical amounts the yeast prions Ure2p and Sup35p, to assemble them into infectious assemblies, to unveil the structural heterogeneity of yeast prions and characterize their clearance and the cross-talk between molecular chaperones in yeast prion assembly. In 2009, he demonstrated the prion-like propagation of huntingtin Exon 1 assemblies during a sabbatical in Ron Kopito's laboratory at Stanford University. Since then he demonstrated the prion-like properties of alpha-synuclein assemblies with Patrik Brundin and others. His team established structural-molecular basis of different synucleinopathies by generating different strains of alpha-synuclein. Ronald Melki chaired from 2009 till 2014 the CNRS Federative Institute, Genome, Transcriptome, Proteome (over 700 scientists). He co-chaired the Laboratory of Enzymology and Structural Biochemistry of CNRS (over 90 scientists) from 2010 till 2014. He is recipient of the Antarctic Service Medal awarded by the Congress of the United States of America, the Bettencourt Schueller Foundation prize Coups d'Elan pour la Recherche Française and the scientific grand prize of the Fondation Simone et Cino Del Duca of the Institut de France. His research is devoted to the development of disease-modifying tools targeting neurodegenerative disorders.

1S1

9/7 (Thu) 9:00-11:30 [Room A]

Interneuronal transmission of cytoplasmic disease proteins; the molecular mechanism and pathology

神経変性疾患病因タンパク質の神経細胞間伝播仮説の分子機構と病理

Chairpersons: Takashi Nonaka (Dementia Research Project, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science)
Shin-ichi Hisanaga (Dept Biol Sci, Tokyo Metropolitan Univ)

1S1-1

Emerging roles of exosomes in TDP-43 proteinopathy

Yohei Iguchi

Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine

1S1-2

Prion-like properties of pathological protein aggregates in neurodegenerative diseases

Takashi Nonaka, Masato Hasegawa

Dementia Research Project, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

1S1-3

Tunneling Nanotubes (TNTs): Structure, Formation and Role in Neurodegenerative Diseases Spreading

Chiara Zurzolo

Pasteur Institute

1S1-4

Extracellular release of neurodegenerative proteins is regulated by DnaJC5/Hsc70 complexes

Laura J Blair

Department of Molecular Medicine, USF Health Byrd Institute

1S1-5

Endosomal pathway: a key regulator for prion-like phenomenon in synucleinopathy

Takafumi Hasegawa

Division of Neurology, Department of Neuroscience & Sensory Organs, Tohoku University Graduate School of Medicine

1S2

9/7 (Thu) 9:00-11:00 [Room B]

Physiological and pathological controls of the central nervous system by multifunctional organelle-endoplasmic reticulum

多機能性細胞小器官—小胞体による脳・神経系の生理病態制御

Chairpersons: Kazunori Imaizumi (Dept. Biochem., Inst. BioMed. Health Sci., Hiroshima Univ.)
Takashi Kudo (Dept Mental Health Promotion, Grad Sch Med, Osaka Univ)

1S2-1

Enhancement of inflammatory response by ATF6alpha in the activated microglia

Osamu Hori

Dept Neuroanat. Grad Sch Medi Sci, Kanazawa Univ

1S2-2

Collapse of mitochondria-associated membrane as common pathomechanism for ALS

Koji Yamanaka

Res Inst Environ Med, Nagoya Univ

1S2-3**Dendritic expansion and spine formation regulated by signaling pathways of unfolded protein response**Atsushi Saito¹, Kazunori Imaizumi²¹Dept. Stress Protein., Inst. BioMed. Health Sci., Hiroshima Univ. , ²Dept. Biochem., Inst. BioMed. Health Sci., Hiroshima Univ.**1S2-4****Control of pathological condition via endoplasmic reticulum stress by Sigma 1 receptor**

Takashi Kudo

Dept Mental Health Promotion, Grad Sch Med, Osaka Univ

1S2-5**Molecular mechanism of neurodegenerative diseases triggered by the dysfunction of ER quality control**

Hideki Nishitoh

Lab Biochem and Mol Biol, Dept Med Sci, Univ Miyazaki

1S3

9/7 (Thu) 9:00-11:00 [Room C]

Novel knowledge and analysis for developmental neurotoxicity**遅発性神経毒性研究の新展開**

Chairpersons: Sachiko Yoshida (Dept Environ Life Sci, Toyohashi Univ Tech)

Yasunari Kanda (Div Pharmacol, NIHS)

1S3-1**ROLE OF PRIOR TRAUMA & IN-UTERO SABNYSTRESS ON EPIGENETIC REGULATION & AUTONOMIC FUNCTIONING AS EARLY PRECURSOR FOR DEVELOPMENTAL PSYCHOPATHOLOGY**

Yoko Nomura

Queens College and Graduate Center, the City University of New York

1S3-2**Structural and functional alteration of developing rat cerebellum by administration of autism-inducing developing neurotoxins**

Sachiko Yoshida

Dept Environ Life Sci, Toyohashi Univ Tech

1S3-3**Development of developmental neurotoxicity testing using human iPS cells**

Yasunari Kanda

Div Pharmacol, NIHS

1S3-4**DOHaD theory in human cases: Inheritable epigenetic changes caused by environmental factors**

Kenichiro Hata

Department of Maternal-Fetal Biology, National Research Institute for Child Health and Development, Tokyo

1S3-5**Developmental neurotoxicity evaluation: Studies on neural network activity at synaptogenic period.**Susumu Ueno¹, Yukiko Fueta²¹Dept Occup Toxicol, Inst Ind Ecol Sci, Univ Occup Environ Hlth, JPN, ²Dept Environ Manag Cont, Sch Hlth Sci, Univ Occup Environ Hlth, JPN

The new aspects of neurotransmitters and receptors in neuropsychiatric disorders**APSN/JSN 合同シンポジウム**

Chairperson: Akio Wanaka (Dept Anat Neurosci, Fac Med, Nara Medical Univ)

1S4-1**Balance of excitatory-inhibitory transmission in the developing vestibular nucleus tunes the brain circuitry for navigation**

Ying Sing Chan, Q.F. Jiang, S.K. Lai, K.L.K. Wu, C.W. Ma, D.K.Y. Shum

School of Biomedical Sciences, Li Ka Shing Faculty of Medicine, The University of Hong Kong, Sassoon Road, Hong Kong, PR China

1S4-2**Lower expression of Regulator of G Protein Signaling 4 in schizophrenia: Contribution for altered cortical excitation-inhibition balance.**

Sohei Kimoto, Yasunari Yamaguchi, Toshifumi Kishimoto

Department of Psychiatry, Nara Medical University School of Medicine, Kashihara, Japan

1S4-3**Targeting NMDA receptors for neuroprotection and anti-neuroinflammation**

Chian-Ming Low^{1,2}, C-Y Ng³, J Y-Y Tan¹, P T-H Wong¹, M-L Go⁴, T X-W Kwok³, F C-K Tan², Y Lam³

¹Department of Pharmacology, Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore, ²Department of Anaesthesia, Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore, ³Department of Chemistry, Faculty of Science, National University of Singapore, ⁴Department of Pharmacy, Faculty of Science, National University of Singapore

1S4-4**Stress and Relapse to Alcohol-Seeking**

Andrew J Lawrence

Florey Institute of Neuroscience & Mental Health, University of Melbourne, Victoria, Australia

1S5

9/7 (Thu) 14:00-16:00 [Room B]

Roles of monoamines in adaptive behavior: regulation of mood and emotion**モノアミンによる気分・情動の調節と適応行動**

Chairperson: Ken-Ichiro Tsutsui (Div Sys Neurosci, Grad Sch Life Sci, Tohoku Univ)

1S5-1**Regulatory mechanism of hypothalamic corticotropin-releasing factor neurons by the ascending monoaminergic systems**

Keiichi Itoi¹, Kenji Sakimura²

¹Lab Info Biol, Grad Sch Info Sci, Tohoku Univ, ²Dept Cell Neurobiol, Brain Res Inst, Niigata Univ

1S5-2**The role of dorsal raphe neurons for integration of reward information with emotional context.**

Kae Nakamura, Masaharu Yasuda

Dept. Physiol. Kansai Medical Univ.

1S5-3**Elucidating the role and functions of prefrontal dopaminergic signaling towards identifying a neuronal circuit underlying stress resilience**

Tomoyuki Furuyashiki

Div Pharmacol, Grad Sch Med, Kobe Univ

1S5-4**Reading out reinforcement learning and decision-making processes from neuronal activity of PPTg**Yasushi Kobayashi^{1,2}¹Osaka University Graduate School of Frontier Biosciences, ²Center for Information and Neural Networks**1S6**

9/7 (Thu) 14:00-16:00 [Room C]

Mysterious protein α synuclein

Chairpersons: Hideki Mochizuki (Dept of Neurology, Osaka University)

Yoshitaka Nagai (Department of Neurotherapeutics, Osaka Univ)

1S6-1 **α -synucleinopathy as Oligomeropathy**

Kenjiro Ono

Dept of Neurol. Sch of Med, Showa Univ

1S6-2**Roles of neuronal exosomes in the progression of alpha-synuclein**Roikinari Hanayama¹, Hironori Kawahara¹, Tatsusada Okuno², Hideki Mochizuki²¹Dept of Immunology, Kanazawa University, ²Dept of Neurology, Osaka University**1S6-3****The structure analysis for α -synuclein and Lewy bodies in the brain of Parkinson's disease patients with synchrotron radiation**Katsuya Araki^{1,2}, Naoto Yagi³, Kensuke Ikenaka¹, Hideki Hayakawa¹, Kousuke Baba¹, Yoshitaka Nagai⁴, Yuji Goto⁵, Hideki Mochizuki¹¹Dept Neurology, Osaka Univ, ²Dept Neurology, Toyonaka Municipal Hospital, ³Japan Synchrotron Radiation Research Institute, ⁴Department of Neurotherapeutics, Osaka Univ, ⁵Institute for Protein Research, Osaka Univ**1S6-4****Pathogenic mechanism on propagation of alpha- synuclein, a pathological point of view**Shigeo Murayama¹, Yuko Saito²¹Dept of Neurology and Neuropathology, Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital and Institute of Gerontology, ²Division of Neuropathology, Department of Pathology & Laboratory Medicine, National Center of Neurology and Psychiatry Hospital**1S7**

9/7 (Thu) 16:10-18:10 [Room A]

Neurovascular Inflammatory Disorder and Drug Target

Chairpersons: Feng Han (Institute Pharmacol & Toxicol, College Pharma Sci, Zhejiang Univ)

Zhong Chen (Dept Pharmacol, Key Lab of Ministry of Health in China, Sch Med, Zhejiang Univ)

1S7-1**Chronic cerebral hypoperfusion accelerates Alzheimer's disease pathology with cerebrovascular remodeling in a novel mouse model**

Koji Abe, Yun Zhai, Toru Yamashita, Yumiko Nakano, Ryuta Morihara, Yasuyuki Ohta, Nozomi Hishikawa, Jingwei Shang

Dept Neurol. Okayama Univ Med Sch

1S7-2**Nestin expression in neuroinflammatory conditions reveals a signal induction in neurogenesis**

Yijia Lou, Luo Yunxiang, Yihai Zang, Tong Lii, Danyan Zhu, Bangxin Chen

Institute Pharmacol & Toxicol, College Pharma Sci, Zhejiang Univ

1S7-3**Receptor Tyrosine Protein Kinase ErbB4 Cleavage Is Involved in Brain Ischemia-Induced Neuronal Death**

Ying-mei Lu

Sch Med, Zhejiang Univ City College

1S7-4**Neural circuits basis of temporal lobe epilepsy**

Zhong Chen, Yi Wang, Cenglin Xu, Zhenghao Xu, Bin Chen, Shuang Wang

Dept Pharmacol, Key Lab of Ministry of Health in China, Sch Med, Zhejiang Univ

1S7-5**Endothelial TIGAR protects tight junction integrity from excessive autophagy during hypoglycemic stress**

Feng Han

Institute Pharmacol & Toxicol, College Pharma Sci, Zhejiang Univ

1S8

9/7 (Thu) 16:10-18:10 [Room B]

The next generation, and beyond: JSN-JPS young investigator joint symposium**次世代・その次の世代へ：日本神経化学会－日本薬理学会若手研究者合同シンポジウム**

Chairpersons: Norifumi Shioda (Lab Mol Biol, Gifu Pharm Univ)

Hiroaki Wake (Division of System Neuroscience Kobe University of Graduate School of Medicine)

1S8-1**Animal Models of Neuropsychiatric Disorders**

Tetsushi Sadakata

Office for Promotion of the Tenure Track System, Gunma Univ

1S8-2**Microglia disrupt synapse E/I balance after febrile seizures**

Ryuta Koyama, Yuji Ikegaya

Lab. Chem. Pharmacol., Grad. Sch. Pharmaceut. Sci., Univ. Tokyo

1S8-3**The new candidate of teprenone as a novel antidepressant**Narumi Hashikawa-Hobara¹, Yuta Utaka¹, Masafumi Kayano², Yoshito Zamami², Naoya Hashikawa¹¹Dept. Life Sci., Okayama Univ. of Sci., ²Dept. Clin. Pharmacol. and Therap. Insti. of Biomedical Sci. Grad. Sch., Tokushima Univ.

1S8-4**Myelination for information processing**

Hiroaki Wake

Division of System Neuroscience Kobe University of Graduate School of Medicine

Next generation symposium by alumni of the Educational Seminars for Young Researchers ① 【mechanisms and molecules】

若手育成セミナー出身者による次世代シンポジウム①【メカニズム・分子】

Chairpersons: Noriyoshi Usui (Division of Development of Mental Functions, Research Center for Child Mental Development, University of Fukui / Division of Developmental Higher Brain Functions, Department of Child Development, United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui / Department of Neuroscience, University of Texas Southwestern Medical Center)
Yuri Hirayama (Dept. Neuropharmacol., Interdisciplinary Grad. Sch. Med., Univ. Yamanashi / Dept. Pharmacy, Univ. Yamanashi Hospital)

1S9-1

Discovery of Long-Range Inhibitory Signaling to Ensure Single Axon Formation

Tetsuya Takano, Kozo Kaibuchi
Dept Cell Pharmacology, Nagoya Univ Grad Sch Medicine,

1S9-2

Glia-mediated ischemic tolerance

Yuri Hirayama^{1,2}, Schuichi Koizumi¹
¹*Dept. Neuropharmacol., Interdisciplinary Grad. Sch. Med., Univ. Yamanashi,* ²*Dept. Pharmacy, Univ. Yamanashi Hospital*

1S9-3

Functional analyses of a novel mitochondrial fusion inhibitor MiFI in Parkinson's disease models.

Naoki Inoue^{1,2}, Sae Ogura¹, Norihito Shintani¹, Hitoshi Hashimoto^{1,3,4}
¹*Lab. Mol. Neuropharmacol., Grad. Sch. Pharmaceut. Sci., Osaka Univ.,* ²*IPBS, Inst. for Academic Initiative, Osaka Univ.,* ³*United Grad. Sch. Child Dev., Osaka Univ.,* ⁴*Inst. Dataability Sci., Osaka Univ.*

1S9-4

Decoding the brain development and neurodevelopmental disorders from the molecules

Noriyoshi Usui^{1,2,3}, Genevieve Konopka³, Hideo Matsuzaki^{1,2}
¹*Division of Development of Mental Functions, Research Center for Child Mental Development, University of Fukui,* ²*Division of Developmental Higher Brain Functions, Department of Child Development, United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui,* ³*Department of Neuroscience, University of Texas Southwestern Medical Center*

101

9/7 (Thu) 9:00-10:00 [Room D]

シナプス

Chairpersons: Koichi Tan-No (Dept Pharmacol, Tohoku Med Pharm Univ)
Seiji Hitoshi (Dept Integrative Physiol, SUMS)

101-1

Memantine improves cognitive deficits in APP23 mice via K_{ATP} channel inhibition

Shigeki Moriguchi, Yasushi Yabuki, Kohji Fukunaga
Dept Pharmacol, Grad Sch Pharm Sci, Tohoku Univ

101-2

Analysis of PSD lattice, a backbone structure for type I excitatory synapses

Tatsuo Suzuki^{1,2,3}, Kiyokazu Kametani⁴, Weiheng Guo², Weidong Li^{3,5}
¹Dept Mol Cell Physiol, Shinshu Univ Med, ²Dept Neuroplasticity, Shinshu Univ Sch Med, ³Inst Biomed Sci, Shinshu Univ, ⁴Dept Instr Anal, Res Ctr Human Envir Sci, Shinshu Univ, ⁵Bio-X Inst, Shanghai Jiao Tong Univ

101-3

Molecular mechanism of alternative pre-mRNA splicing on neuronal cell adhesion molecules regulated by STAR family proteins

Takatoshi Iijima¹, Yoko Iijima¹, Masami Tanaka¹, Satoko Suzuki¹, Noriko Ayukawa¹, Peter Scheiffele²
¹Tokai Univ, IIST, ²Biozentrum, Basel Univ

101-4

Autism-like behaviors and enhanced memory formation and synaptic plasticity in Lrnf2/SALM1-deficient mice

Naoko Morimura¹, Hiroki Yasuda², Kazuhiro Yamaguchi³, Kei-ichi Katayama³, Minoru Hatayama³, Takaya Hiramatsu¹, Seiji Hitoshi¹, Naoko H Tomioka³, Kazuyuki Yamada³, Takeo Yoshikawa³, Jun Aruga⁴
¹Dept Integrative Physiol, SUMS, ²Grad Sch Med, Gunma Univ, ³BSI, RIKEN, ⁴Dept Med Pharmacol, Grad Sch Biomed Sci, Nagasaki Univ

102

9/7 (Thu) 10:10-11:25 [Room D]

神経系の発生・再生、神経画像

Chairpersons: Hirotaka James Okano (Div Regenerative Med, Jikei Univ Med)
Ken-ichi Mizutani (Lab Stem Cell Biol, Grad Sch Pharm Sci, Kobe Gakuin Univ / Grad Sch Brain Sci, Doshisha Univ / JST PRESTO,)

102-1

Signaling of the Unfolded Protein Response is Critical for Axon Regeneration after Nerve Injury

Yosuke Ohtake^{1,2}, Atsushi Saito², Koji Matsuhisa², Kazunori Imaizumi¹
¹Dept Biochem, Inst Biomed & Health Sci, Hiroshima Univ, ²Dept Stress Prot Processing, Inst Biomed & Health Sci, Hiroshima Univ

102-2

Promotion of mTOR signaling for neurogenesis facilitated by the green tea amino acid theanine in neural progenitor cells

Nobuyuki Kuramoto¹, Maiko Tsujiai¹, Airi Yoshimura¹, Hiroshi Higashi¹, Toshihiko Kinjo¹, Yukio Yoneda²
¹Lab Mol Pharmacol, Fac Pharm Sci, Setsunan Univ, ²Sec Prophylactic Pharmacol, Kanazawa Univ, VBL

102-3

Microglial phagocytosis of dying neurons promotes new neuron addition in the adult olfactory bulb

Masato Sawada¹, Hiroyuki Inada², Shinichi Kohsaka³, Junichi Nabekura², Kazunobu Sawamoto^{1,4}
¹Dept Dev Regen Biol, Nagoya City Univ Grad Sch Med Sci, Nagoya, Japan, ²Div Hom Dev, NIPS, Okazaki, Japan, ³Dept Neurochem, NIN, Tokyo, Japan, ⁴Div Neural Dev Regen, NIPS, Okazaki, Japan

102-4

Prdm16 is crucial for progression of the multipolar phase during neural differentiation of the developing neocortex.

Ken-ichi Mizutani^{1,2,3}, Ryota Iwai^{1,2}, Mayuko Inoue², Hidenori Tabata⁴, Daijiro Konno⁵, Mariko Suzuki^{1,2}, Chisato Watanabe², Fumio Matsuzaki⁵, Koh-ichi Nagata⁴

¹Lab Stem Cell Biol. Grad Sch Pharm Sci, Kobe Gakuin Univ, ²Grad Sch Brain Sci, Doshisha Univ, ³JST PRESTO, ⁴Dept Mol Neurobio, Inst Dev Bio, ⁵Riken CDB

102-5

3D-brain mapping with electron microscopy

Shinsuke Shibata^{1,2}, Mana Yoshimura^{1,2}, Toshihiro Nagai¹, Tetsuya Yano¹, Hideyuki Okano^{1,2}

¹Keio Univ Sch of Med, Electron Microscope lab, ²Keio Univ Sch of Med, Dept of Physiol

1DJ1

9/7 (Thu) 9:00-11:00 [Room E]

神経ネットワーク、細胞内・細胞間情報伝達

Chairpersons: Atsumi Nitta (Dept Pharm Ther Neuropharm, Grad Sch Med Pharm Sci, Toyama Univ)
Yasuyuki Ishikawa (Dep Sys Life Eng, Maebashi Inst Tech)

1DJ1-1

Activation of perineuronal net-positive excitatory neurons during associative memory learning

Shota Morikawa^{1,2,5}, Yuji Ikegaya^{3,4}, Minoru Narita⁵, Hideki Tamura²

¹Laboratory of Gene Regulation Research, Graduate School of Biological Sciences, Nara Institute of Science and Technology (NAIST), ²Life Science Tokyo Advanced Research Center (L-Star), Hoshi University School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, ³Laboratory of Chemical Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, University of Tokyo, ⁴Center for Information and Neural Networks, National Institute of Information and Communications Technology, ⁵Department of Pharmacology, Hoshi University School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences

1DJ1-2

SEN1 promote de-sumoylation of amyloid precursor protein

Takuma Maruyama¹, Yoichiro Abe², Takako Niikura¹

¹Sophia Univ, ²Dept Pharmacol. Sch Med, Keio Univ

1DJ1-3

The effect of 8-nitro-cGMP on SNARE complex assembly and memory

Yusuke Kishimoto¹, Shuichi Yanai², Shogo Endo², Takaaki Akaike³, Hideshi Ihara¹

¹Department of Biological Science, Graduate School of Science, Osaka Prefecture University, ²Aging Neuroscience Research Team, Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, ³Department of Environmental Health Science and Molecular Toxicology, Graduate School of Medicine, Tohoku University

1DJ1-4

Effects of diet restriction on cognitive impairments and decreased hippocampal GAT2 expression in a genetic mouse model of Alzheimer's disease

Kazuki Hirashima, Daisuke Ibi, Kahori Sumiya, Takayoshi Mamiya, Masayuki Hiramatsu

Dept. Chem. Pharmacol., Fac. Pharm., Meijo Univ.

1DJ1-5

Effects of maternal immune activation on the mossy fiber density and Reelin expression in the hippocampal dentate gyrus in the offspring of mice

Nayu Koide, Daisuke Ibi, Takayoshi Mamiya, Masayuki Hiramatsu

Dept. Chem. Pharmacol., Fac. Pharm., Meijo Univ.

1DJ1-6

Effect of chronic betaine intake on learning and memory impairments and hippocampal GAT2 expression in genetic mouse model of Alzheimer's disease

Kahori Sumiya, Daisuke Ibi, Kazuki Hirashima, Takayoshi Mamiya, Masayuki Hiramatsu

Dept.Chem.Pharmacol., Fac.Pharm., Meijo Univ.

神経細胞死、神経ネットワーク、その他

Chairpersons: Keiji Wada (Dept Degenerative Neurol Dis, Nat Inst Neurosci, Nat Center Neurol Psych)

Akiko Hayashi-Takagi (Lab Med Neurosci, Inst Mol Cell Reg, Gunma Univ)

1DJ2-1

The inhibitory effects of accumbal TMEM168-regulated osteopontin system on the methamphetamine-induced pharmacological actions in miceKequan Fu¹, Yoshiaki Miyamoto¹, Kazuya Otake¹, Kazuyuki Sumi¹, Eriko Saika¹, Naoki Sato¹, Kyosuke Uno¹, Shin-ichi Muramatsu^{2,3}, Atsumi Nitta¹¹Dept Pharmaceutical Therapy and Neuropharmacology, Grad Pharm Sch, Toyama Univ, ²Division of Neurology, Dept Med, Jichi Medical Univ, ³Center for Gene & Cell Therapy, Institute of Medical Science, Tokyo Univ

1DJ2-2

Nitration of TRPM2 as a Molecular Switch Regulates Zinc Oxide Nanoparticles-Induced Autophagy in Brain PericytesCheng-Kun Wang¹, Quan Jiang¹, Yinping Gao¹, Rongrong Tao¹, Ying-mei Lu², Feng Han¹¹Coll Pharm Sci, Zhejiang Univ, ²Sch Med, Zhejiang Univ City Coll

1DJ2-3

Isoform-independent and-dependent phosphorylation of microtubule-associated protein tau in mouse brain during postnatal developmentDilina Tuerde¹, Taeko Kimura¹, Tomohiro Miyasaka², Masato Hasegawa³, Kanae Ando¹, Shin-ichi Hisanaga¹¹Department of Biological Sciences, Tokyo Metropolitan University, ²Neuropathology, Faculty of Life and Medical Sciences, Doshisha University, ³Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science

1DJ2-4

Nrp2 is sufficient to instruct circuit formation to mediate odor-induced attractive social responsesKasumi Inokuchi^{1,2,4}, Fumiaki Imamura³, Haruki Takeuchi¹, Ryang Kim⁴, Hiroyuki Okuno⁴, Hirofumi Nishizumi^{1,2}, Haruhiko Bito⁴, Takefumi Kikusui⁵, Hitoshi Sakano¹¹Dept Brain Function, Grad Sch Med Sci, Univ of Fukui, ²Dept Biophys and Biochem, Grad Sch Science, The Univ of Tokyo, ³Dept Pharmacol, Penn State College of Medicine, ⁴Dept Neurochem, Grad Sch Med, The Univ of Tokyo, ⁵Sch Veterinary Med, Azabu Univ

1DJ2-5

Deciphering Ca²⁺ signaling during radial migration of immature cortical neuronsShin-ichiro Horigane^{1,2}, Sayaka Takemoto-Kimura^{1,2}, Aki Adachi-Morishima², Satoshi Kamijo², Hajime Fujii², Haruhiko Bito²¹Dept of Neurosci I, Res Inst of Environ Med, Nagoya Univ, ²Dept Neurochem, Grad Sch Med, Univ of Tokyo

1DJ2-6

Cereblon promotes mitochondrial degradation via autophagy in human neuroblastoma cellsKosuke Kataoka¹, Toru Asahi^{1,2}, Naoya Sawamura^{1,2}¹Faculty of Science and Engineering, Waseda University, ²Research Organization for Nano-Life innovation, Waseda University

シナプス、神経系の発生・再生、その他

Chairpersons: Akio Wanaka (Dept Anat Neurosci, Fac Med, Nara Medical Univ)

Haruhiko Bito (Dept Neurochem, Grad Sch Med, Univ Tokyo)

1DJ3-1

Cholinergic Grb2-associated-binding protein 1 regulates cognitive function via SK channelXiu-xiu Liu¹, Nan-nan Lu², Chao Tan², Feng Han², Ying-mei Lu¹¹Sch Med, Zhejiang Univ City College, ²College Pharm Sci, Zhejiang Univ

1DJ3-2

Subicular neurons mediates the genesis of refractory temporal lobe epilepsy and its seizure prediction

Ceng-lin Xu, Shuang Wang, Yi Wang, Zhong Chen

Dept Pharmacol, Key Lab of Ministry of Health in China, Sch Med, Zhejiang Univ

1DJ3-3

The Neuroprotection of KY226 on Cerebral Ischemia Injury is mediated by Akt/eNOS and ERK signaling

Meiling Sun, Yasuharu Shinoda, Kohji Fukunaga

Dept Pharmacol, Grad Sch Pharm Sci, Tohoku Univ

1DJ3-4

The Mechanism Underlying Cognitive Impairment in Hypothyroid Mice

Noreen Husain, Yasushi Yabuki, Kohji Fukunaga

Department of Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical & Faculty of Pharmaceutical Sciences

1DJ3-5

Wnt signaling regulates neurogenesis from radial glia in the adult zebrafish optic tectum after traumatic brain injury

Yuki Shimizu, Yuto Ueda, Toshio Ohshima

Dept. of Life Sci. and Med. Bio-Sci. Waseda Univ.

1DJ3-6

Neonatal allergen exposure induces autistic-like behavior via hippocampal synaptopathy in miceBan-yu Saitoh¹, Daan Van Kruining², Ryo Yamasaki¹, Jun-ichi Kira¹¹Department of Neurology, Neurological Institute, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu university; ²School for Mental Health and Neuroscience, Department of Psychiatry and Neuropsychology, Maastricht University

1DJ3-7

Relation of Wnt related molecules in non-Alzheimer's degenerative diseases

Yuhei Kanaya, Tetsuya Takahashi, Yukari Murata, Tomoyasu Matsubara, Tejashwi Shresta, Seigyoku Lee, Hirofumi Maruyama

Dept Neuroscience, Grad Sch biomed and health sci, Hiroshima Univ

Chairpersons: Makoto Sato (Grad Med/United Grad Sch Child Dev, Osaka Univ)
Kenji Tanaka (Dept Neuropsychiatry, Sch Med, Keio Univ)

1DJ4-1

The soluble form of LOTUS suppresses Nogo receptor type 1-mediated signaling

Yutaka Kawakami¹, Yuji Kurihara¹, Yu Saito¹, Ryota Nakagawa¹, Yuki Fujita², Toshihide Yamashita², Kohtaro Takei¹

¹Department of Molecular Medical Bioscience, Graduate School of Medical Life Science, Yokohama City University, Yokohama, Japan, ²Department of Molecular Neuroscience, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan

1DJ4-2

The regulatory function of Wnt5a, secreted from periodontal ligament cells loaded with mechanical stimuli, in axonal elongation of peripheral nerves

Kaori Takahashi, Takashi Yoshida, Minoru Wakamori

Div. Mol. Pharmacol. Cell Biophys., Tohoku Univ. Grad Sch. Dent.

1DJ4-3

Specific activation of GABAergic interneurons in the cervical dorsal horn suppresses chronic itch

Kensho Kanehisa, Miho Shiratori-Hayashi, Keisuke Koga, Yuta Kohro, Makoto Tsuda

Dept Life Innov. Grad Sch Pharm Sci, Kyushu Univ

1DJ4-4

A novel mutation in the IP₃R1 suppressor domain causes spinocerebellar ataxia 29 with altered Ca²⁺ signal patterns

Taisei Hirouchi^{1,2}, Jillian P Casey^{3,4}, Chihiro Hisatsune², Akitoshi Miyamoto², Katsuhiko Mikoshiba²

¹Laboratory of Tumor cell Biology, Department of Computational Biology and Medical Sciences, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo,

²Laboratory for Developmental Neurobiology, BrainScience Institute (BSI), RIKEN, ³Clinical Genetics, Temple Street Children's University Hospital, ⁴UCD Academic Centre on Rare Diseases, School of Medicine and Medical Sciences, University College Dublin

1DJ4-5

Identification of unique membrane lipid profile of human immortalized astrocyte

Keita Kitamura¹, Hanae Morio^{1,2}, Kosuke Saito³, Ryo Ito¹, Yoshiro Saito³, Naohiko Anzai², Hidetaka Akita¹,
Tomomi Furihata^{1,2}

¹Lab. Pharmacol & Toxicol., Grad. Sch. Pharmaceut Sci., Chiba Univ, ²Dept. Pharmacol., Grad. Sch. Med., Chiba Univ, ³Div. Med. Safety Sci., NIHS

1DJ4-6

The neuroprotective effect of erythropoietin on microglial activation, including morphological changes, phagocytosis, and cytokine production

Kohki Toriuchi¹, Tetsuya Tamura^{2,3}, Mineyoshi Aoyama¹, Hiroki Kakita⁴, Kazuya Sobue³, Kiyofumi Asai²

¹Department of Pathobiology, Nagoya City University Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya, Japan, ²Department of Molecular Neurobiology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan, ³Department of Anesthesiology and Intensive Care Medicine, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan, ⁴Department of Perinatal and Neonatal Medicine, Aichi Medical University, Nagakute, Japan

イオンチャンネル、シナプス

Chairperson: Sinya Ugawa (Dept Anat Neurosci, Grad Sch Med Sci, Nagoya City Univ)

1P-01

Analysis of effects by rTMS on Glutamate, GABA and Glycine transporters on the mouse brain.

Tetsuro Ikeda, Nobuyuki Nukina
SNP Team. BSI, RIKEN

1P-02

Gating mechanism of the IP3 receptor revealed by mutagenesis and X-ray crystallography

Kozo Hamada¹, Hideyuki Miyatake², Akiko Terauchi¹, Katsuhiko Mikoshiba¹
¹Lab for Dev Neurobiol, BSI, RIKEN, ²Nano Med Eng Lab, RIKEN

1P-03

Effectiveness of amidino-TAPA against morphine-resistant neuropathic pain

Hirokazu Mizoguchi, Chizuko Watanabe, Akira Otowa, Shinobu Sakurada
Dept Physiol Anat, Fac Pharmaceut Sci, Tohoku Med Pharmaceut Univ

1P-04

Response of GABAergic system to the axotomy of rat facial nerve

Kazuyuki Nakajima¹, Reika Kikuchi¹, Makoto Hamanoue², Shinichi Kohsaka³
¹Dept Sci and Eng, Soka Univ, ²Dept Phys, Med, Toho Univ, ³National Institute of Neurosci

1P-05

Seizure phenotype in syntaxin1B gene ablated mice was associated with GABAergic system

Takefumi Kofuji^{1,2}, Tomonori Fujiwara², Tatsuya Mishima², Kimio Akagawa²
¹RI lab, Kyorin Univ Sch Med, ²Dept Cell Physiol, Kyorin Univ Sch Med

1P-06

Isoform-dependent regulation of drebrin dynamics in dendritic spines

Kenji Hanamura, Shirao Tomoaki
Dept Neurobiol. Behav. Grad Sch Med, Gunma Univ

1P-07

Elimination of glutamatergic synapses by microglia in the basal ganglia outputs of Parkinsonism model rats

Junya Tanaka, Hitomi Aono, Mohammed E Choudhury, Kazuya Miyanishi, Yuka Kigami
Dept Mol Cell Physiol, Grad Sch Med, Ehime Univ

1P-08

Further characterization of autistic-like behaviors in kirrel3-knockout mice

Tomoko Hisaoka¹, Tadasuke Komori¹, Hiroaki Gyobu¹, Toshio Kitamura², Yoshihiro Morikawa¹
¹Department of Anatomy & Neurobiology, Wakayama Medical University, ²Division of Cellular Therapy, Advanced Clinical Research Center, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo

1P-09

FILIP-related molecule binds to NMDA receptor and controls spine morphology and synaptic function of the hippocampal neuron.

Kazuki Kuroda^{1,2}, Hideshi Yagi⁴, Min-Jue Xie^{2,3}, Yugo Fukazawa^{1,2}, Yuichiro Oka^{5,6}, Tokuichi Iguchi⁶, Makoto Sato^{5,6}

¹Division of Brain Structure and Function, Department of Morphological and Physiological Sciences, Faculty of Medical Sciences, University of Fukui, Fukui, Japan, ²Research and Education Program for Life Science, University of Fukui, Fukui, Japan, ³Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan, ⁴Department of Anatomy and Cell Biology, Hyogo College of Medicine, Hyogo, Japan, ⁵Department of Child Development, United Graduate School of Child Development, Osaka University, Osaka, Japan, ⁶Department of Anatomy and Neuroscience, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan

1P-10

Expression of kirrel3 in the mouse dorsal root ganglia

Tadasuke Komori¹, Tomoko Hisaoka¹, Hiroaki Gyobu¹, Toshio Kitamura², Yoshihiro Morikawa¹

¹Department of Anatomy & Neurobiology, Wakayama Medical University, ²Division of Cellular Therapy, Advanced Clinical Research Center, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo

9/7 (Thu) 17:30-18:30 [Room Poster]

細胞内・細胞間、情報伝達、回路網形成

Chairperson: Yoshio Bando (Dept Funct Anat Neurosci, Asahikawa Med Univ)

1P-11

Splicing variation of Long-IRBIT determines the target selectivity of IRBIT family

Katsuhiro Kawaai¹, Hideaki Ando¹, Nobuhiko Satoh², Hideomi Yamada², Naoko Ogawa¹, Matsumi Hirose¹, Akihiro Mizutani³, Benjamin Bonneau¹, George Seki², Katsuhiko Mikoshiba¹

¹Lab. Develop. Neurobiol., Brain Science Institute, RIKEN, ²Dept Internal Medicine, Univ of Tokyo, ³Dept Pharmacotherapeutics, Showa Pharmaceutical Univ

1P-12

Npas4 mediates pentylenetetrazole-induced Homer1a expression in the hippocampus

Taku Nagai¹, Wei Shan¹, Motoki Tanaka², Toshitaka Nabeshima^{3,4}, Masahiro Shikabe², Kiyofumi Yamada¹

¹Dept. Neuropsychopharmacol. Hosp. Pharm., Nagoya Univ. Grad. Sch. Med., ²Mechanobiol. Lab., Nagoya Univ. Grad. Sch. Med., ³Adv. Diag. Sys. Res. Lab., Grad. Sch. Health Sci., Fujita Health Univ., ⁴Aino Univ.

1P-13

Phosphorylation of SNAP-25 induced by anesthesia in mice brain.

Saori Yamamori¹, Tsukiko Sugaya¹, Masakazu Kataoka²

¹Dept Biochem. Sch med, Kitasato Univ, ²Dept Envir Sci and Tech. Engineering, Shinshu Univ

1P-14

Physiological Analysis of Lipid Raft Molecules in the Brain

Norihiro Kotani¹, Takanari Nakano¹, Yui Ida¹, Rina Ito¹, Miki Hashizume¹, Arisa Yamaguchi², Makoto Seo³, Tomoyuki Araki¹, Yasutsugu Hojo¹, Koichi Honke², Takayuki Murakoshi¹

¹Dept Biochem. Saitama Med. Uni., ²Dept Biochem. Kochi Uni. Med. School, ³Facul Pharmacy and Pharmaceutical Sci., Fukuyama Univ.

1P-15

Involvement of the CaM kinase family in signal transduction that stimulates the tyrosine kinase pathway in response to gonadotropin-releasing hormone

Hideyuki Yamamoto, Sayomi Higa-Nakamine, Shiho Okitsu, Hidetsugu Torihara

Dept Biochem. Grad Sch Med, Ryukyuu Univ

1P-16

The Role of Nck as a downstream effector of the Reelin signaling

Kanehiro Hayashi, Seika Inoue, Ken-ichiro Kubo, Kazunori Nakajima

Dept Anatomy, Keio University School of Medicine

1P-17

The importance of ion dynamics for low temperature-induced tyrosine phosphorylation of SIRPa in neurons

Hiroshi Ohnishi¹, Shinya Kusakari¹, Miho Hashimoto¹, Kaori Imai¹, Eriko Urano¹, Takashi Matozaki²

¹Dept Lab Sciences. Grad Sch Health Sci, Gunma Univ, ²Dept Biochem Mol Biol. Grad Sch Med, Kobe Univ

1P-18

Dab1 haploinsufficiency causes reduction of layer I thickness and splitting of CA1 pyramidal cell layer

Takao Honda, Kazunori Nakajima
Dept of Anat. Keio Univ Sch of Med

1P-19

Netrin-5 is upregulated in the peri-infarct region after middle cerebral artery occlusion.

Satoru Yamagishi¹, Mika Takarada², Masato Sawada³, Kazunobu Sawamoto^{3,4}, Osamu Hori², Kohji Sato¹
¹Dept Anatomy, Hamamatsu Univ Sch Med, ²Dept Neuroanatomy, Faculty of Medicine, Kanazawa Univ, ³Dept Develop and Regeneration, Nagoya City Univ Sch Med, ⁴Division Neural Develop Regeneration, NIPS

1P-20

LOTUS, a neural circuit formation factor, promotes neurite outgrowth

Yuji Kurihara, Yutaka Kawakami, Kohtaro Takei
Mol. Med. Biosci. Lab., Grad. Sch. of Med. Life Sci., Yokohama City Univ.

1P-21

Super-resolution analysis of the interaction between drebrin and CaMKII β in dendritic spines

Hirofumi Yamazaki, Noriko Koganezawa, Tomoaki Shirao
Dept. Neurobiol and Behav. Gunma Univ. Sch. Med

9/7 (Thu) 17:30-18:30 [Room Poster]

神経系の発生・再生、神経細胞死

Chairperson: Tomoaki Shirao (Dept Neurobiol Behav, Grad Sch Med, Gunma Univ)

1P-22

TPT1 regulates the proliferation and/or survival of neural stem cells and glioma initiating cells

Shigeki Ohta¹, Ayako Tokumitsu², Takafumi Sone³, Ayuna Sakamoto¹, Yutaka Kawakami¹, Hideyuki Okano³
¹Cell Info. Adv. Med. Res., Keio Univ. Sch. Med, ²Div TR, Keio Univ. Sch. Med, ³Dept Physiology, Keio Univ. Sch. Med

1P-23

Protease-activated receptor 1 regulates neural progenitor proliferation through Rho kinase pathway

Masanori Yoneyama, Taro Yamaguchi, Yusuke Onaka, Kiyokazu Ogita
Lab Pharmacol. Facul Pharm Sci, Setsunan Univ

1P-24

The neurosphere culture period affects the yield of neurons after differentiation

Kanako Takahashi¹, Hisashi Ohara², Nozomi Kasahara², Masahiro Takase², Kaori Chujo¹, Yasunari Kanda¹, Yuko Sekino^{1,3}, Mitsuo Tanabe², Kaoru Sato¹
¹Div Pharmacol, Nat Inst Hlth Sci, ²Lab Pharmacol, Sch Pharmacy, Kitasato Univ, ³Lab Chemical Pharmacol, Grad Sch Pharm Sci, Tokyo Univ.

1P-25

Region-dependent differences in the migratory capacity of hippocampal CA1 and neocortical neurons during brain development

Ayako Kitazawa, Minkyung Shin, Kanehiro Hayashi, Ken-ichiro Kubo, Kazunori Nakajima
Dept. Anatomy, Sch. Med, Keio Univ.

1P-26

Enc1 controls neuronal migration and differentiation of excitatory neurons in the developing neocortex

Yuki Hirota¹, Chikako Kudo-Tsurushige¹, Itsuki Ajioka², Kazunori Nakajima¹
¹Dept. Anatomy, Keio Univ. School of Med., ²Center for Brain Integration Research, Tokyo Medical and Dental Univ.

1P-27**Development of human iPS cell lines with exceeding differentiation capacities and their differentiation into midbrain dopaminergic neurons**

Makoto Motono, Shizuka Funayama, Bagheri Mozhdeh, Hidemasa Kato
Dept Functional Histology, Grad Sch Med, Ehime Univ

1P-28**Microglial activation induces oligodendrogenesis from the subventricular zone after focal demyelination**

Masae Naruse¹, Koji Shibasaki¹, Hiroya Shimauchi^{1,2}, Yasuki Ishizaki¹
¹*Department of Molecular and Cellular Neurobiology, Gunma University Graduate School of Medicine, ²Department of Neurosurgery, Gunma University Graduate School of Medicine*

1P-29**The role of Fgf8 for development of the frontal cortex subdivisions**

Tatsuya Sato^{1,2,3}, Takako Kikkawa², Tetsuichiro Saito⁴, Keiichi Itoi¹, Noriko Osumi²
¹*Dept Info. Biol. Grad Sch Info Sci, Tohoku Univ, ²Dept Dev. Neurosci. Grad Sch Med, Tohoku Univ, ³FRIS, Tohoku Univ, ⁴Dept Dev. Biol. Grad Sch Med, Chiba Univ*

1P-30**Phosphorylation of Id4 transcription suppressor by Cdk5-p35 at the time of neuronal differentiation**

Taro Saito, Toshinori Hisa, Kanae Ando
Dept Biol. Sci, Tokyo Met Univ

1P-31**Functional analysis of Glial cell missing 1 in the mammalian brain**

Yoshitaka Hayashi, Satoshi Fuke, Takahiro Fuchigami, Naoko Morimura, Natsu Koyama, Seiji Hitoshi
Dept Int Physiol. Grad Sch Med. Shiga Univ Med Sci

1P-32**Involvements of acid-sensing ion channel-1a in hippocampal adult neurogenesis.**

Natsuko Kumamoto, Mariko Hoshikawa, Yasuhiro Shibata, Takashi Ueda, Shinya Ugawa
Dept. of Anat. and Neurosci. Grad. Sch. of Med. Sci. Nagoya City Univ.

1P-33**Effect of ER stress modulator on ER-Golgi SNARE expression and A β peptide secretion in NG108-15 cell**

Kei Suga^{1,2}, Masafumi Nishino², Yasuo Terao², Kimio Akagawa²
¹*Dept. Chem. Kyorin Univ. Sch. of Med., ²Dept. Cell Physiol. Kyorin Univ. Sch. of Med.*

9/7 (Thu) 17:30-18:30 [Room Poster]

グリア、ミエリン、神経免疫、その他

Chairperson: Tomoyuki Furuyashiki (Div Pharmacol, Grad Sch Med, Kobe Univ)

1P-34**Effects of the IVIg treatment on the mice lysolecithin-induced peripheral nerve demyelination**

Akiko Hayashi¹, Daigo Yanaoka¹, Takafumi Yamada¹, Yuka Nishibe¹, Naho Suzuki¹, Ayami Kawada¹, Hiroaki Takimoto², Hiroko Baba¹
¹*Department of Molecular Neurobiology, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences, ²Department of Biosciences, Kitasato University*

1P-35**Disruption of paranodal axo-glial junctions causes accumulation of axonal IP₃R1 in Purkinje cells in CST-deficient mice**

Tomoko Ishibashi¹, Taiga Tsurifune¹, Saki Takahashi¹, Katsuhiko Mikoshiba², Hiroko Baba¹
¹*Dept Molecular Neurobiology, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences, ²Lab for Developmental Neurobiology, RIKEN, BSI*

1P-36**Olig2-lineage astrocytes comprises a subpopulation of astrocytes distinct from GFAP-positive ones in the adult mouse brain.**

Kouko Tatsumi, Ayami Isonishi, Shoko Morita-Takemura, Tatsuhide Tanaka, Akio Wanaka
Dept Anat and Neurosci, Nara Med Univ

1P-37**Effect of functional fatty acids on proliferation of the mouse cultured astrocytes.**

Hitoshi Inada, Inês dos Reis, Noriko Osumi
Dept Develop Neurosci, Grad Sch Med, Tohoku Univ

1P-38**Phylogenetically conserved sequence around PNS myelin P0 stop codon is essential for the synthesis of the readthrough isoform L-MPZ**

Yoshihide Yamaguchi, Yu Naito, Yukiko Uchino, Mai Mogi, Hiroko Baba
Dept Mol Neurobiol, Sch Pharm, Tokyo Univ Pharm & Life Sci

1P-39**The absence of myelin basic protein reduces the non-amyloidogenic APP processing pathway in the MBP^{-/-} mice and bigenic Tg2576/MBP^{-/-} mice**

Chika Seiwa^{1,2}, Saki Nakashima³, Hiroaki Asou^{2,3}
¹Lab of Mol Neurosci and Neurol Sch of Life Sci, Tokyo Univ of Pharmacy and Life Sci, ²Glovia Myelin Res Inst, ³Keio Univ Sch of Med

1P-40**Loss of p73 in ependymal cells during the perinatal period leads to aqueductal stenosis**

Masashi Fujitani^{1,2}, Toshihide Yamashita², Koichi Noguchi¹
¹Department of Anatomy and Neuroscience, Hyogo College of Medicine, ²Dept Molecular Neuroscience, Grad Sch Med, Osaka Univ

1P-41**TRPM2 channel aggravates the CNS inflammation via increased production of CXCL2 chemokines in experimental autoimmune encephalomyelitis**

Hisashi Shirakawa, Ryo Hirase, Masato Tsutsui, Sakie Miyamura, Kazuki Nagayasu, Shuji Kaneko
Dept Mol Pharmacol, Grad Sch Pharm Sci, Kyoto Univ

1P-42**Microglia support ATF3-positive neurons following hypoglossal nerve axotomy**

Tatsuhide Tanaka¹, Koichi Murakami², Yoshio Bando², Taichi Nomura², Ayami Isonishi¹, Shoko Morita-Takemura¹, Kouko Tatsumi¹, Akio Wanaka¹, Shigetaka Yoshida²
¹Dept Anat. and Neurosci., Nara Med. Univ., ²Dept Functional Anat. and Neurosci., Asahikawa Med. Univ.

1P-43**DHA-dependent lipid peroxidation increases α-synuclein aggregation and accumulation via inhibition of autophagy system in neuronal cells**

Masayo Shamoto-Nagai, Wakako Maruyama, Makoto Naoi
Dept Health Nutr. Fac Psychol & Physical Sci, Aichi Gakuin Univ

1P-44**Differential changes of drebrin and PSD-95 localization in response to glutamate stimulation**

Noriko Koganezawa, Yukai Chiu, Tomoaki Shirao
DNBB, Grad Sch Med, Gunma Univ

1P-45**Sweetness-induced rat brain activity changes and comparative examination of sucrose and artificial sweetener**

Yukiko Kondo¹, Satomi Higuchi², Ikuko Uwano², Fumio Yamashita², Makoto Sasaki², Masamichi Hirose³, Eiichi Taira¹
¹Dept Pharmacol. Sch Med, Iwate Med Univ, ²Div Ultrahigh field MRI. Inst Biomed Sci, Iwate Med Univ, ³Dept Mol Cell Pharmacol. Sch Pharm Sci, Iwate Med Univ

神経ネットワーク、その他

Chairperson: Hiroko Baba (Dept Mol Neurobiol, Tokyo Univ Pharm Life Sci)

1P-46

Autism-like behavioral abnormalities in N-ethylmaleimide - sensitive factor knockout miceMin Jue Xie^{1,2,3}, Keiko Iwata^{1,2,3}, Yugo Fukazawa^{1,4}, Hideo Matsuzaki^{1,3}¹Div Dev Mental Func, Res Center Child Mental Dev, Univ of Fukui, ²Life Sci Innovation Center, Univ of Fukui, ³United Grad Sch Child Dev, Osaka Univ, Kanazawa Univ, Hamamatsu Univ Sch Med, Chiba Univ, Univ of Fukui, ⁴Div brain struc func, Dept Morphol Physiol Sci, Grad Sch Med Sci, Univ of Fukui, Fukui, Japan

1P-47

The mitochondrial dysfunction due to the accumulation of mtDNA deletions in the brain causes behavioral abnormalities in heterozygous *Polg* mutant miceSatoshi Fuke^{1,2}, Yasufumi Shigeyoshi³, Jin Nakatani⁴, Saori Yoshida⁵, Ken-ichi Mukaisyo⁵, Mie Kubota-Sakashita², Natsu Koyama¹, Hiroyuki Sugihara⁵, Seiji Hitoshi¹, Tadafumi Kato²¹Department of Integrative Physiology, Shiga University of Medical Science, ²Laboratory for Molecular Dynamics of Mental Disorders, RIKEN BSI, ³Department of Anatomy and Neurobiology, Kinki University School of Medicine, ⁴Biomedical Magnetic Resonance Science Unit, Molecular Neuroscience Research Center, Shiga University of Medical Science, ⁵Department of Pathology, Division of Molecular and Diagnostic Pathology, Shiga University of Medical Science

1P-48

Selective serotonin reuptake inhibitors with affinity for σ_1 receptors exert anti-anhedonic effect in picrotoxin-induced model of anxiety/depressionYukio Ago¹, Shigeru Hasebe^{1,2}, Momoko Higuchi¹, Hitoshi Hashimoto^{1,3,4}, Kazuhiro Takuma^{1,2,3}, Toshio Matsuda⁵¹Lab. Mol. Neuropharmacol., Grad. Sch. Pharmaceut. Sci., Osaka Univ., ²Dept. Pharmacol., Grad. Sch. Dent., Osaka Univ., ³United Grad. Sch. Child Dev., Osaka Univ., ⁴Inst. Datability Sci., Osaka Univ., ⁵Lab. Med. Pharmacol., Grad. Sch. Pharmaceut. Sci., Osaka Univ.

1P-49

Cortical interleukin-1 facilitates learning the spatial memory task in the water maze in young miceTakako Takemiya¹, Kanato Yamagata², Yoichiro Iwakura³, Marumi Kawakami¹¹Med Res Inst, Tokyo Women's Med Univ, ²Synaptic Plasticity Proj, Tokyo Metro Inst of Med Sci, ³Insti for Biomed Sci, Tokyo Univ of Sci

1P-50

Prepulse inhibition in *Drosophila* reveals possible candidate genes that have functions in sensory gating and relate to the psychiatric disorder.

Takako Morimoto, Yutaro Matsumoto, Koki Takei, Kazuya Shimizu, Junji Yamauchi

Lab of Neuroscience and Neurology, Sch of Life Sci, Tokyo Univ of Pharm and Life Sci

1P-51

The interaction between respiratory rhythm and body movement in the Parabrachial nucleus in the developmental stageAkiko Arata¹, Chiaki Uchida¹, Hirotaka Ooka¹, Suguru Iwano^{1,2}, Toshiaki Noma^{1,2}, Sotatsu Tonomura^{1,3}, Akira Tamaki²¹Dept. of Physiol. Hyogo Coll. of Med., ²Hyogo Univ. of Health Science, Physical Therapy for Internal Disorders, ³Dept. of Anatomy, Hyogo Coll. of Med.

1P-52

Enhanced locomotor activity and impaired prepulse inhibition induced by presynaptic cytomatrix protein Piccolo knockdown in the amygdala of miceKohei Hamatani¹, Yoshiaki Miyamoto¹, Yuki Oketani¹, Shin-iti Muramatsu^{2,3}, Kyosuke Uno¹, Atsumi Nitta¹¹Department of Pharmaceutical Therapy & Neuropharmacology, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Sciences, University of Toyama, ²Division of Neurology, Department of Medicine, Jichi Medical University, ³Center for Gene & Cell therapy, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo

1P-53

Links among molecular clock, protein modification and adaptive protection systems to support 24hr-lifestyleTeruya Tamaru¹, Genki Kawamura², Hikari Yoshitane³, Yoshitaka Fukada³, Takeaki Ozawa², Ken Takamatsu¹¹Dept Physiology, Toho Univ Sch Med, ²Dept Chemistry, Sch Sci, Univ Tokyo, ³Dept Biological Science, Sch Sci, Univ Tokyo

1P-54**Effects of SHATI/NAT8L overexpression in the striatum on social stress sensitivity in mice**

Hajime Miyanishi¹, Kyosuke Uno¹, Toh Miyazaki¹, Kengo Sodeyama¹, Toshiyuki Fujiwara¹, Shin-ichi Muramatsu^{2,3}, Yoshiaki Miyamoto¹, Atsumi Nitta¹

¹Department of Pharmaceutical Therapy and Neuropharmacology, Faculty of Pharmaceutical Sciences, Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Sciences, University of Toyama, ²Division of Neurology, Jichi Medical University, ³Center for Gene & Cell Therapy, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo

1P-55**Regulation of lipid droplets by *Mycobacterium leprae* infection in Schwann cells**

Masumi Endoh

Dept. Mycobacteriol, Leprosy Research Center, NIID

1P-56**Involvement of BRINP1 in regulation of neural excitation**

Miwako Kobayashi¹, Shota Yamasaki¹, Yuichi Hayashi¹, Kono Yasuhiro¹, Kenshi Takechi^{2,3}, Akihiro Tanaka², Hiroaki Araki², Ichiro Matsuoka¹

¹Col. of Pharm. Sci., Matsuyama Univ., ²Division of Pharmacy, Ehime Univ. Hospital, ³Clinical Trial Ctr. for Developmental Therapeutics, Tokushima Univ. Hospital

1P-57**Study of Teneurin-4 function to establish the bipolar disease mice model using CRISPR-Cas9 system**

Masaya Miyashita^{1,2}, Kyouosuke Uno³, Fumitaka Nakano^{1,2}, Hirofumi Nishizono⁴, Shin-ichi Muramatsu^{5,6}, Yoshiaki Miyamoto³, Atsumi Nitta³

¹Faculty of Pharmaceutical Science, University of Toyama, Toyama, Japan, ²Department of Pharmaceutical Therapy and Neuropharmacology, Faculty of Pharmaceutical Science, University of Toyama, Toyama, JAPAN, ³Department of Pharmaceutical Therapy and Neuropharmacology, Faculty of Pharmaceutical Science, Graduate School of Medicine and Pharmaceutical Science, University of Toyama, Toyama, JAPAN, ⁴Life Science Research Center, University of Toyama, Toyama, JAPAN, ⁵Division of Neurology, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan, ⁶Center for Gene & Cell Therapy, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan

ISN/APSN/JSN Luncheon Seminar

1LC

9/7 (Thu) 12:50-13:50 [Room B]

Invitation from ISN/APSN/JSN (English)

座長：Keiji Wada (JSN)
演者：Kazuhiro Ikenaka (ISN)
Akio Wanaka (APSN)
Keiji Wada (JSN)

Sponsored by JSN

Co-sponsored Seminars (Luncheon Seminars) 共催セミナー（ランチョンセミナー）

1LC1

9/7 (Thu) 12:50-13:50 [Room C]

ランチョンセミナー1：パーキンソン病の早期診断と進行抑制治療 ー実現に向けた取り組みと今後の展望ー

座長：谷内 一彦（東北大学大学院医学系研究科・機能薬理学）
演者：長谷川 隆文（東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座 神経内科学分野）

共催：田辺三菱製薬株式会社

1LC2

9/7 (Thu) 12:50-13:50 [Room D]

ランチョンセミナー2：なぜ研究への患者・市民参画が必要なのか：国内の現状と今後の展望

座長：原 塑（東北大学大学院文学研究科）
演者：東島 仁（山口大学国際総合科学部）

共催：文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究（研究領域提案型）
多様な「個性」を創発する脳システムの統合的理解

Plenary Lecture**2L1**

9/8 (Fri) 11:10-12:10 [Room A]

Neurodevelopmental disorders: From basic mechanisms to clinical trials

Chairperson: Noriko Osumi (Dept Dev Neurosci, Grad Sch Med, Tohoku Univ)

**Ype Elgersma**

ENCORE expertise center for neurodevelopmental disorders; Department of Neuroscience; Erasmus MC University Medical Center, Rotterdam, The Netherlands

Intellectual disability (ID) is present in 2% of all children. Recent evidence suggests that in the majority of the cases a genetic mutation is the primary cause of the intellectual disability. Knowledge of the role of mutated gene is an important step in trying to understand the molecular mechanisms leading to ID, and helps us to design therapeutic strategies in which we try to ameliorate the symptoms associated with these disorders.

In this presentation I will in particular focus on our research on Angelman Syndrome. Angelman syndrome (AS) is a severe neurological disorder, affecting 1:20,000. Children with AS present with severe intellectual disability, motor dysfunction and absence of speech. In addition, there is a high comorbidity with epilepsy and behavioral deficits. AS is caused by spontaneous mutations in the *UBE3A* gene. Currently, there are no effective treatments for this devastating disorder. Therefore, the primary aim of our research is to advance our knowledge of the underlying pathophysiology of AS with the ultimate aim to identify promising approaches for improving therapeutic treatment.

References:

- Overwater IE et al. (2016) Sirolimus for epilepsy in children with tuberous sclerosis complex: A randomized controlled trial. *Neurology* 87:1011-1018
- Elgersma Y (2015). Neurodevelopmental disease: A molecular tightrope. *Nature* 526, 50–51
- Bruinsma CF et al. (2015) Dissociation of locomotor and cerebellar deficits in a murine Angelman syndrome model. *J. Clin Invest.* 125:4305–4315
- Silva-Santos S et al. (2015) *Ube3a* reinstatement identifies distinct developmental windows in a murine Angelman syndrome model. *J. Clin. Invest.* 125:2069-2076
- Omrani A et al. (2015) HCN channels are a novel therapeutic target for cognitive dysfunction in Neurofibromatosis type 1 *Mol. Psych.* 20, 1311-1321
- Goorden SMI et al. (2015) Intact neuronal function in *Rheb1* mutant mice: implications for TORC1 based treatments *Hum. Mol. Gen.* 24:3390-8
- Van Der Vaart T et al. (2015) Treatment of cognitive deficits in genetic disorders: a systematic review of clinical trials *JAMA Neurol.* 72:1052-1060
- Abs E et al. (2013) TORC1-dependent epilepsy caused by acute biallelic *Tsc1* deletion in adult mice. *Ann Neurol* 74:569–579
- Van Der Vaart T et al. (2013) Simvastatin for cognitive deficits and behavioural problems in patients with neurofibromatosis type 1 (NF1-SIMCODA): a randomised, placebo-controlled trial. *Lancet Neurol* 12:1076–1083

Professor Molecular Neurobiology, Director of the *ENCORE* expertise center for neurodevelopmental disorders; Department of Neuroscience; Erasmus MC University Medical Center, Rotterdam, The Netherlands expertise center for neurodevelopmental disorders.

E-mail: y.elgersma@erasmusmc.nl

Prof. dr. Ype Elgersma received his PhD in 1995 at the University of Amsterdam, The Netherlands, on the study of peroxisome biogenesis and protein trafficking in yeast. During his post-doc in the US, he switched his interest towards Neuroscience, studying the mechanisms underlying learning and memory at Cold Spring Harbor Laboratories and UCLA in the laboratory of Alcino Silva.

In 2002 Ype Elgersma started his laboratory at Erasmus University Medical Center, Rotterdam. The main focus of the laboratory is to understand the mechanism underlying neurodevelopmental disorders. To translate the findings to the clinic, Ype Elgersma is founder and director of the *ENCORE* expertise center for neurodevelopmental disorders, which includes the national referral center for TSC, Angelman Syndrome, Neurofibromatosis, Costello Syndrome, CFC and Fragile X, as well as a neurogenetics and autism clinic. The center is recognized as a national and international referral center.

2S1

9/8 (Fri) 9:00-11:00 [Room A]

Frontiers in animal research on neurodevelopmental diseases

自閉症研究最前線：モデル動物のさらなる可能性を求めて

Chairperson: Noriko Osumi (Tohoku University Graduate School of Medicine, Department of Developmental Neuroscience)

2S1-1

Modulation of behavioral deficits in animal models of autism spectrum disorder with agmatine

Young Shin Chan

Department of Pharmacology, School of Medicine, Konkuk University

2S1-2

Leveraging genetic rat models of intellectual and developmental disabilities for basic science and translational research

Rodney C Samaco^{1,2}

¹BCM Intellectual and Developmental Disabilities Research Center (IDDRC), ²Jan and Dan Duncan Neurological Research Institute at Texas Children's Hospital

2S1-3

Effect of paternal aging on behavior of offspring in animal models of neurodevelopmental diseases

Noriko Osumi

Tohoku University Graduate School of Medicine, Department of Developmental Neuroscience

2S1-4

Spatiotemporal brain transcriptome architecture and application for disease model in marmosets

Yasuhiro Go

Department of Brain Sciences, Center for Novel Science Initiatives, National Institutes of Natural Sciences, Okazaki, Aichi, Japan

2S2

9/8 (Fri) 9:00-11:00 [Room B]

Current topics of myelin biology and beyond

ミエリンバイオロジーの進歩

Chairpersons: Hiroko Baba (Dept Mol Neurobiol, Tokyo Univ Pharm Life Sci)

Hirohide Takebayashi (Div Neuroanat. Grad Sch Med & Dent Sci, Niigata Univ)

2S2-1

Up-to-date knowledge on pathomechanism of MS and related disorders

Izumi Kawachi, Masatoyo Nishizawa, Osamu Onodera

Dept Neurol., Brain Research Institute, Niigata Univ

2S2-2

Oligodendrocyte is a dynamic modulator of conduction velocity

Kenji Tanaka¹, Yoshihiko Yamazaki²

¹Dept Neuropsychiatry, Keio Univ Sch Med, ²Dept Physiol, Yamagata Univ Sch Med

2S2-3

A novel Olig2-binding factor is indispensable for oligodendrocyte development in central nervous system

Hirohide Takebayashi, Norihisa Bizen

Div Neuroanat. Grad Sch Med & Dent Sci, Niigata Univ

2S2-4

Roles of oligodendrocyte-neuron interactions in myelination

Takeshi Shimizu^{1,2}, Yasuyuki Osanai^{1,2,3}, Kazuhiro Ikenaka^{1,2}

¹*Div of Neurobiol and Bioinfo, Natl Inst for Physiol Sci*, ²*Dept of Physiol Sci, School of Life Sci, SOKENDAI*, ³*Australian Regenerative Med Inst, Monash Univ*

2S2-5

Recent advances in myelin biology

Kazuhiro Ikenaka

Division of Neurobiology and Bioinformatics, National Institute for Physiological Sciences

2S3

9/8 (Fri) 9:00-11:00 [Room C]

Gut-brain link grabs neurochemists**脳腸関連からみた神経化学**

Chairpersons: Hideo Matsuzaki (Res Center Child Mental Dev, Univ Fukui)

Nobuyuki Sudo (Department of Psychosomatic Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University)

2S3-1

The functions of maternal gut microbiota linking mother with offspring during perinatal periods

Shiro Tochitani^{1,2}

¹*Faculty of Health Science, Suzuka University of Medical Science*, ²*Research Center for Child Mental Development, University of Fukui*

2S3-2

Investigation of the molecule related to the intestinal microbiota-gut-brain axis using metabolomics

Mitsuharu Matsumoto

Dairy Science and Technology Institute, Kyodo Milk Industry Co. Ltd.

2S3-3

The role of the gut microbiota in the production of monoamines in the gut lumen

Tomokazu Hata, Nobuyuki Sudo

Department of Psychosomatic Medicine, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University

2S3-4

Nutritional and metabolic studies on chronic social defeat models

Atsushi Toyoda^{1,2}

¹*Department of Food and Life Sciences, College of Agriculture, Ibaraki University*, ²*United Graduate School of Agricultural Science, Tokyo University of Agriculture and Technology*

2S3-5

Oral intake of umami in early life effects on emotional behavior mediated by gut-brain interaction

Hideki Hida

Department of Neurophysiology & Brain Science, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences

2S4

9/8 (Fri) 14:10-16:10 [Room A]

Microglia-endocrine interaction in health and disease**ミクログリアー内分泌関連**

Chairperson: Mami Noda (Lab Pathophysiol, Grad Sch Pharm Sci, Kyushu Univ)

2S4-1**An OXTR-gene deficient ASD model mice showed activated microglial cells and multiple impairments**

Katsuhiko Nishimori, Shinji Miyazaki, Yuichi Hiraoka, Shizu Hidema

*Dept Mol Biol. Grad Sch Agriculture, Tohoku Univ***2S4-2****Pre-exposure to psychosocial stress induces polyI:C-induced allodynia and depressive-like behavior**Takakazu Oka^{1,2}, Takeharu Chijiwa¹, Battuvshin Lkhagvasuren¹, Nobuyuki Sudo¹*¹Dept of Psychosomatic Med, Grad Sch Med Sci, Kyushu Univ, ²Dept Psychosomatic Med, International Univ Health and Welfare hospital***2S4-3****Effects of glucocorticoids on microglial cells in health and disease**

Junya Tanaka, Mohammed E Choudhury, Hajime Yano

*Ehime Univ, Grad Sch Med, Dept Molecul Cell Physiol***2S4-4****Effects of thyroid hormones on microglial function and neuron-glia interaction**Mami Noda¹, Yusaku Yoshioka¹, Yosuke Kitahara², Akinori Nishi²*¹Lab Pathophysiol, Grad Sch Pharm Sci, Kyushu Univ, ²Dept Pharmacol, Kurume Univ Sch Med*

2S5

9/8 (Fri) 14:10-16:10 [Room B]

Next generation symposium by alumni of the Educational Seminars for Young Researchers ② [physiology and diseases]**若手育成セミナー出身者による次世代シンポジウム②【生理・疾患】**

Chairpersons: Yuuki Fujiwara (Department of Degenerative Neurological Diseases, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry)

Tomohiro Umeda (Department of Translational Neuroscience, Osaka City University Graduate School of Medicine)

2S5-1**Involvement of non-vesicular transport type of autophagy in encephalitis virus replication**Yuuki Fujiwara¹, Kazuki Oroku², Yoshiyuki Oshima², Yoshiaki Furuya², Katsunori Hase¹, Viorica Raluca Contu¹, Masayuki Takahashi¹, Chihana Kabuta¹, Tetsuo Sato², Nobuyuki Tsutsumi², Keiji Wada¹, Tomohiro Kabuta¹*¹Department of Degenerative Neurological Diseases, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, ²Nippon Institute for Biological Science***2S5-2****Generation of Animal Models and Development of Anti-Dementia Medicines**

Tomohiro Umeda

Department of Translational Neuroscience, Osaka City University Graduate School of Medicine

Three dimensional ultrastructure of new neurons migrating in the normal and injured adult brain

Mami Matsumoto¹, Masato Sawada¹, Naoko Kaneko¹, Huy Bang Nguyen², Truc Quynh Thai², Natsuko Kumamoto³, Shinya Ugawa³, Nobuhiko Ohno⁴, Kazunobu Sawamoto^{1,5}

¹Department of Developmental and Regenerative Biology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Aichi, Japan, ²Division of Neuronal Development and Regeneration, National Institute for Physiological Sciences, Okazaki, Aichi, Japan, ³Department of Anatomy and Neuroscience, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Aichi, Japan, ⁴Division of Histology and Cell Biology, Department of Anatomy, Jichi Medical University School of Medicine, Tochigi, Japan, ⁵Division of Neuronal Development and Regeneration, National Institute for Physiological Sciences, Okazaki, Aichi, Japan

The role of region-specific spinal dorsal horn astrocytes in sensory information processing

Yuta Kohro¹, Ryuichi Katsuragi¹, Takaaki Oka¹, Sho Muneta¹, Ryoichi Tashima¹, Hidetoshi Tozaki-Saitoh¹, Kazuhide Inoue², Makoto Tsuda¹

¹Dept. Life-Innov., Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyushu Univ., ²Dept. Mol. Syst. Pharmacol., Grad. Sch. Pharm. Sci., Kyushu Univ.

The signaling of JNK as a positive signal for neuronal development and regeneration

神経発生及び正の再生シグナルとしての JNK シグナリング

Chairperson: Michihiro Igarashi (Department of Neurochemistry and Molecular Cell Biology, Niigata University / Trans-disciplinary Research Program, Niigata University)

JNK substrates involved in axonal growth, identified by phosphoproteomics of the growth cone

Asami Kawasaki^{1,2}, Masayasu Okada^{1,2,3}, Atsushi Tamada^{1,2}, Michihiro Igarashi^{1,2}

¹Department of Neurochemistry and Molecular Cell Biology, Niigata University, ²Trans-disciplinary Research Program, Niigata University, ³Departments of Neurosurgery, Institute for Brain Research, Niigata University

Regulation of axon regeneration by JNK signaling in *Caenorhabditis elegans*

Naoki Hisamoto, Strahil Pastuhov, Kunihiro Matsumoto

Dept Biol Sci, Grad Sch Sci, Nagoya Univ

Critical role of JSAP in axonal transport to prevent neuronal degeneration

Katsuji Yoshioka, Tokiharu Sato

Div Mol Cell Signaling, Cancer Res Inst, Kanazawa Univ

DLK-dependent JNK activation facilitates the axon formation in cortical neurons

Syu-ichi Hirai

Dept Biol, Sch Med, Wakayama Med Univ

Stress-activated protein kinase MKK7 regulates neuronal development and maintenance

Hiroshi Nishina

Department of Developmental and Regenerative Biology, Medical Research Institute, Tokyo Medical and Dental University

2S7

9/8 (Fri) 16:20-18:20 [Room A]

Multidimensional approach toward understanding of autism and neurodevelopmental disorders**自閉症・発達障害の病態解明への多面的アプローチ**

Chairpersons: Koichi Nagata (Dept Mol Neurobiol. Inst Dev Res, Aichi Hum Serv Ctr)

Toru Takumi (Mental Biol., RIKEN BSI / Grad Sch Biomed & Health Sci, Hiroshima University)

2S7-1**Neuro-functional analysis using disease-specific iPS cells**

Toshiyuki Yamamoto, Keiko Shimojima

*Institute of Medical Genetics, Tokyo Women's Medical University***2S7-2****Genetic and pathophysiological analysis for developmental disorder, mainly for autism spectrum disorder**

Takanori Yamagata

*Department of Pediatrics, Jichi Medical University***2S7-3****Brain structural and behavioral abnormalities in a mouse model for 15q25.2-25.3 microdeletion syndrome**Jun Nomura¹, Akifumi Kanda², Jacob Ellegood³, Jason P Lerch³, Yusuke Sotomaru², Toru Takumi^{1,2}¹Mental Biol., RIKEN BSI, ²Grad Sch Biomed & Health Sci, Hiroshima University, ³Mouse Imaging Centre (MICe), The Hospital for Sick Children Toronto**2S7-4****Analyses of causative genes for ASD with an analytical battery based on in utero electroporation**

Koh-ichi Nagata, Nanako Hamada

*Dept Mol Neurobiol. Inst Dev Res, Aichi Hum Serv Ctr***2S8**

9/8 (Fri) 16:20-18:20 [Room B]

The Pathogenesis of Neurodegenerative diseases on the Oligomer Hypothesis**オリゴマー仮説に基づいて神経変性疾患の病態を考える**

Chairpersons: Kenjiro Ono (Dept of Neurol. Sch of Med, Showa Univ)

Hideyuki Okano (Department of Physiology, Keio University School of Medicine)

2S8-1**The consideration of Alzheimer's disease from the view of A β oligomer**

Kenjiro Ono

*Dept of Neurol. Sch of Med, Showa Univ***2S8-2****The importance of α -synuclein oligomers in the pathogenesis of Parkinson's disease**

Takahiko Tokuda

*Department of Molecular Pathobiology of Brain Diseases, Kyoto Prefectural University of Medicine***2S8-3****Tau oligomers in tauopathy**

Takami Tomiyama

Dept Transl Neurosci. Osaka City Univ Grad Sch Med

2S8-4

Modeling of Human Neurological/Psychiatric Disorders using iPS cells

Hideyuki Okano

Department of Physiology, Keio University School of Medicine

2S9

9/8 (Fri) 16:20-18:20 [Room C]

Perineuronal nets and neuroregulation

ペリニューロナルネットによる神経制御

Chairpersons: Mariko K Hayashi (Int. Univ. Health Welfare / Nat.Inst.Health Sci.)

Kosei Takeuchi (Dept CellBiol. Aichi Medical Univ.)

2S9-1

Regulation of glutamatergic transmission by hyaluronan

Mariko K Hayashi^{1,2}, Kaoru Sato²

¹Int. Univ. Health Welfare, ²Nat.Inst.Health Sci.

2S9-2

Chondroitin sulfation is relevant to perineuronal net formation and temporal lobe epilepsy

Hiroshi Kitagawa

Dept Biochem. Kobe Pharmaceutical Univ.

2S9-3

In vivo regulation of chondroitin sulfate gene to recovery from spinal cord injury and brain infarction.

Kosei Takeuchi

Dept CellBiol. Aichi Medical Univ.

2S9-4

Chondroitin Sulfate Is Required for Critical Period Plasticity in Visual Cortex

Sayaka Sugiyama

Lab of Neuronal Dev, Grad Sch Med Dent Sci, Niigata Univ

2S9-5

New insights into the heterogeneity of perineuronal nets and GABAergic neurons in the hippocampus

Shozo Jinno

Dept Anat Neurosci, Grad Sch Med Sci, Kyushu Univ

201

9/8 (Fri) 9:00-10:00 [Room D]

イオンチャンネル、回路網形成

Chairpersons: Norio Sakai (Dept Mol and Pharmacol Neurosci, Grad Sch Biomed & Health Sci, Hiroshima Univ)
Yasuki Ishizaki (Dept Mol Cell Neurobiol. Gunma Univ Grad Sch Medicine)

201-1

Inter-laminar comparison of inter-areal circuit development in the mouse cerebral cortex

Makoto Sato^{1,2,3}, Yuka Lin¹, Misaki Hattori¹, Sheena YX Tiong¹, Miyuki Doi¹, Tokuichi Iguchi¹, Yuichiro Oka^{1,2}

¹Dept Anat & Neurosci, Grad Sch Med, Osaka Univ, ²Div Dev Neurosci, United Grad Sch Child Dev, Osaka Univ, ³Res Center for Child Mental Dev

201-2

The development of screening methods to identify drugs, which can relieve ER stress, using wild-type and mutant serotonin transporter

Norio Sakai, Kazusa Katarao, Seiya Murakawa, Masaya Asano, Toshihiko Shirafuji, Izumi Hide, Shigeru Tanaka

Dept Mol and Pharmacol Neurosci, Grad Sch Biomed & Health Sci, Hiroshima Univ

201-3

Mechanosensor function of TRPV2 is sensitized by high temperature region in growth cones, and promotes axonal outgrowth during development

Koji Shibasaki¹, Shouta Sugio¹, Kohki Okabe², Yuko Iwata³, Katsuhiko Ono⁴, Yasuki Ishizaki¹

¹Dept Mol Cell Neurobiol. Gunma Univ Grad Sch Medicine, ²Grad Sch Pharm Sci, The Univ Tokyo, ³Dep Clin Res Dev, National Cerebral Cardiovascular Center Res Inst, ⁴Dep Biol, Kyoto Pref Univ Medicine

201-4

A septin-mediated synaptic regulation required for spatial discrimination

Makoto Kinoshita¹, Yugo Fukazawa², Haruhiko Bito³, Natsumi Ageta-Ishihara¹

¹Dept Mol. Biol., Nagoya Univ. Grad. Sch. Sci., ²Dept Neuroanat, Univ of Fukui Sch. Med., ³Dept Neurochemistry, Univ of Tokyo Grad Sch. Med

202

9/8 (Fri) 10:10-11:25 [Room D]

グリア、ミエリン

Chairpersons: Schuichi Koizumi (Dept. Neuropharmacol., Interdiscip. Grad. Sch. Med. Univ. Yamanashi)
Hirosi Kiyama (Dept Funct Anat & Neurosci, Nagoya Univ Grad Sch Med)

202-1

Effects of amyloid- β and lipopolysaccharide on insulin expression in cultured astrocytes

Katsura Takano, Keisuke Koarashi, Mitsuaki Moriyama, Yoichi Nakamura

Lab. Integ. Physiol., Vet. Sci., Osaka Pref. Univ.

202-2

Microglia-induced astrocytic P2Y₁ receptor down-regulation causes astrocyte scar formation

Youichi Shinozaki¹, Keisuke Shibata¹, Eiji Shigetomi¹, Keitaro Yoshida², Kazuhiro Ikenaka³, Kenji F Tanaka²,
Schuichi Koizumi¹

¹Dept. Neuropharmacol., Interdiscip. Grad. Sch. Med. Univ. Yamanashi, ²Dept. Neuropsychiat., Keio Univ. Sch. Med.,

³Dev. Neurobiol. Bioinfo., Natl. Inst. Physiol. Sci.

202-3

Multiple origins of perilesional nestin-expressing reactive astrocytes following closed-head injury

Mitsuhiro Morita, Natsuki Okazaki, Hinata Matsuda, Erika Tsuji

Dept Biol, Grad Sch Sci, Kobe Univ

202-4

Siglec-H is a specific marker for microglia in mice

Hirofumi Konishi¹, Masaaki Kobayashi¹, Katsuaki Sato², Hiroshi Kiyama¹

¹Dept Funct Anat & Neurosci, Nagoya Univ Grad Sch Med, ²Div Immunol, Dept Infect Dis, Fac Med, Univ Miyazaki

202-5

Astrocytic protein NDRG2 exacerbates demyelination in mouse experimental autoimmune encephalomyelitis

Mika Takarada-Iemata, Thoungh Manh Le, Nahoko Okitani, Jureepon Roboon, Tsuyoshi Hattori, Hiroshi Ishii, Osamu Hori

Dept Neuroanat, Grad Sch Med Sci, Kanazawa Univ

203

9/8 (Fri) 14:10-15:25 [Room D]

グリア、ミエリン、神経免疫

Chairpersons: Toshihide Yamashita (Dept of Molecular Neuroscience, Graduate School of Medicine, Osaka University)

Hirofumi Nawa (Dept Mol Neurobiol, Brain Res Inst, Niigata Univ)

203-1

Anti-MOG autoantibody induces morphological changes in oligodendrocytes

Yoshio Bando, Shigetaka Yoshida

Dept Functional Anat. and Neurosci., Asahikawa Med Univ

203-2

Inhibition of RGMa alleviates symptoms in a rat model of neuromyelitis optica

Kana Harada, Yuki Fujita, Toshihide Yamashita

Dept of Molecular Neuroscience, Graduate School of Medicine, Osaka University

203-3

Mafb prevents excess inflammation after ischemic stroke by the clearance of DAMPs through MSR1

Takashi Shichita^{1,2}, Akihiko Yoshimura²

¹Stroke Renaissance, Tokyo Metro Inst Med Sci, ²Dept Microbiol Immunol, School Med, Keio Univ

203-4

Epidermal growth factor regulates accumulation of sulfated chondroitin in the developing GABA neurons.

Yuriko Iwakura¹, Yutaro Kobayashi¹, Hisaaki Namba¹, Yuichiro Watanabe², Toshiyuki Someya², Hirofumi Nawa¹, Takayuki Yukawa^{1,2}

¹Dept Mol Neurobiol, Brain Res Inst, Niigata Univ, ²Dept Psychi, Grad Sch Med and Dent Sci, Niigata Univ

203-5

Visualizing changes in brain-derived neurotrophic factor (BDNF) expression using bioluminescence imaging in living mice

Mamoru Fukuchi^{1,4}, Hironori Izumi², Hisashi Mori², Masahiro Kiyama³, Satoshi Otsuka³, Shoji Maki³, Yosuke Maehata⁴, Akiko Tabuchi⁴, Masaaki Tsuda⁴

¹Lab Mol Neurosci, Fac Pharm, Takasaki Univ Health & Welfare, ²Dept Mol Neurosci, Grad Sch Med & Pharm Sci, Univ Toyama, ³Dept Eng Sci, Grad Sch Inform & Eng, Univ Electro-Communications, ⁴Dept Biol Chem, Grad Sch Med & Pharm Sci, Univ Toyama

軸索輸送、神経細胞死

Chairpersons: Nobuyuki Kimura (Dept Alzheimer Dis Res, NCGG)

Shin-ichi Hisanaga (Dept of Biol. Sci. Grad Sch Sci & Eng. TMU / Dept of Biol Sci, Sch of Sci & Eng, TMU)

204-1

Concomitant disruption of dynein-mediated retrograde endosome trafficking impedes APP metabolismNobuyuki Kimura¹, Eriko Samura², Keiko Suzuki¹, Sachi Okabayashi³, Nobuhiro Shimozawa⁴, Yasuhiro Yasutomi⁴¹Dept Alzheimer Dis Res, NCGG, ²Dept Neurol, Grad Sch Med, Univ Tokyo, ³Corp Prod Res Lab Primates, ⁴TPRC, NIBIOHN

204-2

Axon initial segment cytoskeleton shows a more complicated pattern during brain development.Takeshi Yoshimura¹, Sharon R. Stevens², Cristophe Leterrier³, Michael C. Stankewich⁴, Genki Amano¹, Sarina Han¹, Sho Shikada¹, Hironori Takamura¹, Ko Miyoshi¹, Matthew N. Rasband², Taiichi Katayama¹¹Dept Child Development & Mol Brain Sci, United Grad Sch Child Development, Osaka Univ, ²Dept Neurosci, Baylor College of Medicine, ³Aix Marseille Université, CNRS, ⁴Dept Pathology, Yale Univ

204-3

Regulation of CCL2 (MCP-1) expression from human mesenchymal stem/stromal cells after ischemia through inflammatory cytokinesHirokazu Ohtaki¹, Kazumichi Yagura¹, Jun Watanabe², Kazuyuki Miyamoto³, Kenji Dohi³, Kazuho Honda¹¹Dept Anat, Showa Univ Sch Med, ²Centr Biotech, Showa Univ, ³Dept Emergency & Critical Care Med, Showa Univ Sch Med

204-4

S6 kinase and insulin/IGF signaling regulates accumulation and toxicity of tau through Ser262 phosphorylation in a Drosophila model of tauopathyKanae Ando^{1,2}, Motoki Hayashishita¹, Tomoki Chiku², Taro Saito^{1,2}, Akiko Asada^{1,2}, Shin-ichi Hisanaga^{1,2}, Koichi M Iijima^{3,4}¹Dept of Biol. Sci. Grad Sch Sci & Eng. TMU, ²Dept of Biol Sci, Sch of Sci & Eng, TMU, ³Dept Alzheimer's Disease Res, NCGG, ⁴Dept Exp Gerontology, Grad Sch Pharm Sci, Nagoya City Univ

2DJ1

9/8 (Fri) 9:00-11:20 [Room E]

グリア、ミエリン、神経ネットワーク

Chairpersons: Kazunobu Sawamoto (Dept Dev Regenerative Biol, Grad Sch Med Sci, Nagoya City Univ)
 Atsushi Saito (Dept Biochem, Inst Biomed Health Sci, Hiroshima Univ)

2DJ1-1

Morphological analysis of dendritic spine in single neuron derived Atrx mice.

Yamaguchi Kouya¹, Norifumi Shioda², Kohji Fukunaga¹

¹Dept Pharmacol. Grad Sch Pharm Sci, Tohoku Univ, ²Dept Biofunctional Analysis, Gifu Pharm Univ

2DJ1-2

Abnormal amygdala-dependent fear memory in corticosterone-treated mice

Ryo Inagaki, Shigeki Moriguchi, Kohji Fukunaga

Dept Pharmacol. Grad Sch Pharm Sci, Tohoku Univ

2DJ1-3

Mitochondrial dysfunction involved in autism-like behaviors in prenatally valproic acid-exposed rats

Kazuya Matsuo, Yasushi Yabuki, Kohji Fukunaga

Dept Pharmacol. Grad Sch Pharm Sci, Tohoku Univ

2DJ1-4

TRPV4 accumulates in astrocytic mitochondria, and regulates its metabolic states

Shouta Sugio, Yasuki Ishizaki, Koji Shibasaki

Dept Mol Cell Neurobiol. Gunma Univ Grad Sch Medicine

2DJ1-5

Pathological study of cuprizone-induced demyelination in the cerebellum

Taichi Nomura, Yoshio Bando, Shigetaka Yoshida

Dept Functional Anat. and Neurosci, Asahikawa Medical Univ

2DJ1-6

Phagocytic astrocytes after brain ischemia

Yosuke Morizawa¹, Schuichi Koizumi²

¹Super-network Brain Physiology. Grad Sch Life Sciences, Tohoku Univ, ²DeptNeuropharmacol. Grad Fac Interdisciplinary Research, Univ. Yamanashi

2DJ1-7

Study on the neural mechanisms underlying the preference and aversion to environmental temperature

Daiki Tachibana, Airi Ido, Hiroshi Nomura, Masabumi Minami

Department of Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University

神経系の発生・再生、神経画像

Chairpersons: Itsuki Ajioka (Center Brain Integration Res, Tokyo Med Dent Univ)

Hitoshi Hashimoto (Grad Med, Osaka Univ/United Grad Sch Child Dev)

2DJ2-1

Role of serotonin transporter phosphorylated by protein kinase C in depressive-like behaviors of the stressed miceTakahiro Ito¹, Yuka Hiramatsu¹, Mizuki Uchida¹, Hirotake Hida¹, Fumiya Yamamoto¹, Akira Yoshimi¹, Norio Ozaki², Yukihiro Noda¹¹Div. Clin. Sci. Neuropsychopharmacol., Grad. Sch. Pharm., Meijo Univ., ²Dept. Psychiatry, Grad. Sch. Med., Nagoya Univ.

2DJ2-2

Analysis of corticostriatal pathway: approach from neural circuit-selective gene expression systems.Nozomu Yoshioka^{1,2,3}, Shigeki Kato¹, Masateru Sugawara¹, Kazuto Kobayashi¹¹Dept Mol Genetics, Inst of Biomed Sci, Fukushima Med Univ Sch Med, ²Div Neurobiol and Anat. Grad Sch Med and Dent Sci, Niigata Univ, ³Trans Res Prog, Niigata Univ

2DJ2-3

Ebf3 regulates neural differentiation of the developing neocortex.Ryota Iwai^{1,2}, Hidenori Tabata³, Mayuko Inoue², Keiichi Nomura², Koh-ichi Nagata³, Ken-ichi Mizutani¹¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kobe Gakuin University, ²Doshisha University, ³Aichi Human Service Center

2DJ2-4

In vivo imaging of AMPA receptor changes during epileptogenesis in drug induced Kindling modelYusuke Shibata^{1,2}, Chinatsu Ikeda¹, Yoko Kuroki¹, Tomoyuki Miyazaki^{1,2}, Makoto Higuchi², Takuya Takahashi^{1,2}¹Dept Physiol. Grad Sch Med Sci, Yokohama City Univ, ²Mole Ima Cent, Natio Inst Radiol Sci

2DJ2-5

A novel PET imaging technique to assess the AMPA receptor dynamics after cortical injury.

Yuki Katsuno, Susumu Jitsuki, Hiroki Abe, Tomoyuki Miyazaki, Waki Nakajima, Aoi Jitsuki, Yusuke Shibata, Akane Sano, Kumiko Suyama, Takuya Takahashi

Dept Physiology, Yokohama city univ, Yokohama

2DJ2-6

Dopamine D1 receptor mediates social defeat stress-induced dendritic growth in the mPFC and regulates stress-induced behavioral resilience in miceMasayuki Taniguchi¹, Ryota Shinohara¹, Aliza T. Ehrlich², Kentarou Yokogawa², Yuichi Deguchi², Atsubumi Ogawa², Shiho Kitaoka¹, Akira Sawa³, Shuh Narumiya², Tomoyuki Furuyashiki¹¹Div Pharmacol. Grad Sch Med, Kobe Univ, ²MIC. Grad Sch Med, Kyoto Univ, ³Dept Psychiatry. Sch Med, Johns Hopkins Univ

2DJ2-7

Coffee reduces BACE1 expression by activation of proteasomal degradation in human neuroblastoma SH-SY5Y cells.Kazuya Fukuyama¹, Shota Kakio¹, Kenji Kobata², Toshiharu Suzuki³, Megumi Tago¹, Hiroomi Tamura¹¹Dept Hygienic Chem., Grad Sch Pharm Sci, Keio Univ, ²Dept Clinical Dietetics and Human Nutrition, Grad Sch Pharm Sci, Josai Univ, ³Dept Neuronal Sci, Grad Sch Pharm Sci, Hokkaido Univ

イオンチャンネル、神経伝達物質

Chairperson: Hirokazu Mizoguchi (Dept Physiol Anat, Tohoku Med Pharm Univ)

2P-01

IL-1 β enhances H₂S-evoked Ca²⁺ signals via polysulfide production in RIN-14B cells

Ken-ichi Otsuguro, Ayako Ujike, Tomoki Kuraishi, Soichiro Yamaguchi, Shigeo Ito
Lab Pharmacol, Facult Vet Med, Hokkaido Univ

2P-02

Study on the function of MEGF10 in neurons

Yu Fujita¹, Tomoji Maeda², Koji Kamaishi¹, Rui Saito¹, Koyo Chiba¹, Xuefeng Shen¹, Kun Zou¹, Hiroto Komano¹
¹Department of Neuroscience, School of Pharmacy, Iwate Medical University, ²Department of Pharmacotherapy, Nihon Pharmaceutical University

2P-03

Phosphorylation of serotonin 1A receptor (5HT1AR) by Cdk5

Miyuki Takahashi¹, Yuki Kobayashi², Kanae Ando¹, Yumiko Saito², Shin-ichi Hisanaga¹
¹Dept. of Biol. Sci., Tokyo Met. Univ, ²Grad Sch Integ Arts and Sci, Hiroshima Univ.

2P-04

Immunoanalysis of melanin-concentrating hormone receptor 1 located in neuronal primary cilia

Tomoya Okada, Shogo Yamato, Daisuke Miki, Yuki Kobayashi, Yumiko Saito
Grad Sch Integrated Arts Sci, Hiroshima Univ

2P-05

Metabolic GPCR-mediated primary cilia shortening through dynamic cytoskeletal reorganization

Sakura Tomoshige¹, Kousuke Hosoba², Akie Hamamoto³, Shogo Yamato², Tatsuo Miyamoto², Yuki Kobayashi¹, Yumiko Saito¹
¹Graduate School of Integrated Arts and Sciences, Hiroshima University, ²Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, ³Institute of Life Science, Kurume University

2P-06

X-irradiation elicits decrease of drebrin accumulation within dendritic spines via activation of NMDA receptors

Shuchuan Miao, Noriko Koganezawa, Kenji Hanamura, Tomoaki Shirao
Department of Neurobiology and Behavior, Gunma University Graduate School of Medicine

2P-07

H3 receptor antagonist ameliorated allodynia in chronic neuropathic pain model rat

Takuro Matsuzawa¹, Takeo Yoshikawa¹, Tadaho Nakamura^{1,2}, Maria Mogilevska¹, Asuka Mogi¹, Kazuhiko Yanai¹
¹Dept Pharmacol. Tohoku Univ Grad Sch Med, ²Div of Pharmacol. Fac of Med. Tohoku Med and Pharm Univ

2P-08

The involvement of histamine receptors with loss of conscious induced by inhaled anesthetics

Toru Tamii^{1,2}, Tadaho Nakamura^{1,3}, Takeo Yoshikawa¹, Tomomitsu Iida¹, Aniko Karpati¹, Takuro Matsuzawa¹, Haruno Kitano¹, Fumito Naganuma³, Nobuyuki Okamura³, Masanori Yamauchi², Kazuhiko Yanai¹
¹Dept Pharmacol. Grad Sch Med, Tohoku Univ, ²Dept Anesthesiol. Grad Sch Med, Tohoku Univ, ³Div Pharmacol. Facul Med, Tohoku Med Pharm Univ

2P-09

Alteration of GABA release in developing cerebellar cortex of VPA-administrated autistic model rat

Kana Miyamoto¹, Tetsuri Mikami², Yukiko Fueta³, Susumu Ueno³, Yuko Sekino⁴, Yasunari Kanda⁵, Naohiro Hozumi⁶, Sachiko Yoshida²

¹Dept Environ Life Sci, Toyohashi Univ of Tech, Toyohashi, Japan, ²Dept Environ Life Sci, Toyohashi Univ of Tech, Toyohashi, Japan, ³Univ Occupational Environmental Hlth, Kitakyushu, Japan, ⁴University of Tokyo, ⁵Natl Inst Health Sci, Tokyo, Japan, ⁶Dept Electrical-Electronic-Information-Engineering Toyohashi Univ of Tech, Toyohashi, Japan

2P-10

Alteration of neurotransmitter release in cerebellar cortex of Valproate-administrated Autistic model rat

Tetsuri Mikami¹, Yukiko Fueta², Susumu Ueno², Yuko Sekino³, Yasunari Kanda⁴, Naohiro Hozumi⁵, Sachiko Yoshida¹

¹Dept Environ Life Sci, Toyohashi Univ of Tech, Toyohashi, Japan, ²Univ Occupational Environmental Hlth, Kitakyushu, Japan, ³University of Tokyo, ⁴Natl Inst Health Sci, Tokyo, Japan, ⁵Dept Electrical Electronic Information Engineering, Toyohashi Univ of Tech, Toyohashi, Japan

2P-11

Serotonin induced synchronization to both respiratory rhythm and body movement

Ooka Hiroataka, Chiaki Uchida, Akiko Arata

Dept. of Physiol. Hyogo Coll. of Med.

9/8 (Fri) 13:20-14:20 [Room Poster]

シナプス、細胞内・細胞間情報伝達

Chairperson: Yasunori Miyamoto (Lab Mol Cell Biol, Inst Hum Life Innov, Ochanomizu Univ)

2P-12

Neurospine dependent and independent behavioral tag setting.

Yuka Suzuki, Yuya Yoda, Yasuyuki Ishikawa

Dept Systems Life Engineering, Maebashi Institute of Technology

2P-13

Identifying Genetic Markers Associated with Treatment Response to Lurasidone via A Genome-Wide Association Study

Akane Yoshikawa^{1,2}, Jiang Li¹, Herbert Y Meltzer¹

¹Feinberg School of Medicine, Northwestern University, Psychiatry and Behavioral Sciences, ²Bureau of Social Welfare and Public Health, Tokyo Metropolitan Government

2P-14

Alternative splicing of Neurexin plays a crucial role in Neuroligin-induced presynaptic differentiation on cerebellar GABAergic neurons in vitro

Yuji Sato^{1,2}, Satoko Suzuki¹, Yoko Iijima¹, Takatoshi Iijima¹

¹Tokai University, Institute of Innovative Science and Technology, Medical Division, ²Department of Chemistry and Bioresource, Faculty of Engineering, Tokai University

2P-15

Alteration of neuronal circuit with autism-inducing drug administration in developing rat cerebellum

Seita Sato¹, Yukiko Fueta², Susumu Ueno², Yuko Sekino³, Yasunari Kanda⁴, Sachiko Yoshida¹

¹Dept Environ Life Sci, Toyohashi, ²Univ Occupational Environmental Hlth, ³University of Tokyo, ⁴Natl Inst Health Sci, Tokyo, Japan

2P-16

Recovery effects from chemical-induced autistic degeneration with bumetanide or oxytocin in developing rat cerebellum

Koichiro Ikai¹, Sarii Nakajima¹, Tatsuro Tomida¹, Susumu Ueno², Yuko Sekino⁴, Yasunari Kanda³, Sachiko Yoshida¹

¹Dept Environ Life Sci, Toyohashi Univ of Tech, Toyohashi, Japan, ²Univ Occupational Environmental Hlth, Kitakyushu, Japan, ³Natl Inst Health Sci, Tokyo, Japan, ⁴University of Tokyo, Tokyo, Japan

2P-17

Dendritic spine density and morphology of hippocampal neurons in *arcadlin/protocadherin-8* deficient mice

Kaede Yamamoto¹, Yuki Shin¹, Nanano Mizuta¹, Risako Harada¹, Kazuyoshi Kousaka¹, Keiko Tominaga², Hiroko Sugiura³, Shin Yasuda³, Kanato Yamagata³, Hidekazu Tanaka¹

¹Dept Biomed Sci, Grad Sch Life Sci, Ritsumeikan Univ, ²Front. Biosci. Grad Sch, Osaka Univ., ³Synaptic Plasticity Prj. Tokyo Met. Inst. Med. Sci.

2P-18

Regulation of COPI vesicle transport via Scyl1 methylation in the pathogenesis of ER-stress induced neurodegenerative diseases

Genki Amano¹, Shinsuke Matsuzaki², Yasutake Mori³, Hironori Takamura¹, Sarina Han¹, Sho Shikada¹, Hiroki Sato¹, Mai Ito¹, Ko Miyoshi¹, Takeshi Yoshimura¹, Taiichi Katayama¹

¹Molecular Brain Science, United Graduate School of Child Development, Osaka Univ, ²Department of Pharmacology, Wakayama Medical University, ³Department of Anatomy and Neuroscience, Graduate School of Medicine, International University of Health and Welfare

2P-19

TULP3 regulates the formation of primary cilia in hTERT-RPE1 cells

Sarina Han, Ko Miyoshi, Sho Shikada, Genki Amano, Hiroki Sato, Mai Ito, Hironori Takamura, Takeshi Yoshimura, Taiichi Katayama

Dept Child Development & Mol Brain Sci, United Grad Sch Child Development, Osaka Univ

2P-20

Exploring factors interacting with G-protein-coupled receptors at the primary cilium

Sho Shikada, Ko Miyoshi, Takeshi Yoshimura, Sarina Han, Genki Amano, Hiroki Sato, Mai Ito, Hironori Takamura, Taiichi Katayama

Dept Child Development & Mol Brain Sci, United Grad Sch Child Development, Osaka Univ

2P-21

Fibronectin on extracellular vesicles mediates their uptake into oligodendrocyte precursor cells

Sho Osawa^{1,2}, Masashi Kurachi², Hanako Yamamoto², Yasuki Ishizaki²

¹Department of Neurosurgery, Gunma University Graduate School of Medicine, ²Department of Molecular and Cellular Neurobiology, Gunma University Graduate School of Medicine

2P-22

Resveratrol suppresses brain tumor cell growth through the AMPK-mTOR signaling.

Ayana Kawase, Hiroyuki Nawa, Nobuyuki Takei

Dept Molecular Neurobiology, Brain Research Institute, Niigata Univ.

2P-23

Expression of Non-clustered δ -2 Protocadherins in the Central Nervous System

Riku Itsugu¹, Natsumi Yamaguchi¹, Hironobu Takaya¹, Kazuyoshi Kousaka¹, Hiroko Sugiura², Shin Yasuda², Kanato Yamagata², Hidekazu Tanaka¹

¹Dept Bio Med Sci, Grad Sch Life Sci, Ritsumeikan Univ, ²Synaptic Plasticity Prj. Tokyo Met. Inst. Med Sci

9/8 (Fri) 13:20-14:20 [Room Poster]

回路網形成、神経系の発生・再生

Chairperson: Hidekazu Tanaka (Lab Pharmacol, Dept Biomed Sci, College Life Sci, Ritsumeikan Univ)

2P-24

Growth cones in 3D culture have different structural dynamics from those in 2D culture

Ryota Negishi^{1,2}, Shigo Koinuma¹, Naoyuki Wada², Yuichi Sakumura³, Takeshi Nakamura¹

¹Research Institute for Biomedical Sciences, Tokyo University of Science, ²Department of Applied Biological Science, Tokyo University of Science, ³Graduate School of Biological Sciences, Nara Institute of Science and Technology

2P-25

Cdk5 regulation of the GRAB-mediated Rab11-Rab8 cascade in axon outgrowth

Kotaro Furusawa¹, Akiko Asada¹, Pamela Urrutia³, Christian Gonzalez-Billault³, Mitsunori Fukuda², Shin-ichi Hisanaga¹

¹Dept Biol Sci, Grad Sch Science Tokyo Metropolitan Univ, ²Dept Dev Biol and Neurosci, Grad Sch Life Sci, Tohoku Univ, ³Dept Biol, Univ of Chile

2P-26

Bisphenol A attenuates neuronal differentiation in cerebral cortical neurons.

Kumi Mastuura¹, Ryosuke Yamazoe¹, Hiroki Maruoka¹, Koji Shimoke²

¹Grad Sch Sci.&Tech., Kansai Univ, ²Dept Chem. Mat.&Biol., Kansai Univ

2P-27

Munc18-1 plays an essential role for cortical neuron migration during brain development

Nanako Hamada^{1,2}, Hidenori Tabata¹, Koh-ichi Nagata¹

¹Dept of Mol Neurobiol, Inst for Developmental Res, Aichi Human Service Cent, ²Res Fellow of Japan Society for the Promotion of Sci

2P-28

A positive charge cluster of EC domain in LOTUS is involved in the molecular interaction with PirB

Hirokazu Takaya^{1,2}, Yuji Kurihara¹, Yutaka Kawakami¹, Yasuyuki Kurihara², Kohtaro Takei¹

¹Molecular Medical Bioscience Laboratory, Graduate School of Medical Life Science, Yokohama City University, Japan, ²Laboratory of Molecular Biology, Graduate School of Engineering, Yokohama National University, Japan

2P-29

Promotion of nerve regeneration and functional recovery after spinal cord injury by an endogenous Nogo receptor antagonist, LOTUS

Tomoko Hirokawa, Yuji Kurihara, Kohtaro Takei

Mol. Med. Biosci. Lab., Grad. Sch. of Med. Life Sci., Yokohama City Univ.

2P-30

Analyses of *Cyclin D2* mRNA transportation in the cortical development using CRISPR/Cas9 genome editing system

Takako Kikkawa¹, Yukiko U. Inoue², Takayoshi Inoue², Noriko Osumi¹

¹Dept Dev Neurosci, Grad Sch Med, Tohoku Univ, ²Dept Biochem and Cell Biol, NCNP

2P-31

Analysis of δ -catenin as a downstream gene of *Pax6* in early development of the mammalian telencephalon

SeungHee Chun, Takako Kikkawa, Noriko Osumi

Dept Dev Neurosci, Grad Sch Med, Tohoku Univ

2P-32

Mood stabilizing drugs activate adult neural cell-neurogenesis system

Keita Nakaji, Natsu Koyama, Hiroaki Kitagawa, Takahiro Fuchigami, Seiji Hitoshi

Dept Physiology, Shiga Univ of Medical Science

2P-33

The role of $\alpha\beta 5$ integrin in axon specification of cerebellar granule cell precursors.

Ayaka Abe^{1,2}, Ayumi Akiyama^{1,2}, Kei Hashimoto^{1,2,3}, Yokichi Hayashi⁴, Yasunori Miyamoto^{1,2}

¹Division of Life Sciences, Graduate School of Humanities and Sciences, Ochanomizu University, ²Institute for Human Life Innovation, ³Research Fellow of Japan Society for the Promotion of Science, ⁴Div. of Life Sci., Asahikawa Medical Univ.

2P-34

Fyn promotes detachment of chain-forming new neurons by controlling N-cadherin-mediated adherens junction in the postnatal brain

Yayoi Seto¹, Kazuma Fujikake^{1,2}, Masato Sawada¹, Takao Hikita¹, Naoko Kaneko¹, Kazuya Sobue², Kazunobu Sawamoto^{1,3}

¹Dept Dev Regen Biol, Nagoya City Univ Grad Sch Med Sci, Nagoya, Japan, ²Dept Anesth Intensive Care Med, Nagoya City Univ Grad Sch Med Sci, Nagoya, Japan, ³Div Neural Dev Regen, NIPS, Okazaki, Japan

2P-35

Involvement of aerobic metabolism in direct reprogramming of mouse fibroblasts to neurons.

Yuka Akagi, Yukihiro Harada, Tomoe Ueyama, Dai Ihara, Sae Nakagawa, Takahiro Sogo, Shu Nakao, Teruhisa Kawamura
Dept Biomedical Sci. Grad Sch Life Sci, Ritsumeikan Univ

2P-36

Nesfatin 1-like-peptide and Neuronal cell death

Noriko Marutani, Daisuke Kanayama, Akio Hukumori, Takashi Kudou
Department of Mental Health Promotion, Osaka University Graduate School of Medicine

9/8 (Fri) 13:20-14:20 [Room Poster]

グリア、ミエリン、神経免疫、その他

Chairperson: Makoto Tsuda (Dept Life Innov, Grad Sch Pharm Sci, Kyushu Univ)

2P-37

Increased connection between mitochondria and endoplasmic reticulum in demyelinated axons

Quynh Truc Thai^{1,2}, Bang Huy Nguyen^{1,2}, Yang Sui^{1,2}, Kazuhiro Ikenaka², Nobuhiko Ohno^{1,2,3}

¹Department of Anatomy and Molecular Histology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi, Chuo-city, Yamanashi 409-3898, Japan., ²Division of Neurobiology and Bioinformatics, National Institute for Physiological Sciences (NIPS), Aichi, Japan., ³Center for Multidisciplinary Brain Research, National Institute for Physiological Sciences, Okazaki, Aichi 444-8787, Japan.

2P-38

Exploring factors causing remyelination arrest by studying Cystatin F gene regulatory mechanism

Jiayi Li¹, Wilaiwan Wisessmith¹, Takahiro Shimizu¹, Kenji F Tanaka^{1,3}, Kazuo Kunisawa¹, Takeshi Shimizu¹, Kazuhiro Ikenaka^{1,2}

¹Division of Neurobiology and Bioinformatics, National Institute for Physiological Sciences, ²Graduate University for Advanced Studies, ³Department of Neuropsychiatry, Keio University School of Medicine

2P-39

Alterations of synaptic terminals in the cerebellum under chronic demyelination

Bang Huy Nguyen^{1,2}, Yang Sui^{1,2}, Quynh Truc Thai^{1,2}, Masahiko Watanabe³, Kazuhiro Ikenaka¹, Nobuhiko Ohno¹

¹Division of Neurobiology and Bioinformatics, National Institute for Physiological Sciences., ²Department of Anatomy and Structure Biology, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi., ³Department of Anatomy, Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan

2P-40

Unconventional myosin ID has an important role in oligodendrocyte during remyelination

Reiji Yamazaki, Yoshihide Yamaguchi, Tomoko Ishibashi, Hiroko Baba
Dept Mol Neurobiol. Sch Pharm Sci, Tokyo Univ of Pharm and Life

2P-41

Migration and differentiation of V-SVZ-derived oligodendrocyte progenitors in the injured cortex

Mayaka Hashimoto¹, Naoko Kaneko¹, Seiya Yamamoto¹, Takuya Miyamoto¹, Hirohide Takebayashi², Kazuhiro Ikenaka³, Kazunobu Sawamoto^{1,4}

¹Dept Dev & Regen Biol. Grad Sch Med Sci, Nagoya City Univ, ²Div Neurobiol & Anat. Grad Sch Med & Dent Sci, Niigata Univ, ³Div Neurobiol & Bioinformat. National Inst Physiol Sci, ⁴Div Neural Dev & Regen. National Inst Physiol Sci

2P-42

The effect of carba-derivative of cyclic phosphatidic acid on the repair of a stab-wounded cerebral cortex

Mari Nakashima^{1,3}, Ayana Hamano^{1,3}, Kei Hashimoto^{1,3,4}, Hiroko Ikeshima-Kataoka^{5,6}, Mari Gotoh^{2,3}, Kimiko Murofushi², Yasunori Miyamoto^{1,3}

¹Division of Life Sciences, Graduate School of Humanities and Sciences, Ochanomizu University., ²Reserch Division of Human Welfare Science, Ochanomizu University., ³Institute for Human Life Innovation, Ochanomizu University., ⁴Research Fellow of Japan Society for the Promotion of Science., ⁵Faculty of Science and Engineering, Waseda University., ⁶Department of Pharmacology and Neuroscience, Keio University School of Medicine.

2P-43**Medium chain fatty acid attenuates lipopolysaccharide-induced NO production in cultured microglia**

Yasunori Nishimura, Mitsuaki Moriyama, Katsura Takano, Yoichi Nakamura
Lab. Integrative Physiology, Vet. Sci., Osaka Pref. Univ.

2P-44**Effects of FGF2 on extracellular accumulation of adenosine by Ca^{2+} reduction in rat spinal astrocytes**

Ryota Eguchi, Soichiro Yamaguchi, Ken-ichi Otsuguro
Lab Pharmacol. Facult Vet Med, Hokkaido Univ

2P-45**Analysis of neurotrophic factors in CNS-derived exosomes from plasma of patients with mood disorders.**

Shoshin Akamine¹, Akio Fukumori¹, Fumihiko Yasuno², Takashi Kudo¹
¹Department of Mental Health Promotion, Osaka University Graduate School of Medicine, ²Department of Psychiatry, Nara Medical University

2P-46**Inhibition of EGF receptor kinase activity by antipsychotic compounds**

Yutaro Kobayashi, Yuriko Iwakura, Hiroyuki Nawa
Department of Molecular Neurobiology, Brain Research institute, Niigata University

2P-47**Amyloid β fibril formation on the reconstituted lipid bilayer and inhibitory effect of a GM1-cluster binding peptide**

Mako Nakai, Masaya Nishihara, Teruhiko Matsubara, Toshinori Sato
Faculty of Sci. and Tech., Keio University

2P-48**A preliminary report of NAD precursors on social behaviors in mice**

Maria Nikolaevna Gerasimenko^{1,2}, Stanislav Cherepanov², Anna Shabalova^{1,2}, Shigeru Yokoyama², Haruhiro Higashida²
¹United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui, ²Center for Child Mental Development, Kanazawa University

2P-49**Amyloid Fibril Formation Mechanisms of α Syn in *Caenorhabditis elegans***

Cesar Aguirre¹, Kensuke Ikenaka², Masatomo So¹, Keiichi Yamaguchi¹, Hideki Mochizuki², Yuji Goto¹
¹Institute for Protein Research, Osaka University, ²Graduate School of Medicine, Osaka University

9/8 (Fri) 13:20-14:20 [Room Poster]

神経ネットワーク、神経画像、その他

Chairperson: Takahiro Tsuji (Dept Ophthal & Micro-tech, Grad Sch Med, Yokohama City Univ)

2P-50**Folate deficiency-induced depression-like behavior, DNA hypomethylation and abnormal neuronal maturation in mice.**

Shoji Nishida¹, Yuko Takanaka¹, Ikuyo Harada¹, Ryo Takemura¹, Sota Asari¹, Shin Tachibana¹, Misato Tsuboi², Yoshitaka Nakamura², Ryota Araki¹, Takeshi Yabe¹
¹Lab. Funct. Biomol. Chem. Pharmacol., Fac. Pharmaceut. Sci., Setsunan Univ., ²Food Sci. Res. Lab. R & D Div. Meiji Co., Ltd.

2P-51**Metabolic factors affect cognitive functions and measures of blood oxygen level dependent signals in healthy elderly.**

Masago Kasagi¹, Tomokazu Motegi¹, Yusuke Suzuki¹, Koichi Ujita², Hirotaka Shimada², Kosuke Narita¹, Masato Fukuda¹
¹Department of Psychiatry and Neuroscience, Gunma University Graduate School of Medicine, ²Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine, Gunma University Graduate School of Medicine

2P-52**Differentiated antidepressant-like profile of ketamine enantiomers in mouse models of depression**

Momoko Higuchi¹, Yukio Ago¹, Wataru Tanabe¹, Kaoru Seiriki^{1,2}, Hisato Igarashi¹, Atsushi Kasai¹, Kenji Hashimoto³, Hitoshi Hashimoto^{1,4,5}

¹Lab. Mol. Neuropharmacol., Grad. Sch. Pharmaceut. Sci., Osaka Univ., ²Inst. Acad. Initiat., Osaka Univ., ³Div. Clin. Neurosci., Chiba Univ. Ctr. Forensic Mental Hlth, ⁴United Grad. Sch. Child Dev., Osaka Univ., ⁵Inst. Datability Sci., Osaka Univ

2P-53**Role of LOTUS, a neural circuit formation factor in memory function**

Ryohei Nishida, Yui Norisue, Arisa Kawashima, Tomoko Hirokawa, Yuji Kurihara, Kohtaro Takei

Molecular Medical Bioscience Laboratory, Yokohama City University Graduate School of Medical Life Science, Yokohama, Japan

2P-54**Aggression to intruders in nurturing male mice.**

Anna Andreevna Shabalova^{1,2}, Zhong Jin², Liang Mingkum², Chiharu Tsuji², Shigeru Yokoyama², Haruhiro Higashida²

¹United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University and University of Fukui, ²Center of Child Mental Development, Kanazawa University

2P-55**Pathophysiological role of TRPM2 in a mouse model of chronic cerebral hypoperfusion**

Jun Miyanohara, Masashi Kakae, Kazuki Nagayasu, Hisashi Shirakawa, Shuji Kaneko

Dept Mol Pharmacol. Grad Sch Pharm Sci, Kyoto Univ

2P-56**In vivo regulation of glycogen synthase kinase 3 β activity in neurons and brains.**

Ambika Krishnankutty¹, Taeko Kimura¹, Taro Saito¹, Kyota Aoyagi², Akiko Asada¹, Shin-Ichiro Takahashi³, Kanae Ando¹, Mica Imaizumi², Koichi Ishiguro⁴, Shin-ichi Hisanaga¹

¹Department of Biological Sciences, Tokyo Metropolitan University, ²Department of Biochemistry, Kyorin University School of Medicine, ³Department of Animal Sciences, Graduate School of Agriculture and Life Sciences, The University of Tokyo, ⁴Department of Neurology, Graduate School of Medicine, Juntendo University

2P-57**Glx level predicts the magnitude of gray matter microstructural organization in the elderlies.**

Tomokazu Motegi¹, Kosuke Narita¹, Kazuyuki Fujihara¹, Masato Kasagi¹, Yusuke Suzuki¹, Koichi Ujita², Jamie Near³, Masato Fukuda¹

¹Department of Psychiatry and Neuroscience, Gunma University Graduate School of Medicine, ²Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine, Gunma University Graduate School of Medicine, ³Douglas Mental Health University Institute and Department of Psychiatry, McGill University

2P-58**Structural abnormality associated with cognitive dysfunction in eating disorder**

Yusuke Suzuki¹, Masato Kasagi¹, Tomokazu Motegi¹, Kazuyuki Fujihara¹, Kouichi Uzita², Kousuke Narita¹, Masato Fukuda¹

¹Department of Psychiatry and Neuroscience, Gunma University Graduate School, ²Department of Diagnostic Radiology and Nuclear Medicine, Gunma University Graduate School

2P-59**Activation of AMP-activated protein kinase induces anti-depressant like effect in olfactory bulbectomized mice**

Takayo Odaira, Osamu Nakagawasai, Wataru Nemoto, Kohei Takahashi, Wakana Sakuma, Ryotaro Ono, Koichi Tan-No

Dept. Pharmacol., Fac. Pharm. Sci., Tohoku Med. Pharm. Univ.

2P-60**Pendred syndrome patient specific iPSCs derived cochlea cells form intracellular PENDRIN aggregation**

Tsubasa Saeki¹, Makoto Hosoya², Masato Fujioka², Kaoru Ogawa², Tatsuo Matsunaga^{3,4}, Hideyuki Okano¹

¹Department of Physiology, Keio University School of Medicine, ²Department of Otorhinolaryngology, Head and Neck Surgery, Keio University School of Medicine, ³The Laboratory of Auditory Disorders and Division of Hearing and Balance Research, National Institute of Sensory Organs, National Tokyo Medical Center, ⁴Medical Genetics Center, National Tokyo Medical Center

2P-61**A novel model: Optical stimulation causes axonal degeneration mediated by axoplasmic calcium**

Yang Sui^{1,2}, Huy Bang Nguyen^{1,2}, Truc Quynh Thai^{1,2}, Kazuhiro Ikenaka¹, Nobuhiko Ohno¹

¹Division of Neurobiology and Bioinformatics, National Institute for Physiological Sciences., ²Department of Anatomy and Structural Biology, University of Yamanashi

2P-62**Molecular mechanisms of neuronal aggregation caused by Reelin in the developing mouse neocortex**

Seika Inoue, Kanehiro Hayashi, Ken-ichiro Kubo, Kazunori Nakajima

Department of Anatomy, Keio University School of Medicine

2P-63**Iron treatment inhibits amyloid deposition in APP transgenic mice**

Xuefeng Shen, Junjun Liu, Shuyu Liu, Yu Fujita, Toshiki Obara, Arisa Takebe, Mai Shimodate, Kirari Tiba, Hiroto Komano, Kun Zou

Dept of Neurosci, Sch of Pharm, Iwate Med Univ

9/8 (Fri) 13:20-14:20 [Room Poster]

ISN-APSN-JSN Advanced School

Chairperson: Chian Ming Low (National Univ Singapore)

2P-64**The roles of sphingosine 1-phosphate signaling in blood brain barrier integrity**

Ping Xiang

Department of Pharmacology, Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore

2P-65**Dihydromyricetin protects neurons in an MPTP-induced model of Parkinson's disease and cerebral ischemia/reperfusion injury**

Zhaoxiang Ren

College of Pharmaceutical Sciences, Soochow University

2P-66**IFITM3 regulates polyI:C-induced neurite impairment through RabGDI**

Norimichi Itoh

Nagoya University Graduate School of Medicine/Hospital Pharmacy and Neuropsychopharmacology

2P-67**Phosphorylation CaMKII and ERK may mediate nicotine dependence in mice**

Gofarana Wilar^{1,2}, Yasuharu Shinoda¹, Kohji Fukunaga¹

¹Dept Pharmacol. Grad Sch Pharm Sci, Tohoku Univ, ²Faculty of Pharmacy, Padjadjaran University, Bandung, Indonesia

2P-68**Phosphorylation of tau from Marmoset used as a Non-human Primate model of tauopathy.**

Govinda Sharma¹, Taeko Kimura¹, Shiozawa Seiji², Reona Kobayashi², Taro Saito¹, Kanae Ando¹, Hideyuki Okano², Shin-ichi Hisanaga¹

¹Dept Biological sciences, Tokyo Metropolitan University, ²Department of Physiology, Keio University School of Medicine

2P-69**New analogs of oxytocin. In vitro activity, specificity and effects on parental behaviour.**

Stanislav Cherepanov¹, Anna Shabalova¹, Wataru Ichinose², Satoshi Shuto², Shigeru Yokoyama¹, Haruhiro Higashida¹

¹Research Center for Child Mental Development, Kanazawa University, ²Faculty of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University

2P-70**The developmental neurotoxicity of arsenic: cholinergic, dopaminergic dysfunctions with cognitive, behavioral consequences of perinatal exposure**

Lalit Chandravanshi

Institute of Science, Department of Zoology, Banaras Hindu University

2P-71**Stearic acid based, oral lipidic nanoparticles of dimethyl fumarate and quercetin for the management of relapsing multiple sclerosis: enhanced pharmacokinetics and pharmacodynamic profile**

Pramod Kumar

Department of Pharmacy, School of Chemical Sciences and Pharmacy, Central University of Rajasthan

2P-72**Potential effects and molecular mechanisms of melatonin on the dopaminergic neural differentiation of human amniotic fluid mesenchymal stem cells**

Ruchee Phonchai

Research Center for Neuroscience, Institute of Molecular Biosciences, Mahidol University

2P-73**nArgBP2 regulates excitatory synapse formation by controlling dendritic spine morphology**

Sang-Eun Lee

College of Medicine / Biomedical Sciences, Seoul National University

2P-74**Stat3 Promotes Mitochondrial Metabolism during Neurogenesis**

Yixun Su

Neurobiology and Aging Program, Life Science Institute, National University of Singapore, Centre for Life Sciences

2P-75**Prefrontal cortex mediated executive impairment in ADHD may be contributed by functional DRD4 and DAT variants**

Subhamita Maitra

Biomedical Research & Diagnostic Division, Manovikas Kendra

2P-76**Ginkgo biloba extract provide protection against sleep deprivation induced cognitive deficit.**

Vishal Jain

Defence Institute of Physiology and Allied Sciences

2LC1

9/8 (Fri) 12:20-13:20 [Room B]

ランチョンセミナー3: 進行期パーキンソン病治療の新たな展開～レボドパ持続投与法の可能性～

座長：荒井 啓行（東北大学 加齢医学研究所 老年医学分野）

演者：武田 篤（仙台西多賀病院）

共催：アッヴィ合同会社

2LC2

9/8 (Fri) 12:20-13:20 [Room C]

ランチョンセミナー4: 認知症を防ぐ～新しい食品エビデンスと展望～

座長：内田 博之（城西大学薬学部医療栄養学科 准教授）

演者：森田 匡彦（協和発酵バイオ株式会社 研究員）

福永 浩司（東北大学大学院薬学研究科薬理学分野 教授）

共催：協和発酵バイオ株式会社

Symposia

3S1

9/9 (Sat) 9:00-11:30 [Room A]

Cutting-edge Genome Editing Technology and Next Generation Disease Model Animals

最先端のゲノム編集技術と次世代疾患モデル動物研究

Chairperson: Seiji Hitoshi (Department of Physiology, Shiga University of Medical Science)

3S1-1

Genetically-Modified Cynomolgus Monkeys for Human Disease Modeling

Masatsugu Ema¹, Tomoyuki Tsukiyama¹, Kenichi Kobayashi², Koji Fukuda³, Teppei Iwakiri³, Hiroyuki Izumi³, Akihiro Kawauchi², Seiji Hitoshi⁴, Erika Sasaki⁵, Yasunari Seita¹

¹Department of Stem Cells and Human Disease Models Research Center for Animal Life Science Shiga University of Medical Science, ²Department of Urology, Shiga University of Medical Science, ³Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd, ⁴Department of Physiology, Shiga University of Medical Science, ⁵Central Institute for Experimental Animals

3S1-2

CRISPR-mediated genome editing in animals

Tomoji Mashimo^{1,2}

¹Inst Exp Anim Sci, Grad Sch Med, Osaka Univ, ²GERDC, Grad Sch Med, Osaka Univ

3S1-3

Deciphering the mechanisms of development and diseases of the gyrencephalic brain using carnivore ferrets

Hiroshi Kawasaki

Dept Med Neurosci, Grad Sch Med, Kanazawa Univ

3S1-4

Modeling Human Psychiatric/Neurological Disorders using Transgenic technology in Non-human Primates

Hideyuki Okano

Department of Physiology, Keio University School of Medicine

3S1-5

Opportunities and challenges in animal model innovation in CRISPR-era

Tomomi Aida^{1, 2, 3, 4}

¹McGovern Institute for Brain Research, Massachusetts Institute of Technology, ²Stanley Center for Psychiatric Research, Broad Institute of MIT and Harvard, ³Lab Mol Neurosci, MRI, TMDU, ⁴Lab Recombinant Animals, MRI, TMDU

3S2

9/9 (Sat) 9:00-11:00 [Room B]

Glial dysfunction and intractable epilepsy - from basic to clinical studies -

グリア細胞の機能異常と難治性てんかん ー基礎から臨床までー

Chairperson: Shuichi Koizumi (Dept Neuroparmacol, Interdisciplinary Grad Sch Med, Univ Yamanashi)

3S2-1

Glia, DC shifts/red slow, and epilepsy

Akio Ikeda

Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology, Kyoto University Graduate School of Medicine

3S2-2

Role of astrocytic Kir4.1 channels in modulating epileptogenesis

Yukihiro Ohno

Lab Pharmacol, Osaka Univ Pharm Sci

3S2-3**Alterations of glial cells in epileptogenic regions of the brain: a pathophysiological study**

Akiyoshi Kakita, Hiroki Kitaura
Dept Pathology, Brain Res Inst, Niigata Univ

3S2-4**Epileptogenic astrocytes**

Schuiichi Koizumi
Dept Neuropharmacol, Interdisciplinary Grad Sch Med, Univ Yamanashi

3S3

9/9 (Sat) 9:00-11:00 [Room C]

The discovery of pathological mechanisms in inherited neurodegenerative diseases**遺伝性神経疾患における病態解明の最前線～基礎から臨床へ～**

Chairpersons: Norifumi Shioda (Depart Biofunctional Analysis Lab Mol Biol, Gifu Pharm Univ)
 Eiji Nanba (Divi Funct Genomics, Center Bioscience Technol, Tottori Univ)

3S3-1**Clinical application of gene therapy for genetic neurological diseases, present and future**

Takanori Yamagata
Department of Pediatrics, Jichi Medical University

3S3-2**The diagnosis and therapy of Fragile X syndrome and its related disorders.**

Eiji Nanba
Divi Funct Genomics, Center Bioscience Technol, Tottori Univ

3S3-3**Elucidation of the pathology in inherited neurodegenerative diseases targeting G-quadruplex.**

Norifumi Shioda
Depart Biofunctional Analysis Lab Mol Biol, Gifu Pharm Univ

3S3-4**Exosome-mediated transcellular transmission of molecular chaperones contributes to non-cell autonomous therapeutic effects on polyglutamine diseases**

Yoshitaka Nagai^{1,2}
¹Dept Neurotherapeutics, Osaka Univ Grad Sch Med, ²Dept Degener Neurol Dis, NCNP

3S4

9/9 (Sat) 9:00-11:00 [Room D]

Glia-neuron maturation and psychoneurologic diseases**グリアと神経の成熟と精神・神経疾患**

Chairpersons: Shingo Miyata (Div. of Mol. Brain Sci., Res. Ins. of Trad. Asian Med., Kindai Univ.)
 Tsuyoshi Hattori (Dept Neuroanat, Grad Sch of Med Sci, Kanazawa Univ)

3S4-1**Depression and 5HT3 receptor**

Makoto Kondo
Dept Neurosci and Cell Biol, Grad Sch Med, Osaka Univ

3S4-2**The role of CD38, an Autism-associated molecule, for glial development and demyelination**

Tsuyoshi Hattori¹, Minoru Kaji¹, Roboon Jureeporn¹, Hiroshi Ishii¹, Mika Takarada-Iemata¹, Thounh Manh Le¹,
 Hiroshi Okamoto^{3,4}, Yasuhiko Yamamoto³, Haruhiro Higashida², Osamu Hori¹

¹Dept Neuroanat, Grad Sch of Med Sci, Kanazawa Univ, ²Res. Cent. Child Mental Dev, Kanazawa Univ, ³Biochem and Mol Vascular Bio, Grad Sch of Med Sci, Kanazawa Univ, ⁴Dept Biochem, Grad Sch Med, Tohoku Univ

3S4-3**Microglia contribute to dendritic spine formation in postnatal mice somatosensory cortex**Akiko Miyamoto¹, Hiroaki Wake¹, Ayako Ishikawa^{2,3}, Hideji Murakoshi⁴, Kei Eto^{3,5}, Yumiko Yoshimura^{2,3}, Junichi Nabekura^{3,5}¹Dept System Neurosci, Grad Sch Med, Kobe Univ, ²Div Visual Information, Natl Inst Physiol Sci., ³Dept Physiol, Sch Life Sci, SOKENDAI, ⁴Supportive Center for Brain Research, Natl Inst Physiol Sci., ⁵Div Homeostatic Develop, Natl Inst Physiol Sci.**3S4-4****VCAM1 regulates oligodendrocyte myelination**Junji Yamauchi^{1,2}, Yuki Miyamoto^{1,2}¹School of Life Sciences, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences, ²Department of Pharmacology, NICHD**3S4-5****Molecular mechanisms of the onset of neuropsychiatric disorders by the changes in glial functions**Shingo Miyata¹, Shoko Shimizu¹, Yugo Ishino¹, Masaya Tohyama^{1,2}¹Div. of Mol. Brain Sci., Res. Ins. of Trad. Asian Med., Kindai Univ., ²Osaka Pref. Hosp. Org.**3S5**

9/9 (Sat) 13:10-15:10 [Room B]

Membrane trafficking and neurodegenerative diseases**メンブレントラフィックと神経変性疾患**

Chairpersons: Takafumi Hasegawa (Dept Neurol. Grad Sch Med, Tohoku Univ)

Mitsunori Fukuda (Lab Membrane Trafficking Mechanisms, Dept Dev Biol Neurosci)

3S5-1**Elucidating pathogenesis of congenital myopathy caused by defective membrane remodeling and lipid homeostasis**

Tetsuya Takeda, Kenshiro Fujise, Kaho Seyama, Yasuka Yamashita, Hiroshi Yamada, Kohji Takei

Grad Sch Med Dent Pharma Sci, Okayama Univ

3S5-2**Molecular mechanisms of Parkinson's disease: implication of membrane trafficking**

Takafumi Hasegawa

Dept Neurol. Grad Sch Med, Tohoku Univ

3S5-3**Prion propagation through sortilin degradation**

Suehiro Sakaguchi, Keiji Uchiyama

Div Mol Neurobiol. Ins Enz Res, Tokushima Univ

3S5-4**Age-related endocytic dysfunction is involved in Alzheimer's disease pathology.**

Nobuyuki Kimura

Dept Alzheimer Dis Res, NCGG

3S6

9/9 (Sat) 13:10-15:10 [Room C]

Perspectives in PTSD research -6 years after the Great East Japan Earthquake-**PTSD 研究の現状と展望 ～東日本大震災から6年～**

Chairpersons: Hiroaki Tomita (Dept Disaster Psychiat, IRIDeS, Tohoku Univ)

Satoshi KIDA (Dept. of Bioscience, Tokyo Univ. of Agriculture / CREST, JS)

3S6-1**Posttraumatic stress reactions among communities affected by the Great East Japan Earthquake and investigations into the pathogenesises of PTSD**

Hiroaki Tomita

*Dept Disaster Psychiat, IRIDeS, Tohoku Univ***3S6-2****Fear memory processes as therapeutic targets for the treatment of PTSD**Satoshi Kida^{1,2}¹*Dept. of Bioscience, Tokyo Univ. of Agriculture, ²CREST, JST***3S6-3****A multifaceted approach to understanding the pathogenesis of PTSD: from genes, biomarkers to phenotypes**

Hiroaki Hori

*Department of Adult Mental Health, National Institute of Mental Health, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan.***3S6-4****Epigenetic studies of PTSD; development of epigenetic therapy and epigenetic biomarker**

Shigeru Morinobu

*Department of Occupational Therapy, School of Health Science and Social Welfare, Kibi International University***3S7**

9/9 (Sat) 13:10-14:10 [Room D]

連合大会・多分野交流委員会企画

Chairperson: Hiroshi Kiyama (Dept Funct Anat Neurosci, Grad Sch Med, Nagoya Univ)

3S7-1**Novel chemical-biological technologies for elucidating physiological roles of neurotransmitter receptors**

Shigeki Kiyonaka

Dept Synth Chem & Biol Chem, Grad Sch Eng, Kyoto Univ

Roles of dopaminergic neurotransmission in mental disorders**精神疾患におけるドーパミン神経伝達の役割**

Chairpersons: Ichiro Sora (Dept Biol Psychiatry, Grad Sch Med, Tohoku Univ / Dept Psychiatry, Grad Sch Med, Kobe Univ)

Kohji Fukunaga (Dept Pharmacol, Grad Sch Pharm Sci, Tohoku Univ)

3S8-1**Roles of developing processes of dopaminergic neurons in neuropsychiatric disorders**

Shuken Boku

Dept Psychiatry, Grad Sch Med Kobe Univ

3S8-2**Analysis of dopamine transporter knockout mice as an animal model of psychiatric disorders**

Yoshiyuki Kasahara^{1,2}, Yumiko Kubo¹, Yosefu Arime^{1,3}, Ichiro Sora^{1,4}

¹Dept Biol Psychiatry, Grad Sch Med, Tohoku Univ, ²Adv Interdisciplinary Biomed Engineering, Grad Sch Med, Tohoku Univ, ³Dept Biol Psychiatry Neurosci, Sch Med, Dokkyo Med Univ, ⁴Dept Psychiatry, Grad Sch Med, Kobe Univ

3S8-3**Discovery of a novel intracellular dopamine D2 receptor function**

Kohji Fukunaga¹, Norifumi Shioda²

¹Dept Pharmacol, Grad Sch Pharm Sci, Tohoku Univ, ²Dept Mol Biol, Gifu Pharm Univ

3S8-4**Transcriptome profiling of dopamine-deficient mouse brain**

Shinya Kasai¹, Yoko Hagino¹, Masayo Fujita¹, Kazuto Kobayashi², Kazutaka Ikeda¹

¹Addict Substance Proj, Tokyo Metro Inst Med Sci, ²Dept Mol Genet, Inst Biomed Sci, Fukushima Med Univ

3S9 【一般公開】

9/9 (Sat) 13:10-15:10 [Room A]

Understanding of Alzheimer's disease and development of the disease model for drug discovery**アルツハイマー病のクスリ創りー病気の理解と病態モデルー**

Organizers: Tomoaki Shirao (Department of Neurobiology and Behavior, Gunma University Graduate School of Medicine)

Yuko Sekino (Laboratory of Chemical Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo)

Development of drugs for Alzheimer's disease is one of urgent issues in the aging society. To develop drugs for central nervous system disorders such as Alzheimer's disease, it is required to evaluate drug effects on synaptic function which governs learning and memory. In addition, development of a good model to predict side effects of developing drugs in the early state of drug discovery is demanded. Although a few good models have been developed, usage of human induced pluripotent stem cells has also a high potential for becoming a good model. In this symposium, Drs. Mikio Shoji and Takaomi C. Saido will discuss current situation of Alzheimer's disease and its drugs in clinical practice, and development of model mice or neurons of Alzheimer's disease. Furthermore, Dr. Tomoaki Shirao will introduce our recent project entitled "An *in vitro* pharmacological assessment of brain function for drug discovery and the development of the standardized human neurons".

301

9/9 (Sat) 9:00-10:00 [Room E]

神経ネットワーク

Chairpersons: Shigetaka Yoshida (Department of Functional Anatomy and Neuroscience, Asahikawa Medical University)
Kazunori Nakajima (Dept Anat, Keio Univ Sch of Med)

301-1

FABP3 deficiency causes impaired fear extinction as PTSD-like behaviors.

Yasushi Yabuki¹, Ibuki Takahata¹, Yuji Owada², Kohji Fukunaga¹

¹Dept Pharmacol, Grad Sch Pharm Sci, Tohoku Univ, ²Dept Organ Anatomy, Grad Sch Med, Tohoku Univ

301-2

Neuropeptide participate in social memory

Hitomi Nakazawa¹, Yuka Suzuki², Yasuyuki Ishikawa², Sadao Shiosaka³, Shigetaka Yoshida¹

¹Department of Functional Anatomy and Neuroscience, Asahikawa Medical University, ²Department of Systems Life Engineering, Maebashi Institute of Technology, ³Faculty of Health Science, Osaka Yukioka College of Health Science

301-3

Investigation of cytological architectures in the brains of newly established mouse models with cognitive impairments

Ken-ichiro Kubo¹, Kimiko Deguchi^{1,2}, Kazuhiro Ishii¹, Ken Inoue², Kazunori Nakajima¹

¹Dept Anat, Keio Univ Sch of Med, ²Dept MR & BD Res, NIN, NCNP

301-4

Effects of lateral olfactory tract stimulation on brain Fos immunoreactivity in vasopressin neurons of the rat piriform cortex

Chihiro Tsuji, Takahiro Tsuji, Andrew Allchorne, Gareth Leng, Ludwig Mike

Centre for Integrative Physiology, University of Edinburgh

302

9/9 (Sat) 10:10-11:40 [Room E]

グリア、ミエリン、ストレス

Chairpersons: Naoko Kaneko (Dept Dev Regenerative Biol, Grad Sch Med Sci, Nagoya City Univ)
Kazunori Imaizumi (Dept Biochem, Inst Biomed & Health Sci, Hiroshima Univ)

302-1

Immune-related Factors Influenced Postnatal Synapse Remodeling in the Primate Cerebral Cortex

Tetsuya Sasaki^{1,2}, Tomomi Sanagi^{1,3}, Tomoko Manabe¹, Shinichi Kohsaka⁴, Noritaka Ichinohe^{1,2}

¹Dept Ultrastruc Res, Natl Inst Neurosci, NCNP, ²Lab Molecular Analysis of Higher Brain Func, BSI, RIKEN, ³RPD Fellowship of JSPS, ⁴Natl Inst Neurosci, NCNP

302-2

Microglial abnormality in the prefrontal cortex of a primate ASD model by prenatal exposure of valproic acid.

Tomomi Sanagi^{1,2}, Tetsuya Sasaki^{1,3}, Tomoko Manabe¹, Keiko Nakagaki¹, Shinichi Kohsaka⁴, Noritaka Ichinohe^{1,3}

¹Dept of Ultrastructural Res, Natl Inst of Neurosci, NCNP, ²RPD Fellowship of JSPS, ³Lab for Molecular Analysis of Higher Brain Function, RIKEN BSI, ⁴Natl Inst of Neurosci, NCNP

302-3

Evaluation of novel readthrough agents by using myelin P0-translatinal system in vivo

Yoshinori Otani¹, Yoshihide Yamaguchi¹, Akihiro Taguchi², Keisuke Hamada², Yoshio Hayashi², Hiroko Baba¹

¹Department of Molecular Neurobiology, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences, ²Department of Medicinal Chemistry, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences

The somatic stemness of oligodendrocyte precursor cells requires thyroid hormone and hypoxia to activate Runx1

Yasuhito Tokumoto^{1,2,3}, Shinpei Tamaki⁴, Yasuaki Kabe^{2,5}, Keiyo Takubo^{4,5}, Makoto Suematsu²

¹Admission Center, Saitama Medical Univ, ²Dept Biochem, Sch Med, Keio Univ, ³JST-ERATO, ⁴Dept Stem Cell Biol, NCGM, ⁵AMED-CREST

Measurement of multiple radical scavenging activity as a diagnostic method for children with ASD

Hideo Matsuzaki¹, Aki Hirayama²

¹Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan, ²Center for Integrative Medicine, Tsukuba College of Technology, Ibaraki, Japan

ER stress-dependent production of small peptides derived from ER stress sensors in neuronal cells.

Koji Matsuhisa¹, Atsushi Saito¹, Yosuke Ohtake^{1,2}, Kanta Yanagida³, Masayasu Okochi³, Masaki Matsumoto^{4,5}, Keiichi Nakayama^{4,5}, Kazunori Imaizumi²

¹Dept Stress Prot Processing, Inst Biomed & Health Sci, Hiroshima Univ, ²Dept Biochem, Inst Biomed & Health Sci, Hiroshima Univ, ³Psy, Dept Integrated Med, Div Int Med, Osaka Univ Grad Sch Med, ⁴Div Proteomics, Med Inst Bioreg, Kyushu Univ, ⁵Dep Mol & Cell Biol, Med Inst Bioreg, Kyushu Univ

分子イメージング、神経ネットワーク

Chairperson: Osamu Nakagawasai (Dept Pharmacol, Tohoku Med Pharm Univ)

A Flp-dependent G-CaMP9a transgenic mouse for neuronal imaging *in vivo*

Masayuki Sakamoto¹, Masatoshi Inoue¹, Kazuki Sakai¹, Shigetaka Kobari¹, Sayaka Takemoto-Kimura¹, Manabu Abe², Kenji Sakimura², Haruhiko Bito¹

¹Dept Neurochem, Grad Sch Med, The Univ. of Tokyo, ²Dept Cell Neurobiol, Brain Res. Inst, Niigata Univ.

Mitochondrial rescue therapy for Parkinson's disease model mice

Hidaka Haga, Yasushi Yabuki, Kohji Fukunaga

Dept Pharmacol, Grad Sch Pharm Sci, Tohoku Univ

Inhibition of Aβ accumulation by T-type calcium channel enhancer and its *in vivo* pharmacokinetics

Hisanao Izumi, Yasuharu Shinoda, Keita Sato, Kohji Fukunaga

Department of Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Tohoku University

細胞内・細胞間情報伝達、その他

Chairperson: Norifumi Shioda (Lab Mol Biol, Gifu Pharm Univ)

Lysosomal ubiquitin ligase RNF182 regulates mTORC1 signaling through recruitment of amino acid transporter LAT1 to lysosomes

Masayuki Kaneko, Xiaopeng Guo, Kazunori Imaizumi

Dept Biochem, Inst Biomed & Hlth Sci, Hiroshima Univ

304-2

Structural variations in alpha synuclein (α Syn) fibrils of Parkinson's disease and related disorders.

Kensuke Ikenaka¹, Keita Kakuda¹, Katsuya Araki¹, Cesar Aguirre², Masatomo So², Yuji Goto², Hideki Mochizuki¹

¹*Dept Neurol. Grad Sch Med, Osaka Univ,* ²*Institute of Protein Science, Osaka Univ*

304-3

Vasopressin casts light on the suprachiasmatic nucleus

Takahiro Tsuji, Chiharu Tsuji, Gareth Leng, Mike Ludwig

University of Edinburgh

3LC1

9/9 (Sat) 12:00-13:00 [Room B]

ランチョンセミナー5: アカデミアシーズの創薬開発支援
ー非臨床～臨床のワンストップサービスー

座長：福永 浩司（東北大学大学院薬学研究科薬理学分野）

演者：長谷川 節雄（ファルマシュプール株式会社）

下井 昭仁（株式会社イナリサーチ）

共催：ファルマシュプール株式会社、株式会社イナリサーチ

3LC2

9/9 (Sat) 12:00-13:00 [Room C]

ランチョンセミナー6: 脳に効くヒスチジン摂取 Oral Histidine Intake for Brain

座長：谷内 一彦（東北大学大学院医学系研究科・機能薬理学）

演者：吉川 雄朗（東北大学大学院医学系研究科・機能薬理学）

共催：味の素株式会社

3LC3

9/9 (Sat) 12:00-13:00 [Room D]

ランチョンセミナー7: ライカ in vivo イメージング最新技術

座長：西山 隆太郎（ライカマイクロシステムズ株式会社）

演者：伊集院 敏（ライカマイクロシステムズ株式会社）

共催：ライカマイクロシステムズ株式会社

Author Index

演題番号 (太字は筆頭著者)

氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号
A		B		F		G	
Abe, Ayaka	2P-33	Baba, Hiroko	1P-34	Fu, Kequan	1DJ2-1	Gao, Jinping	1DJ2-2
Abe, Hiroki	2DJ2-5		1P-35	Fuchigami, Takahiro	1P-31	Gerasimenko, Maria Nikolaevna	2P-48
Abe, Koji	1S7-1		1P-38		2P-32	Go, M-L	1S4-3
Abe, Manabu	3O3-1		2P-40	Fueta, Yukiko	1S3-5	Go, Yasuhiro	2S1-4
Abe, Yoichiro	1DJ1-2		3O2-3		2P-09	Gonzalez-Billault, Christian	2P-25
Adachi-Morishima, Aki	1DJ2-5	Baba, Kousuke	1S6-3		2P-10	Goto, Yuji	1S6-3
Ageta-Ishihara, Natsumi	2O1-4	Bando, Yoshio	1P-42		2P-15		2P-49
Ago, Yukio	1P-48		2O3-1	Fujihara, Kazuyuki	2P-57		3O4-2
	2P-52		2DJ1-5		2P-58	Gotoh, Mari	2P-42
Aguirre, Cesar	2P-49	Bitto, Haruhiko	1DJ2-4	Fujii, Hajime	1DJ2-5	Guo, Weiheng	1O1-2
	3O4-2		1DJ2-5	Fujikake, Kazuma	2P-34	Guo, Xiaopeng	3O4-1
Aida, Tomomi	3S1-5		2O1-4	Fujioka, Masato	2P-60	Gyobu, Hiroaki	1P-08
Ajioka, Itsuki	1P-26		3O3-1	Fujise, Kenshiro	3S5-1		1P-10
Akagawa, Kimio	1P-05	Bizen, Norihisa	2S2-3	Fujita, Masayo	3S8-4		
	1P-33	Blair, Laura J	1S1-4	Fujita, Yu	2P-02		
Akagi, Yuka	2P-35	Boku, Shuken	3S8-1		2P-63	Haga, Hidaka	3O3-2
Akaike, Takaaki	1DJ1-3	Bonneau, Benjamin	1P-11	Fujita, Yuki	1DJ4-1	Hagino, Yoko	3S8-4
Akamine, Shoshin	2P-45				2O3-2	Hamada, Keisuke	3O2-3
Akita, Hidetaka	1DJ4-5			Fujitani, Masashi	1P-40	Hamada, Kozo	1P-02
Akiyama, Ayumi	2P-33	Casey, Jillian P	1DJ4-4	Fujiwara, Tomonori	1P-05	Hamada, Nanako	2S7-4
Allchorne, Andrew	3O1-4	Chan, Ying Sing	1S4-1	Fujiwara, Toshiyuki	1P-54		2P-27
Amano, Genki	2O4-2	Chan, Young Shin	2S1-1	Fujiwara, Yuuki	2S5-1	Hamamoto, Akie	2P-05
	2P-18	Chandravanshi, Lalit	2P-70	Fukada, Yoshitaka	1P-53	Hamano, Ayana	2P-42
	2P-19	Chen, Bangxin	1S7-2	Fukazawa, Yugo	1P-09	Hamanoue, Makoto	1P-04
	2P-20	Chen, Bin	1S7-4		1P-46	Hamatani, Kohei	1P-52
Ando, Hideaki	1P-11	Chen, Zhong	1S7-4		2O1-4	Han, Feng	1S7-5
Ando, Kanae	1DJ2-3		1DJ3-2	Fuke, Satoshi	1P-31		1DJ2-2
	1P-30	Cherepanov, Stanislav	2P-48		1P-47		1DJ3-1
	2O4-4		2P-69	Fukuchi, Mamoru	2O3-5	Han, Sarina	2O4-2
	2P-03	Chiba, Koyo	2P-02	Fukuda, Koji	3S1-1		2P-18
	2P-56	Chijiwa, Takeharu	2S4-2	Fukuda, Masato	2P-51		2P-19
	2P-68	Chiku, Tomoki	2O4-4		2P-57		2P-20
Anzai, Naohiko	1DJ4-5	Chiu, Yukai	1P-44		2P-58	Hanamura, Kenji	1P-06
Aono, Hitomi	1P-07	Choudhury, Mohammed E	1P-07	Fukuda, Mitsunori	2P-25		2P-06
Aoyagi, Kyota	2P-56		2S4-3	Fukumori, Akio	2P-45	Hanayama, Roikinari	1S6-2
Aoyama, Mineyoshi	1DJ4-6	Chujo, Kaori	1P-24	Fukunaga, Kohji	1O1-1	Harada, Ikuyo	2P-50
Araki, Hiroaki	1P-56	Chun, SeungHee	2P-31		1DJ3-3	Harada, Kana	2O3-2
Araki, Katsuya	1S6-3	Contu, Viorica Raluca	2S5-1		1DJ3-4	Harada, Risako	2P-17
	3O4-2				2DJ1-1	Harada, Yukihiro	2P-35
Araki, Ryota	2P-50				2DJ1-2	Hase, Katsunori	2S5-1
Araki, Tomoyuki	1P-14				2DJ1-3	Hasebe, Shigeru	1P-48
Arata, Akiko	1P-51	Deguchi, Kimiko	3O1-3		2P-67	Hasegawa, Masato	1S1-2
	2P-11	Deguchi, Yuichi	2DJ2-6		3S8-3		1DJ2-3
Arime, Yosefu	3S8-2	Dohi, Kenji	2O4-3		3O1-1	Hasegawa, Takafumi	1S1-5
Aruga, Jun	1O1-4	Doi, Miyuki	2O1-1		3O3-2		3S5-2
Asada, Akiko	2O4-4				3O3-3	Hashikawa, Naoya	1S8-3
	2P-25	Eguchi, Ryota	2P-44	Fukuyama, Kazuya	2DJ2-7	Hashikawa-Hobara, Narumi	1S8-3
	2P-56	Ehrlich, Aliza T.	2DJ2-6	Funayama, Shizuka	1P-27	Hashimoto, Hitoshi	1S9-3
Asahi, Toru	1DJ2-6	Elgersma, Ype	2L1	Furihata, Tomomi	1DJ4-5		1P-48
Asai, Kiyofumi	1DJ4-6	Ellegood, Jacob	2S7-3	Furusawa, Kotaro	2P-25		2P-52
Asano, Masaya	2O1-2	Ema, Masatsugu	3S1-1	Furuya, Yoshiaki	2S5-1	Hashimoto, Kei	2P-33
Asari, Sota	2P-50	Endo, Shogo	1DJ1-3	Furuyashiki, Tomoyuki	1S5-3		2P-42
Asou, Hiroaki	1P-39	Endoh, Masumi	1P-55		2DJ2-6	Hashimoto, Kenji	2P-52
Ayukawa, Noriko	1O1-3	Eto, Kei	3S4-3			Hashimoto, Mayaka	2P-41
						Hashimoto, Miho	1P-17

氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号
Hashizume, Miki	1P-14		2P-03	Ikeda, Kazutaka	3S8-4		2P-20
Hata, Kenichiro	1S3-4		2P-25	Ikeda, Tetsurou	1P-01	Ito, Rina	1P-14
Hata, Tomokazu	2S3-3		2P-56	Ikegaya, Yuji	1S8-2	Ito, Ryo	1DJ4-5
Hatayama, Minoru	1O1-4		2P-68		1DJ1-1	Ito, Shigeo	2P-01
Hattori, Misaki	2O1-1	Hisaoka, Tomoko	1P-08	Ikenaka, Kazuhiro	1LC	Ito, Takahiro	2DJ2-1
Hattori, Tsuyoshi	2O2-5		1P-10		2S2-4	Itoh, Norimichi	2P-66
	3S4-2	Hisatsune, Chihiro	1DJ4-4		2S2-5	Itoi, Keiichi	1S5-1
Hayakawa, Hideki	1S6-3	Hishikawa, Nozomi	1S7-1		2O2-2		1P-29
Hayashi, Akiko	1P-34	Hitoshi, Seiji	1O1-4		2P-37	Itsugu, Riku	2P-23
Hayashi, Kanehiro	1P-16		1P-31		2P-38	Iwai, Ryota	1O2-4
	1P-25		1P-47		2P-39		2DJ2-3
	2P-62		2P-32		2P-41	Iwakiri, Teppei	3S1-1
Hayashi, Mariko K	2S9-1		3S1-1		2P-61	Iwakura, Yoichiro	1P-49
Hayashi, Yokichi	2P-33	Hojo, Yasutsugu	1P-14	Ikenaka, Kensuke	1S6-3	Iwakura, Yuriko	2O3-4
Hayashi, Yoshio	3O2-3	Honda, Kazuho	2O4-3		2P-49		2P-46
Hayashi, Yoshitaka	1P-31	Honda, Takao	1P-18		3O4-2	Iwano, Suguru	1P-51
Hayashi, Yuichi	1P-56	Honke, Koichi	1P-14	Ikeshima-Kataoka, Hiroko	2P-42	Iwata, Keiko	1P-46
Hayashishita, Motoki	2O4-4	Hori, Hiroaki	3S6-3	Imai, Kaori	1P-17	Iwata, Yuko	2O1-3
Hida, Hideki	2S3-5	Hori, Osamu	1S2-1	Imaizumi, Kazunori	1S2-3	Izumi, Hironori	2O3-5
Hida, Hirotake	2DJ2-1		1P-19		1O2-1	Izumi, Hiroyuki	3S1-1
Hide, Izumi	2O1-2		2O2-5		3O2-6	Izumi, Hisanao	3O3-3
Hidema, Shizu	2S4-1		3S4-2		3O4-1		
Higa-Nakamine, Sayomi	1P-15	Horigane, Shin-ichiro	1DJ2-5	Imaizumi, Mica	2P-56		J
Higashi, Hiroshi	1O2-2	Hoshikawa, Mariko	1P-32	Imamura, Fumiaki	1DJ2-4	Jain, Vishal	2P-76
Higashida, Haruhiro	2P-48	Hosoba, Kousuke	2P-05	Inada, Hiroyuki	1O2-3	Jiang, Q.F.	1S4-1
	2P-54	Hosoya, Makoto	2P-60	Inada, Hitoshi	1P-37	Jiang, Quan	1DJ2-2
	2P-69	Hozumi, Naohiro	2P-09	Inagaki, Ryo	2DJ1-2	Jin, Zhong	2P-54
	3S4-2		2P-10	Inokuchi, Kasumi	1DJ2-4	Jinno, Shozo	2S9-5
Higuchi, Makoto	2DJ2-4	Hukumori, Akio	2P-36	Inoue, Kazuhide	2S5-4	Jitsuki, Aoi	2DJ2-5
Higuchi, Momoko	1P-48	Husain, Noreen	1DJ3-4	Inoue, Ken	3O1-3	Jitsuki, Susumu	2DJ2-5
	2P-52			Inoue, Masatoshi	3O3-1	Jureepon, Roboon	3S4-2
Higuchi, Satomi	1P-45		I	Inoue, Mayuko	1O2-4		
Hikita, Takao	2P-34	Ibi, Daisuke	1DJ1-4		2DJ2-3		K
Hirai, Syu-ichi	2S6-4		1DJ1-5	Inoue, Naoki	1S9-3	Kabe, Yasuaki	3O2-4
Hiramatsu, Masayuki	1DJ1-4		1DJ1-6	Inoue, Seika	1P-16	Kabuta, Chihana	2S5-1
	1DJ1-5	Ichinohe, Noritaka	3O2-1		2P-62	Kabuta, Tomohiro	2S5-1
	1DJ1-6		3O2-2	Inoue, Takayoshi	2P-30	Kaibuchi, Kozo	1S9-1
Hiramatsu, Takaya	1O1-4	Ichinose, Wataru	2P-69	Inoue, Yukiko U.	2P-30	Kaji, Minoru	3S4-2
Hiramatsu, Yuka	2DJ2-1	Ida, Yui	1P-14	Ishibashi, Tomoko	1P-35	Kakae, Masashi	2P-55
Hiraoka, Yuichi	2S4-1	Ido, Airi	2DJ1-7		2P-40	Kakio, Shota	2DJ2-7
Hirase, Ryo	1P-41	Igarashi, Hisato	2P-52	Ishiguro, Koichi	2P-56	Kakita, Akiyoshi	3S2-3
Hirashima, Kazuki	1DJ1-4	Igarashi, Michihiro	2S6-1	Ishii, Hiroshi	2O2-5	Kakita, Hiroki	1DJ4-6
	1DJ1-6	Iguchi, Tokuichi	1P-09		3S4-2	Kakuda, Keita	3O4-2
Hirayama, Aki	3O2-5		2O1-1	Ishii, Kazuhiro	3O1-3	Kamaishi, Koji	2P-02
Hirayama, Yuri	1S9-2	Iguchi, Yohei	1S1-1	Ishikawa, Ayako	3S4-3	Kametani, Kiyokazu	1O1-2
Hirokawa, Tomoko	2P-29	Ihara, Dai	2P-35	Ishikawa, Yasuyuki	2P-12	Kamijo, Satoshi	1DJ2-5
	2P-53	Ihara, Hideshi	1DJ1-3		3O1-2	Kanaya, Yuhei	1DJ3-7
Hirose, Masamichi	1P-45	Iida, Tomomitsu	2P-08	Ishino, Yugo	3S4-5	Kanayama, Daisuke	2P-36
Hirose, Matsumi	1P-11	Iijima, Koichi M	2O4-4	Ishizaki, Yasuki	1P-28	Kanda, Akifumi	2S7-3
Hirota, Yuki	1P-26	Iijima, Takatoshi	1O1-3		2O1-3	Kanda, Yasunari	1S3-3
Hirota, Ooka	2P-11		2P-14		2DJ1-4		1P-24
Hirouchi, Taisei	1DJ4-4	Iijima, Yoko	1O1-3		2P-21		2P-09
Hisa, Toshinori	1P-30		2P-14	Isonishi, Ayami	1P-36		2P-10
Hisamoto, Naoki	2S6-2	Ikai, Koichiro	2P-16		1P-42		2P-15
Hisanaga, Shin-ichi	1DJ2-3	Ikeda, Akio	3S2-1	Ito, Mai	2P-18		2P-16
	2O4-4	Ikeda, Chinatsu	2DJ2-4		2P-19	Kanehisa, Kensho	1DJ4-3

氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号
Kaneko, Masayuki	3O4-1		2P-56	Kondo, Makoto	3S4-1	Li, Jiayi	2P-38
Kaneko, Naoko	2S5-3		2P-68	Kondo, Yukiko	1P-45	Li, Weidong	1O1-2
	2P-34	Kinjo, Toshihiko	1O2-2	Konishi, Hiroyuki	2O2-4	Lii, Tong	1S7-2
	2P-41	Kinoshita, Makoto	2O1-4	Konno, Daijiro	1O2-4	Lin, Yuka	2O1-1
Kaneko, Shuji	1P-41	Kira, Jun-ichi	1DJ3-6	Konopka, Genevieve	1S9-4	Liu, Junjun	2P-63
	2P-55	Kishimoto, Toshifumi	1S4-2	Kotani, Norihiro	1P-14	Liu, Shuyu	2P-63
Karpati, Aniko	2P-08	Kishimoto, Yusuke	1DJ1-3	Kousaka, Kazuyoshi	2P-17	Liu, Xiu-xiu	1DJ3-1
Kasagi, Masago	2P-51	Kitagawa, Hiroaki	2P-32		2P-23	Lkhagvasuren, Battuvshin	2S4-2
Kasagi, Masato	2P-57	Kitagawa, Hiroshi	2S9-2	Kouya, Yamaguchi	2DJ1-1	Lou, Yijia	1S7-2
	2P-58	Kitahara, Yosuke	2S4-4	Koyama, Natsu	1P-31	Low, Chian-Ming	1S4-3
Kasahara, Nozomi	1P-24	Kitamura, Keita	1DJ4-5		1P-47	Lu, Nan-nan	1DJ3-1
Kasahara, Yoshiyuki	3S8-2	Kitamura, Toshio	1P-08		2P-32	Lu, Ying-mei	1S7-3
Kasai, Atsushi	2P-52		1P-10	Koyama, Ryuta	1S8-2		1DJ2-2
Kasai, Shinya	3S8-4	Kitano, Haruno	2P-08	Krishnankutty, Ambika	2P-56		1DJ3-1
Kataoka, Kosuke	1DJ2-6	Kitaoka, Shiho	2DJ2-6	Kruining, Daan Van	1DJ3-6	Ludwig, Mike	3O4-3
Kataoka, Masakazu	1P-13	Kitaura, Hiroki	3S2-3	Kubo, Ken-ichiro	1P-16		
Katarao, Kazusa	2O1-2	Kitazawa, Ayako	1P-25		1P-25		
Katayama, Kei-ichi	1O1-4	Kiyama, Hiroshi	2O2-4		2P-62		
Katayama, Taiichi	2O4-2	Kiyama, Masahiro	2O3-5		3O1-3		
	2P-18	Kiyonaka, Shigeki	3S7-1	Kubo, Yumiko	3S8-2		
	2P-19	Koarashi, Keisuke	2O2-1	Kubota-Sakashita, Mie	1P-47		
	2P-20	Kobari, Shigetaka	3O3-1	Kudo, Takashi	1S2-4		
Kato, Hidemasa	1P-27	Kobata, Kenji	2DJ2-7		2P-45		
Kato, Shigeki	2DJ2-2	Kobayashi, Kazuto	2DJ2-2	Kudo-Tsurushige, Chikako	1P-26		
Kato, Tadafumi	1P-47		3S8-4	Kudou, Takashi	2P-36		
Katsuno, Yuki	2DJ2-5	Kobayashi, Kenichi	3S1-1	Kumamoto, Natsuko	1P-32		
Katsuragi, Ryuichi	2S5-4	Kobayashi, Masaaki	2O2-4		2S5-3		
Kawaai, Katsuhiro	1P-11	Kobayashi, Miwako	1P-56	Kumar, Pramod	2P-71		
Kawachi, Izumi	2S2-1	Kobayashi, Reona	2P-68	Kunisawa, Kazuo	2P-38		
Kawada, Ayami	1P-34	Kobayashi, Yasushi	1S5-4	Kurachi, Masashi	2P-21		
Kawahara, Hironori	1S6-2	Kobayashi, Yuki	2P-03	Kuraishi, Tomoki	2P-01		
Kawakami, Marumi	1P-49		2P-04	Kuramoto, Nobuyuki	1O2-2		
Kawakami, Yutaka	1DJ4-1		2P-05	Kurihara, Yasuyuki	2P-28		
	1P-20	Kobayashi, Yutaro	2O3-4	Kurihara, Yuji	1DJ4-1		
	1P-22		2P-46		1P-20		
	2P-28	Kofuji, Takefumi	1P-05		2P-28		
Kawamura, Genki	1P-53	Koga, Keisuke	1DJ4-3		2P-29		
Kawamura, Teruhisa	2P-35	Koganezawa, Noriko	1P-21		2P-53		
Kawasaki, Asami	2S6-1		1P-44	Kuroda, Kazuki	1P-09		
Kawasaki, Hiroshi	3S1-3		2P-06	Kuroki, Yoko	2DJ2-4		
Kawase, Ayana	2P-22	Kohro, Yuta	1DJ4-3	Kusakari, Shinya	1P-17		
Kawashima, Arisa	2P-53		2S5-4	Kwok, T X-W	1S4-3		
Kawauchi, Akihiro	3S1-1	Kohsaka, Shinichi	1O2-3				
Kayano, Masafumi	1S8-3		1P-04				
Kida, Satoshi	3S6-2		3O2-1				
Kigami, Yuka	1P-07		3O2-2				
Kikkawa, Takako	1P-29	Koide, Nayu	1DJ1-5				
	2P-30	Koinuma, Shigo	2P-24				
	2P-31	Koizumi, Schuichi	1S9-2				
	1P-04		2O2-2				
Kikuchi, Reika	1DJ2-4		2DJ1-6				
Kikusui, Takefumi	1DJ2-4		3S2-4				
Kim, Ryang	1S4-2	Komano, Hiroto	2P-02				
Kimoto, Sohei	2O4-1		2P-63				
Kimura, Nobuyuki	3S5-4	Komori, Tadasuke	1P-08				
	1DJ2-3		1P-10				
Kimura, Taeko							

氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号
Melki, Ronald	1L1	Mori, Yasutake	2P-18	Nakagawasai, Osamu	2P-59	Nishina, Hiroshi	2S6-5
Meltzer, Herbert Y	2P-13	Moriguchi, Shigeki	1O1-1	Nakai, Mako	2P-47	Nishino, Masafumi	1P-33
Miao, Shuchuan	2P-06		2DJ1-2	Nakaji, Keita	2P-32	Nishitoh, Hideki	1S2-5
Mikami, Tetsuri	2P-09	Morihara, Ryuta	1S7-1	Nakajima, Kazunori	1P-16	Nishizawa, Masatoyo	2S2-1
	2P-10	Morikawa, Shota	1DJ1-1		1P-18	Nishizono, Hirofumi	1P-57
Mike, Ludwig	3O1-4	Morikawa, Yoshihiro	1P-08		1P-25	Nishizumi, Hirofumi	1DJ2-4
Miki, Daisuke	2P-04		1P-10		1P-26	Nitta, Atsumi	1DJ2-1
Mikoshiha, Katsuhiko	1DJ4-4	Morimoto, Takako	1P-50		2P-62		1P-52
	1P-02	Morimura, Naoko	1O1-4		3O1-3		1P-54
	1P-11		1P-31	Nakajima, Kazuyuki	1P-04		1P-57
	1P-35	Morinobu, Shigeru	3S6-4	Nakajima, Sari	2P-16	Noda, Mami	2S4-4
Minami, Masabumi	2DJ1-7	Morio, Hanae	1DJ4-5	Nakajima, Waki	2DJ2-5	Noda, Yukihiro	2DJ2-1
Mingcum, Liang	2P-54	Morita, Mitsuhiro	2O2-3	Nakamura, Kae	1S5-2	Noguchi, Koichi	1P-40
Mishima, Tatsuya	1P-05	Morita-Takemura, Shoko	1P-36	Nakamura, Tadah	2P-07	Noma, Toshiki	1P-51
Miyamoto, Akiko	3S4-3		1P-42		2P-08	Nomura, Hiroshi	2DJ1-7
Miyamoto, Akitoshi	1DJ4-4	Moriyama, Mitsuaki	2O2-1	Nakamura, Takeshi	2P-24	Nomura, Jun	2S7-3
Miyamoto, Kana	2P-09		2P-43	Nakamura, Yoichi	2O2-1	Nomura, Keiichiro	2DJ2-3
Miyamoto, Kazuyuki	2O4-3	Morizawa, Yosuke	2DJ1-6		2P-43	Nomura, Taichi	1P-42
Miyamoto, Takuya	2P-41	Motegi, Tomokazu	2P-51	Nakamura, Yoshitaka	2P-50		2DJ1-5
Miyamoto, Tatsuo	2P-05		2P-57	Nakano, Fumitaka	1P-57	Nomura, Yoko	1S3-1
Miyamoto, Yasunori	2P-33		2P-58	Nakano, Takanari	1P-14	Nonaka, Takashi	1S1-2
	2P-42	Motono, Makoto	1P-27	Nakano, Yumiko	1S7-1	Norisue, Yui	2P-53
Miyamoto, Yoshiaki	1DJ2-1	Mozhdeh, Bagheri	1P-27	Nakao, Shu	2P-35	Nukina, Nobuyuki	1P-01
	1P-52	Mukaisyo, Ken-ichi	1P-47	Nakashima, Mari	2P-42		
	1P-54	Muneta, Sho	2S5-4	Nakashima, Saki	1P-39		
	1P-57	Murakami, Koichi	1P-42	Nakatani, Jin	1P-47	Obara, Toshiki	2P-63
Miyamoto, Yuki	3S4-4	Murakawa, Seiya	2O1-2	Nakayama, Keiichi	3O2-6	Odaira, Takayo	2P-59
Miyamura, Sakie	1P-41	Murakoshi, Hideji	3S4-3	Nakazawa, Hitomi	3O1-2	Ogawa, Atsbumi	2DJ2-6
Miyanishi, Hajime	1P-54	Murakoshi, Takayuki	1P-14	Namba, Hisaaki	2O3-4	Ogawa, Kaoru	2P-60
Miyanishi, Kazuya	1P-07	Muramatsu, Shin-ichi	1DJ2-1	Nanba, Eiji	3S3-2	Ogawa, Naoko	1P-11
Miyanohara, Jun	2P-55		1P-54	Naoi, Makoto	1P-43	Ogita, Kiyokazu	1P-23
Miyasaka, Tomohiro	1DJ2-3		1P-57	Narita, Kosuke	2P-51	Ogura, Sae	1S9-3
Miyashita, Masaya	1P-57	Muramatsu, Shin-iti	1P-52		2P-57	Ohara, Hisashi	1P-24
Miyata, Shingo	3S4-5	Murata, Yukari	1DJ3-7	Narita, Kousuke	2P-58	Ohnishi, Hiroshi	1P-17
Miyatake, Hideyuki	1P-02	Murayama, Shigeo	1S6-4	Narita, Minoru	1DJ1-1	Ohno, Nobuhiko	2S5-3
Miyazaki, Shinji	2S4-1	Murofushi, Kimiko	2P-42	Narumiya, Shuh	2DJ2-6		2P-37
Miyazaki, Toh	1P-54			Naruse, Masae	1P-28		2P-39
Miyazaki, Tomoyuki	2DJ2-4			Nawa, Hiroyuki	2O3-4		2P-61
	2DJ2-5	Nabekura, Junichi	1O2-3		2P-22	Ohno, Yukihiro	3S2-2
Miyoshi, Ko	2O4-2		3S4-3		2P-46	Ohshima, Toshio	1DJ3-5
	2P-18	Nabeshima, Toshitaka	1P-12	Near, Jamie	2P-57	Ohta, Shigeki	1P-22
	2P-19	Nagai, Taku	1P-12	Negishi, Ryota	2P-24	Ohta, Yasuyuki	1S7-1
	2P-20	Nagai, Toshihiro	1O2-5	Nemoto, Wataru	2P-59	Ohtake, Yosuke	1O2-1
Mizoguchi, Hirokazu	1P-03	Nagai, Yoshitaka	1S6-3	Ng, C-Y	1S4-3		3O2-6
Mizuta, Nanano	2P-17		3S3-4	Nguyen, Bang Huy	2P-37	Ohtaki, Hirokazu	2O4-3
Mizutani, Akihiro	1P-11	Naganuma, Fumito	2P-08		2P-39	Oka, Takaaki	2S5-4
Mizutani, Ken-ichi	1O2-4	Nagata, Koh-ichi	1O2-4	Nguyen, Huy Bang	2S5-3	Oka, Takakazu	2S4-2
	2DJ2-3		2S7-4		2P-61	Oka, Yuichiro	1P-09
Mochizuki, Hideki	1S6-2		2DJ2-3	Niikura, Takako	1DJ1-2		2O1-1
	1S6-3		2P-27	Nishi, Akinori	2S4-4	Okabayashi, Sachi	2O4-1
	2P-49	Nagayasu, Kazuki	1P-41	Nishibe, Yuka	1P-34	Okabe, Kohki	2O1-3
	3O4-2		2P-55	Nishida, Ryoei	2P-53	Okada, Masayasu	2S6-1
Mogi, Asuka	2P-07	Naito, Yu	1P-38	Nishida, Shoji	2P-50	Okada, Tomoya	2P-04
Mogi, Mai	1P-38	Nakagaki, Keiko	3O2-2	Nishihara, Masaya	2P-47	Okamoto, Hiroshi	3S4-2
Mogilevskaya, Maria	2P-07	Nakagawa, Ryota	1DJ4-1	Nishimori, Katsuhiko	2S4-1	Okamura, Nobuyuki	2P-08
Mori, Hisashi	2O3-5	Nakagawa, Sae	2P-35	Nishimura, Yasunori	2P-43	Okano, Hideyuki	1O2-5

氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号
	1P-22	Saito, Rui	2P-02	Sawamoto, Kazunobu	1O2-3	Shin, Minkyung	1P-25
	2S8-4	Saito, Taro	1P-30		1P-19	Shin, Yuki	2P-17
	2P-60		2O4-4		2S5-3	Shinoda, Yasuharu	1DJ3-3
	2P-68		2P-56		2P-34		2P-67
	3S1-4		2P-68		2P-41		3O3-3
Okazaki, Natsuki	2O2-3	Saito, Tetsuichiro	1P-29	Sawamura, Naoya	1DJ2-6	Shinohara, Ryota	2DJ2-6
Oketani, Yuki	1P-52	Saito, Yoshiro	1DJ4-5	Scheffele, Peter	1O1-3	Shinozaki, Youichi	2O2-2
Okitani, Nahoko	2O2-5	Saito, Yu	1DJ4-1	Seiriki, Kaoru	2P-52	Shintani, Norihito	1S9-3
Okitsu, Shiho	1P-15	Saito, Yuko	1S6-4	Seita, Yasunari	3S1-1	Shioda, Norifumi	2DJ1-1
Okochi, Masayasu	3O2-6	Saito, Yumiko	2P-03	Seiwa, Chika	1P-39		3S3-3
Okuno, Hiroyuki	1DJ2-4		2P-04	Seki, George	1P-11		3S8-3
Okuno, Tatsusada	1S6-2		2P-05	Sekino, Yuko	1P-24	Shiosaka, Sadao	3O1-2
Onaka, Yusuke	1P-23	Saitoh, Ban-yu	1DJ3-6		2P-09	Shiozawa, Seiji	2P-68
Ono, Katsuhiko	2O1-3	Sakaguchi, Suehiro	3S5-3		2P-10	Shirafuji, Toshihiko	2O1-2
Ono, Kenjiro	1S6-1	Sakai, Kazuki	3O3-1		2P-15	Shirakawa, Hisashi	1P-41
	2S8-1	Sakai, Norio	2O1-2		2P-16		2P-55
Ono, Ryotaro	2P-59	Sakamoto, Ayuna	1P-22	Seo, Makoto	1P-14	Shirao, Tomoaki	1P-21
Onodera, Osamu	2S2-1	Sakamoto, Masayuki	3O3-1	Seto, Yayoi	2P-34		1P-44
Ooka, Hirotaka	1P-51	Sakano Hitoshi	1DJ2-4	Seyama, Kaho	3S5-1		2P-06
Oroku, Kazuki	2S5-1	Sakimura, Kenji	1S5-1	Shabalova, Anna	2P-48	Shiratori-Hayashi, Miho	1DJ4-3
Osanai, Yasuyuki	2S2-4		3O3-1		2P-69	Shresta, Tejashwi	1DJ3-7
Osawa, Sho	2P-21	Sakuma, Wakana	2P-59	Shabalova, Anna Andreevna	2P-54	Shum, D.K.Y.	1S4-1
Oshima, Yoshiyuki	2S5-1	Sakumura, Yuichi	2P-24	Shamoto-Nagai, Masayo	1P-43	Shuto, Satoshi	2P-69
Osumi, Noriko	1P-29	Sakurada, Shinobu	1P-03	Shan, Wei	1P-12	So, Masatomo	2P-49
	1P-37	Samaco, Rodney C	2S1-2	Shang, Jingwei	1S7-1		3O4-2
	2S1-3	Samura, Eriko	2O4-1	Sharma, Govinda	2P-68	Sobue, Kazuya	1DJ4-6
	2P-30	Sanagi, Tomomi	3O2-1	Shen, Xuefeng	2P-02		2P-34
	2P-31		3O2-2		2P-63	Sodeyama, Kengo	1P-54
Otake, Kazuya	1DJ2-1	Sano, Akane	2DJ2-5	Shibasaki, Koji	1P-28	Sogo, Takahiro	2P-35
Otani, Yoshinori	3O2-3	Sasaki, Erika	3S1-1		2O1-3	Someya, Toshiyuki	2O3-4
Otowa, Akira	1P-03	Sasaki, Makoto	1P-45		2DJ1-4	Sone, Takafumi	1P-22
Otsuguro, Ken-ichi	2P-01	Sasaki, Tetsuya	3O2-1	Shibata, Keisuke	2O2-2	Sora, Ichiro	3S8-2
	2P-44		3O2-2	Shibata, Shinsuke	1O2-5	Sotomaru, Yusuke	2S7-3
Otsuka, Satoshi	2O3-5	Sato, Hiroki	2P-18	Shibata, Yasuhiro	1P-32	Stankewich, Michael C.	2O4-2
Owada, Yuji	3O1-1		2P-19	Shibata, Yusuke	2DJ2-4	Stevens, Sharon R.	2O4-2
Ozaki, Norio	2DJ2-1		2P-20		2DJ2-5	Su, Yixun	2P-74
Ozawa, Takeaki	1P-53	Sato, Kaoru	1P-24	Shichita, Takashi	2O3-3	Sudo, Nobuyuki	2S3-3
			2S9-1	Shigetomi, Eiji	2O2-2		2S4-2
	P	Sato, Katsuaki	2O2-4	Shigeyoshi, Yasufumi	1P-47	Suematsu, Makoto	3O2-4
Pastuhov, Strahil	2S6-2	Sato, Keita	3O3-3	Shikabe, Masahiro	1P-12	Suga, Kei	1P-33
Phonchai, Ruchee	2P-72	Sato, Kohji	1P-19	Shikada, Sho	2O4-2	Sugawara, Masateru	2DJ2-2
		Sato, Makoto	1P-09		2P-18	Sugaya, Tsukiko	1P-13
			2O1-1		2P-19	Sugihara, Hiroyuki	1P-47
	R		1DJ2-1		2P-20	Sugio, Shouta	2O1-3
Rasband, Matthew N.	2O4-2	Sato, Naoki					2DJ1-4
Reis, Inês dos	1P-37	Sato, Seita	2P-15	Shimada, Hirotaka	2P-51		
Ren, Zhaoxiang	2P-65	Sato, Tatsuya	1P-29	Shimauchi, Hiroya	1P-28	Sugiura, Hiroko	2P-17
Roboon, Jureepoon	2O2-5	Sato, Tetsuo	2S5-1	Shimizu, Kazuya	1P-50		2P-23
		Sato, Tokiharu	2S6-3	Shimizu, Shoko	3S4-5	Sugiyama, Sayaka	2S9-4
	S	Sato, Toshinori	2P-47	Shimizu, Takahiro	2P-38	Sui, Yang	2P-37

氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号
Suzuki, Keiko	2O4-1		1P-20	Tochitani, Shiro	2S3-1		1P-54
Suzuki, Mariko	1O2-4		2P-28	Tohyama, Masaya	3S4-5	Uno, Kyoussuke	1P-57
Suzuki, Naho	1P-34		2P-29	Tokuda, Takahiko	2S8-2	Urano, Eriko	1P-17
Suzuki, Satoko	1O1-3		2P-53	Tokumitsu, Ayako	1P-22	Urrutia, Pamela	2P-25
	2P-14	Takei, Koki	1P-50	Tokumoto, Yasuhito	3O2-4	Usui, Noriyoshi	1S9-4
Suzuki, Tatsuo	1O1-2	Takei, Nobuyuki	2P-22	Tomida, Tatsuro	2P-16	Utaka, Yuta	1S8-3
Suzuki, Toshiharu	2DJ2-7	Takemiya, Takako	1P-49	Tominaga, Keiko	2P-17	Uwano, Ikuko	1P-45
Suzuki, Yuka	2P-12	Takemoto-Kimura, Sayaka	1DJ2-5	Tomioka, Naoko H	1O1-4	Uzita, Kouichi	2P-58
	3O1-2		3O3-1	Tomita, Hiroaki	3S6-1		
Suzuki, Yusuke	2P-51	Takemura, Ryo	2P-50	Tomiyama, Takami	2S8-3		
	2P-57	Takeuchi, Haruki	1DJ2-4	Tomoaki, Shirao	1P-06	Wada, Keiji	1LC
	2P-58	Takeuchi, Kosei	2S9-3	Tomoshige, Sakura	2P-05		2S5-1
		Takimoto, Hiroaki	1P-34	Tonomura, Sotatsu	1P-51	Wada, Naoyuki	2P-24
		Takubo, Keiyo	3O2-4	Toriwara, Hidetsugu	1P-15	Wakamori, Minoru	1DJ4-2
		Takuma, Kazuhiro	1P-48	Toriuchi, Kohki	1DJ4-6	Wake, Hiroaki	1S8-4
Tabata, Hidenori	1O2-4	Takumi, Toru	2S7-3	Toyoda, Atsushi	2S3-4		3S4-3
	2DJ2-3	Tamada, Atsushi	2S6-1	Tozaki-Saitoh, Hidetoshi	2S5-4	Wanaka, Akio	1P-36
	2P-27	Tamaki, Akira	1P-51	Tsuboi, Misato	2P-50		1P-42
Tabuchi, Akiko	2O3-5	Tamaki, Shinpei	3O2-4	Tsuda, Makoto	1DJ4-3		1LC
Tachibana, Daiki	2DJ1-7	Tamaru, Teruya	1P-53		2S5-4	Wang, Cheng-Kun	1DJ2-2
Tachibana, Shin	2P-50	Tamii, Toru	2P-08	Tsuda, Masaaki	2O3-5	Wang, Shuang	1S7-4
Tago, Megumi	2DJ2-7	Tamura, Hideki	1DJ1-1	Tsuji, Chiharu	2P-54		1DJ3-2
Taguchi, Akihiro	3O2-3	Tamura, Hiroomi	2DJ2-7		3O1-4	Wang, Yi	1S7-4
Taira, Eiichi	1P-45	Tamura, Tetsuya	1DJ4-6		3O4-3		1DJ3-2
Takahashi, Kanako	1P-24	Tan, Chao	1DJ3-1	Tsuji, Erika	2O2-3	Watanabe, Chisato	1O2-4
Takahashi, Kaori	1DJ4-2	Tan, F C-K	1S4-3	Tsuji, Takahiro	3O1-4	Watanabe, Chizuko	1P-03
Takahashi, Kohei	2P-59	Tan, J Y-Y	1S4-3		3O4-3	Watanabe, Jun	2O4-3
Takahashi, Masayuki	2S5-1	Tanabe, Mitsuo	1P-24	Tsujiai, Maiko	1O2-2	Watanabe, Masahiko	2P-39
Takahashi, Miyuki	2P-03	Tanabe, Wataru	2P-52	Tsukiyama, Tomoyuki	3S1-1	Watanabe, Yuichiro	2O3-4
Takahashi, Saki	1P-35	Tanaka, Akihiro	1P-56	Tsurifune, Taiga	1P-35	Wilar, Gofarana	2P-67
Takahashi, Shin-Ichiro	2P-56	Tanaka, Hidekazu	2P-17	Tsutsui, Masato	1P-41	Wisessmith, Wilaiwan	2P-38
Takahashi, Takuya	2DJ2-4		2P-23	Tsutsumi, Nobuyuki	2S5-1	Wong, P T-H	1S4-3
	2DJ2-5	Tanaka, Junya	1P-07	Tuerde, Dilina	1DJ2-3	Wu, K.L.K.	1S4-1
Takahashi, Tetsuya	1DJ3-7		2S4-3				
Takahata, Ibuki	3O1-1	Tanaka, Kenji	2S2-2		U		X
Takamatsu, Ken	1P-53	Tanaka, Kenji F	2O2-2	Uchida, Chiaki	1P-51	Xiang, Ping	2P-64
Takamura, Hironori	2O4-2		2P-38		2P-11	Xie, Min Jue	1P-46
	2P-18	Tanaka, Masami	1O1-3	Uchida, Mizuki	2DJ2-1	Xie, Min-Jue	1P-09
	2P-19	Tanaka, Motoki	1P-12	Uchino, Yukiko	1P-38	Xu, Cenglin	1S7-4
Takanaka, Yuko	2P-50	Tanaka, Shigeru	2O1-2	Uchiyama, Keiji	3S5-3	Xu, Ceng-lin	1DJ3-2
Takano, Katsura	2O2-1	Tanaka, Tatsuhide	1P-36	Ueda, Takashi	1P-32	Xu, Zhenghao	1S7-4
	2P-43		1P-42	Ueda, Yuto	1DJ3-5		
Takano, Tetsuya	1S9-1	Taniguchi, Masayuki	2DJ2-6	Ueno, Susumu	1S3-5		Y
Takarada, Mika	1P-19	Tan-No, Koichi	2P-59		2P-09	Yabe, Takeshi	2P-50
Takarada-Iemata, Mika	2O2-5	Tao, Rongrong	1DJ2-2		2P-10	Yabuki, Yasushi	1O1-1
	3S4-2	Tashima, Ryoichi	2S5-4		2P-15		1DJ3-4
Takase, Masahiro	1P-24	Tatsumi, Kouko	1P-36		2P-16		2DJ1-3
Takaya, Hirokazu	2P-28		1P-42	Ueyama, Tomoe	2P-35		3O1-1
Takaya, Hironobu	2P-23	Terao, Yasuo	1P-33	Ugawa, Shinya	1P-32		3O3-2
Takebayashi, Hirohide	2S2-3	Terauchi, Akiko	1P-02		2S5-3	Yagi, Hideshi	1P-09
	2P-41	Thai, Quynh Truc	2P-37	Ujike, Ayako	2P-01	Yagi, Naoto	1S6-3
Takebe, Arisa	2P-63		2P-39	Ujita, Koichi	2P-51	Yagura, Kazumichi	2O4-3
Takechi, Kenshi	1P-56	Thai, Truc Quynh	2S5-3		2P-57	Yamada, Hideomi	1P-11
Takeda, Tetsuya	3S5-1		2P-61	Umeda, Tomohiro	2S5-2	Yamada, Hiroshi	3S5-1
Takei, Kohji	3S5-1	Tiba, Kirari	2P-63	Uno, Kyosuke	1DJ2-1	Yamada, Kazuyuki	1O1-4
Takei, Kohtarō	1DJ4-1	Tiong, Sheena YX	2O1-1		1P-52	Yamada, Kiyofumi	1P-12

氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号	氏名	演題番号
Yamada, Takafumi	1P-34		2O3-2	Yoshida, Sachiko	1S3-2	Zang, Yihai	1S7-2
Yamagata, Kanato	1P-49	Yamashita, Yasuka	3S5-1		2P-09	Zhai, Yun	1S7-1
	2P-17	Yamato, Shogo	2P-04		2P-10	Zhu, Danyan	1S7-2
	2P-23		2P-05		2P-15	Zou, Kun	2P-02
Yamagata, Takanori	2S7-2	Yamauchi, Junji	1P-50		2P-16		2P-63
	3S3-1		3S4-4	Yoshida, Saori	1P-47	Zurzolo, Chiara	1S1-3
Yamagishi, Satoru	1P-19	Yamauchi, Masanori	2P-08	Yoshida, Shigetaka	1P-42		
Yamaguchi, Arisa	1P-14	Yamazaki, Hiroyuki	1P-21		2O3-1	い	
Yamaguchi, Kazuhiro	1O1-4	Yamazaki, Reiji	2P-40		2DJ1-5	伊集院 敏	3LC3
Yamaguchi, Keiichi	2P-49	Yamazaki, Yoshihiko	2S2-2		3O1-2		
Yamaguchi, Natsumi	2P-23	Yamazoe, Ryosuke	2P-26	Yoshida, Takashi	1DJ4-2	し	
Yamaguchi, Soichiro	2P-01	Yanagida, Kanta	3O2-6	Yoshikawa, Akane	2P-13	下井 昭仁	3LC1
	2P-44	Yanai, Kazuhiko	2P-07	Yoshikawa, Takeo	1O1-4		
Yamaguchi, Taro	1P-23		2P-08		2P-07	た	
Yamaguchi, Yasunari	1S4-2	Yanai, Shuichi	1DJ1-3		2P-08	武田 篤	2LC1
Yamaguchi, Yoshihide	1P-38	Yanaoka, Daigo	1P-34	Yoshimi, Akira	2DJ2-1		
	2P-40	Yano, Hajime	2S4-3	Yoshimura, Airi	1O2-2	は	
	3O2-3	Yano, Tetsuya	1O2-5	Yoshimura, Akihiko	2O3-3	長谷川 節雄	3LC1
Yamamori, Saori	1P-13	Yasuda, Hiroki	1O1-4	Yoshimura, Mana	1O2-5	長谷川 隆文	1LC1
Yamamoto, Fumiya	2DJ2-1	Yasuda, Masaharu	1S5-2	Yoshimura, Takeshi	2O4-2		
Yamamoto, Hanako	2P-21	Yasuda, Shin	2P-17		2P-18	ひ	
Yamamoto, Hideyuki	1P-15		2P-23		2P-19	東島 仁	1LC2
Yamamoto, Kaede	2P-17	Yasuhiro, Kono	1P-56		2P-20		
Yamamoto, Seiya	2P-41	Yasuno, Fumihiko	2P-45	Yoshimura, Yumiko	3S4-3	ふ	
Yamamoto, Toshiyuki	2S7-1	Yasutomi, Yasuhiro	2O4-1	Yoshioka, Katsuji	2S6-3	福永 浩司	2LC2
Yamamoto, Yasuhiko	3S4-2	Yoda, Yuya	2P-12	Yoshioka, Nozomu	2DJ2-2		
Yamanaka, Koji	1S2-2	Yokogawa, Kentarou	2DJ2-6	Yoshioka, Yusaku	2S4-4	も	
Yamasaki, Ryo	1DJ3-6	Yokoyama, Shigeru	2P-48	Yoshitane, Hikari	1P-53	森田 匡彦	2LC2
Yamasaki, Shota	1P-56		2P-54	Yukawa, Takayuki	2O3-4		
Yamashita, Fumio	1P-45		2P-69	Yunxiang, Luo	1S7-2	よ	
Yamashita, Toru	1S7-1	Yoneda, Yukio	1O2-2			吉川 雄朗	3LC2
Yamashita, Toshihide	1DJ4-1	Yoneyama, Masanori	1P-23	Z			
	1P-40	Yoshida, Keitaro	2O2-2	Zamami, Yoshito	1S8-3		

謝 辞

本大会を開催するにあたり、下記の企業および団体から多大なご支援をいただきました。

(50 音順)

◆助成

公益財団法人仙台観光国際協会 公益財団法人永井記念薬学国際交流財団
公益財団法人ブレインサイエンス振興財団

◆寄附

旭化成ファーマ株式会社	あすか製薬株式会社	アステラス製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社	アルフレッサ ファーマ株式会社	医療法人社団 明心会 あおば病院 (宮本 英七 先生)
栄研化学株式会社	エーザイ株式会社	エスエス製薬株式会社
MSD 株式会社	エルメッドエーザイ株式会社	大塚製薬株式会社
株式会社大塚製薬工場	株式会社 otobe	小野薬品工業株式会社
科研製薬株式会社	キッセイ薬品工業株式会社	杏林製薬株式会社
協和発酵キリン株式会社	有限会社熊谷重安商店	グラクソ・スミスクライン株式会社
クラシエ製薬株式会社	興和株式会社	佐藤製薬株式会社
サノフィ株式会社	沢井製薬株式会社	参天製薬株式会社
株式会社三和化学研究所	塩野義製薬株式会社	株式会社 セイミ
ゼリア新薬工業株式会社	仙台和光純薬株式会社	全薬工業株式会社
第一三共株式会社	大正製薬株式会社	大日本住友製薬株式会社
大鵬薬品工業株式会社	武田薬品工業株式会社	田辺三菱製薬株式会社
中外製薬株式会社	株式会社ツムラ	帝人ファーマ株式会社
テルモ株式会社	トーアエイヨー株式会社	東和薬品株式会社
富山化学工業株式会社	鳥居薬品株式会社	株式会社 南部医理科
日本化学薬株式会社	日本ケミファ株式会社	日本新薬株式会社
日本製薬株式会社	日本臓器製薬株式会社	日本たばこ産業株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	ニプロ株式会社	ニプロファーマ株式会社
ノバルティス ファーマ株式会社	バイエル薬品株式会社	ファイザー株式会社
扶桑薬品工業株式会社	ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社	丸石製薬株式会社
マルホ株式会社	株式会社ミノファーゲン製薬	Meiji Seika ファルマ株式会社
持田製薬株式会社	株式会社ヤクルト本社	ロート製薬株式会社
わかもと製薬株式会社		

◆ランチョンセミナー

味の素株式会社	アッヴィ合同会社	株式会社イナリサーチ
協和発酵バイオ株式会社	田辺三菱製薬株式会社	ファルマシュプール株式会社

文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究 (研究領域提案型) 多様な「個性」を創発する脳システムの統合的理解
ライカマイクロシステムズ株式会社

◆機器展示

キッセイコムテック株式会社	有限会社 メルクエスト
---------------	-------------

◆書籍展示

アイエ書店株式会社

◆広告

株式会社インターメディカル エッペンドルフ株式会社

国立研究開発法人日本医療研究開発機構、脳科学研究戦略推進プログラム

仙台和光純薬株式会社

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 バイオリサーチセンター株式会社

室町機械株式会社

東北化学薬品株式会社

学会からのお知らせ

1. 2017 年度理事会役員

理事長	和田 圭司 (国立精神・神経医療研究センター)
副理事長	島田 昌一 (大阪大学)
庶務担当理事	小泉 修一 (山梨大学)
会計担当理事	馬場 広子 (東京薬科大学)
出版・広報担当理事	澤本 和延 (名古屋市立大学)
理 事	味岡 逸樹 (東京医科歯科大学)
	木山 博資 (名古屋大学)
	工藤 喬 (大阪大学)
	佐藤 真 (大阪大学)
	仲嶋 一範 (慶應義塾大学)
	新田 淳美 (富山大学)
	尾藤 晴彦 (東京大学)
	等 誠司 (滋賀医科大学)
	森 則夫 (福田西病院)
	和中 明生 (奈良県立医科大学)
監 事	熊倉鴻之助 (内閣府食品安全委員会)
	御子柴克彦 (理化学研究所)

各委員会委員長

将来計画委員会委員長

橋本 亮太 (大阪大学)

出版・広報委員会委員長

澤本 和延 (名古屋市立大学)

シンポジウム企画委員会委員長

佐藤 真 (大阪大学)

国際対応委員会委員長

和中 明生 (奈良県立医科大学)

研究助成金等候補者選考委員会委員長

尾藤 晴彦 (東京大学)

脳研究推進委員会委員長

白尾 智明 (群馬大学)

優秀賞・奨励賞選考委員会委員長

道川 誠 (名古屋市立大学)

連合大会・多分野交流委員会委員長

木山 博資 (名古屋大学)

ダイバーシティ推進委員会委員長

東田 千尋 (富山大学)

利益相反委員会委員長

工藤 喬 (大阪大学)

ブランディング委員会委員長

今泉 和則 (広島大学)

臨床連携委員会委員長

望月 秀樹 (大阪大学)

2. 評議員会

日 時：9月8日（金）12：20～13：00

会 場：仙台国際センター A会場2階（大ホール）

議 題：「学会の活性化 ― 新設委員会に期待する役割 ―
（連合大会・他分野交流委員会、臨床連携委員会、ブランディング委員会）」

3. 総会

日 時：9月8日（金）13：00～14：10

会 場：仙台国際センター A会場2階（大ホール）

議 題：1. 理事長報告
2. 選挙結果報告
3. 庶務報告
4. 会計報告
5. 出版・広報報告
6. 各種委員会報告
①将来計画委員会
②国際対応委員会
③出版・広報委員会
④研究助成金等候補者選考委員会
⑤シンポジウム企画委員会
⑥脳研究推進委員会
⑦連合大会・多分野交流委員会
⑧ダイバーシティー推進委員会
⑨利益相反委員会
⑩ブランディング委員会
⑪臨床連携委員会
7. 2017年度優秀賞・奨励賞選考結果報告
8. 2016年度決算の件
9. 同監査報告
10. 2018年度予算の件
11. 監事選任の件
12. 評議員選任の件
13. 名誉会員推薦の件
14. 功労会員推薦の件
15. 会則・細則改定の件
16. 次期大会の件
17. その他

4. 各種委員会

●研究助成金等候補者選考委員会

日 時：9月7日（木）12：45～13：30「2階小会議室4」

●利益相反委員会

日 時：9月7日（木）12：00～13：30「3階小会議室6」

●ブランディング委員会

日 時：9月7日（木）13：30～15：00「2階小会議室4」

●ダイバーシティー推進委員会

日 時：9月7日（木）15：00～16：30「2階小会議室4」

●臨床連携委員会

日 時：9月7日（木）15：30～16：30「3階小会議室6」

●脳研究推進委員会

日 時：9月8日（金）9：00～10：30「2階小会議室4」

●国際対応委員会

日 時：9月8日（金）10：30～12：00「2階小会議室4」

●優秀賞・奨励賞選考委員会

日 時：9月8日（金）15：00～16：00「2階小会議室4」

●将来計画委員会

日 時：9月8日（金）16：30～18：00「2階小会議室4」

●第61回大会シンポジウム委員会

日 時：9月8日（金）18：00～19：00「2階小会議室4」

●連合大会・多分野交流委員会

日 時：9月9日（土）9：00～10：30「2階小会議室4」

●出版・広報委員会

日 時：9月9日（土）10：30～12：00「2階小会議室4」

●シンポジウム企画委員会

日 時：9月9日（土）12：00～13：30「2階小会議室4」

5. 理事会企画公開シンポジウム

日 時：9月9日（土）9：00～11：30

会 場：仙台国際センター A会場2階（大ホール）

タイトル：最先端のゲノム編集技術と次世代疾患モデル動物研究

座 長：等 誠司（滋賀医科大学）

シンポジスト：相田知海（東京医科歯科大学），真下知士（大阪大学），河崎洋志（金沢大学），
依馬正次（滋賀医科大学），岡野栄之（慶應義塾大学）

6. ISN/JSN Joint Symposium

日 時：9月7日（木）9：00～11：30

会 場：仙台国際センター A会場2階（大ホール）

タイトル：Interneuron transmission of cytoplasmic disease proteins;
the molecular mechanism and pathology

座 長：野中 隆（東京都医学総合研究所），久永真市（首都大学東京大学院）

シンポジスト：野中 隆（東京都医学総合研究所），井口洋介（名古屋大学），長谷川隆文（東北大学），
Laura Blair (USF Health Byrd Institute), Chiara Zurzolo (Pasteur Institute)

7. APSN/JSN Joint Symposium

日 時：9月7日（木）14：00～16：00

会 場：仙台国際センター A会場2階（大ホール）

タイトル：The new aspects of neurotransmitters and receptors in neuropsychiatric disorders

座 長：和中 明生（奈良県立医科大学）

シンポジスト：Andrew Lawrence (University of Melbourne),
Chan Ying Sing (The University of Hong Kong),
Chian-Ming Low (National University of Singapore),
Sohei Kimoto (Nara Medical University School of Medicine)

8. JSN-JPS 若手

日 時：9月7日（木）16：10～18：10

会 場：仙台国際センター B会場2階（橘）

タイトル：次世代・その次の世代へ：日本神経化学会－日本薬理学会若手研究者合同シンポジウム

座 長：塩田倫史（岐阜薬科大学）、和氣弘明（神戸大学）

シンポジスト：和氣弘明（神戸大学）、橋川成美（岡山理科大学）、定方哲史（群馬大学）、小山隆太（東京大学）

9. 若手育成セミナー出身者による次世代シンポジウム①

日 時：9月7日（木）16：10～18：10

会 場：仙台国際センター C会場2階（萩）

タイトル：メカニズム・分子

座 長：臼井紀好（福井大学）、平山友里（山梨大学）

シンポジスト：臼井紀好（福井大学）、平山友里（山梨大学）、高野哲也（名古屋大学）、井上直紀（大阪大学）

10. 若手育成セミナー出身者による次世代シンポジウム②

日 時：9月8日（金）14：10～16：10

会 場：仙台国際センター B会場2階（橘）

タイトル：生理・疾患

座 長：藤原悠紀（国立精神・神経医療研究センター）、梅田知宙（大阪市立大学）

シンポジスト：高露雄太（九州大学）、藤原悠紀（国立精神・神経医療研究センター）、
松本真実（名古屋市立大学）、梅田知宙（大阪市立大学）

11. 第4回日本神経化学会優秀賞授賞講演

日 時：9月8日（金）11：10～11：50

会 場：仙台国際センター B会場2階（橘）

座 長：道川 誠（優秀賞・奨励賞選考委員会委員長／名古屋市立大学）

12. 2017年度優秀賞・奨励賞表彰式

日 時：9月8日（金）13：00～14：10

会 場：総会（仙台国際センター A会場2階（大ホール））

13. 第3回（2016年）優秀賞受賞者企画シンポジウム

日 時：9月8日（金）16：20～18：20

会 場：仙台国際センター B会場2階（橘）

タイトル：オリゴマー仮説に基づいて神経変性疾患の病態を考える

座 長：小野賢二郎（昭和大学）、岡野栄之（慶應義塾大学）

シンポジスト：小野賢二郎（昭和大学）、富山貴美（大阪市立大学）、徳田隆彦（京都府立医科大学）、
岡野栄之（慶應義塾大学）

14. 連合大会・多分野交流委員会企画シンポジウム

日 時：9月9日（土）13：10～14：10

会 場：仙台国際センター D会場3階（白樺）

タイトル：神経伝達物質受容体の生理機能解明に迫るケミカルバイオロジー新技術

座 長：木山博資（連合大会・多分野交流委員会委員長／名古屋大学）

シンポジスト：清中茂樹（京都大学）

15. 第10回（2017年）神経化学若手研究者育成セミナー

日本神経化学会では、未来の神経化学を支える人材の養成を目指し、神経化学の若手研究者育成セミナーを大会に併せて開催しております。これまでのセミナーでは、第一線で研究に携わる講師陣が、最新の研究内容や実験手法、さらには研究者としての心構えなどについて熱心に講義し参加者と討論されてきました。神経化学会は深く討論することを重視する伝統がありますが、本セミナーでもこの伝統が受け継がれています。

開催期間：2017年9月7日（木）～9月9日（土）

開催場所：仙台国際センターおよび天龍閣（宿泊旅館）

講師・講義タイトル（予定）

グループ	講師	総合講義タイトル	講義タイトル	チューター
A	松井 広 (東北大学)	脳を正確に見る・ 操作する	プラトンの洞窟からの脱出： オプトジェネティクスの光と影	中澤 瞳 (旭川医大)
	大野 伸彦 (生理学研究所)		かたちをみることの楽しさと 難しさ	
B	七田 崇 (東京都医学総合 研究所)	脳を守る	脳梗塞と炎症 ～炎症は敵か？味方か？～	坂本 雅行 (東京大学)
	山下 俊英 (大阪大学)		中枢神経回路の修復の メカニズムと治療法の確立	
C	林（高木）朗子 (群馬大学)	脳神経系の発生と 病理	ブレイクスルーの裏側から 見たシナプス研究 ～君にも出来る大発見～	田辺 章吾 (大阪大学)
	森 康治 (大阪大学)		医学生として、大学院生として、 留学生として、PIとして、そし て精神科医として	
D	望月 秀樹 (大阪大学)	臨床研究から脳へ	ある臨床医の研究の取り組みに ついて	木村 妙子 (放医研)
	加藤 隆弘 (九州大学)		心を分子細胞レベルで理解する 試みの限界と意義 —精神疾患のニューロン・グリ ア橋渡し研究	
E 【ダイバーシティ 推進委員会企画】	大隅 典子 (東北大学)	キャリアについて 考えよう！	キャリアパスのための小さな ヒント	津山 淳 (都医学総合研)
	味岡 逸樹 (東京医科歯科大学)		マイノリティーを恐れず、 個性を貫くキャリアプラン	

開催日程（予定）：

9月7日（木）：18時30分：集合（集合後、説明会を実施）

19時～21時：セミナー受講（グループA-Eにて実施）

21時頃：セミナー終了後、天龍閣（宿泊先）に移動

22時頃：フリーディスカッション（サイエンストーク）を予定

9月8日（金）：起床後、朝食

朝食後、学会参加

18時30分～20時：学会懇親会（セミナー参加者は参加費無料）

学会懇親会終了後、天龍閣（宿泊先）に移動

21時頃：若手育成セミナー10周年企画を実施

その後、フリーディスカッション（サイエンストーク）を予定

9月9日（土）：起床後、朝食

朝食後、学会参加し、終了

世話人：

大会長	福永 浩司	東北大・院薬
世話人代表	小泉 修一	山梨大・院医
世話人副代表	森口 茂樹	東北大・院薬
世話人（順不同）	橋本 亮太	大阪大・院医 /5 大学連合大学院小児発達
〃	田中 謙二	慶應大・医
〃	株田 智弘	国立精神・神経医療研究センター
〃	藤原 悠紀	国立精神・神経医療研究センター
〃	斎藤 敦	広島大・院医
〃	牧之段 学	奈良医大
〃	加藤 隆弘	九州大・院医
〃	照沼 美穂	新潟大・院歯
〃	吉村 武	大阪大・連合小児
〃	宝田 美佳	金沢大・院医
〃	河田 美穂	星薬科大
〃	中澤 瞳	旭川医大
〃	小野賢二郎	昭和大・医
〃	村松里衣子	大阪大・院医
〃	池中 建介	大阪大・院医
〃	平山 友里	山梨大・院医

お問い合わせ先：

世話人代表 小泉 修一 (skoizumi@yamanashi.ac.jp)

世話人副代表 森口 茂樹 (shigeki@m.tohoku.ac.jp)

大会当日のお問い合わせは、仙台国際センター内の学会本部までお願いいたします。

理事会議事録

2017 年度第 1 回理事会議事録

日 時：2017 年 3 月 31 日（金）13：00～17：30

会 場：（一財）国際医学情報センター第 5 会議室

出 席：理 事）今泉和則（理事長）、白尾智明（副理事長・脳研究推進委員会委員長）、島田昌一（庶務担当）、馬場広子（会計担当）、澤本和延（出版・広報担当）、竹林浩秀（シンポジウム企画委員会委員長）、久永眞市（国際対応委員会委員長）、和田圭司（将来計画委員会委員長）、塩坂貞夫、橋本均、南雅文、和中明生、木山博資（連合大会委員会委員長、新理事）、仲嶋一範（利益相反委員会委員長、第 61 回大会会長、新理事）、小泉修一、佐藤真、工藤喬（以上、新理事）

監 事）御子柴克彦、熊倉鴻之助

委員長）佐藤薫（研究助成金等候補者選考委員会）

オブザーバー）矢吹悌（第 60 回大会会長福永浩司代理：大会事務局長）、武井延之（評議員）

委任状：理 事）岡野栄之、森則夫、道川誠（優秀賞・奨励賞選考委員会委員長）、尾藤晴彦（新理事）

欠 席：委員長）野田百美（ダイバーシティ推進委員会）

本会開催の前に、第 14 報告議題に関し福永浩司第 60 回大会会長の代理として矢吹悌同大会事務局長が、また第 9 及び第 10 審議議題に関し武井延行評議員が、オブザーバーとして本会に出席している旨伝えられた。

議 題

【報告事項】

1. 2016 年度第 2 回理事会議事録承認について

今泉和則理事長より、先般持ち回り審査を行い、承認が得られている旨報告があった。

2. 理事改選結果報告

2017 年 2 月 2 日に開票された理事選挙結果について、橋本均選挙管理委員会委員長より報告があった。

3. 役職理事・補充理事・各種委員会委員長の選出

◆理事長・副理事長について

2017～2019 年度理事（欠席理事、補充理事除く）10 名による投票及び審議の結果、理事長に和田圭司理事、副理事長に島田昌一理事が選出された（任期は 2019 年第 1 回理事会開催迄）。

◆役職理事について

審議の結果、各担当理事を以下の通り選出した。

庶務担当：小泉修一理事

会計担当：馬場広子理事

出版・広報担当：澤本和延理事

◆補充理事選任について

得票数、専門分野及び地域性等を考慮し、審議の結果、下記の通り補充理事候補者を選出した。

味岡逸樹氏

新田淳美氏

等誠司氏 以上（50 音順）

◆各種委員会委員長について

各種委員会委員長の選出については、新理事長に一任となった。

4. 次期監事候補者の選出

審議の結果、次期監事候補者（任期は 2017 年度総会終了時～2021 年度総会終了時）を以下の通り選出した。
（50 音順）

田代朋子氏

遠山正彌氏

5. 理事長報告

今泉和則理事長より、和中明生理事に対応いただいている ISN-APSN 2021 の日本誘致については 2017 年 1 月に申請を済ませ、現在は 2017 年 8 月開催の ISN パリ大会にてプレゼンテーションを予定している。同誘致を成功させるべく、議場へ引き続きの協力を仰いだ。

また本会では、2019 年度日本神経化学学会大会について、日本神経科学会との合同大会とする際に予想される問題点を検討したいとし、忌憚のない意見を求める旨述べられた。

6. 庶務報告

島田昌一庶務担当理事より、以下の通り報告があった。

◆会員状況について

会員数動向を確認し、会員数はここ数年減少傾向にあるとした。

なお、ご逝去された物故会員 1 名（岸宗一郎氏）に対し黙祷が捧げられた。

◆除名について

年会費長期未納者（未納期間：2013 年度～）が報告され、2016 年 12 月 31 日付で 50 名に対し除名処理を行った。

◆評議員・功労会員の退会について

退会を希望していた 6 名の評議員及び、2 名の功労会員について慰留したところ、7 名は退会の意思が固く退会処理を行なったが、残り 1 名については功労会員としてご継続いただく旨了承を得ている。

◆賛助会員の退会について

退会を希望していた 2 社の賛助会員について、レノバサイエンス株式会社は破産のため退会処理を行った。

また、Meiji Seika ファルマ株式会社については工藤喬理事より留意の連絡をとっていただくこととなった。

7. 会計報告

馬場広子会計担当理事より、以下の通り報告があった。

◆年会費未納者数について

年会費未納者数については、資料より心当たりの年会費未納者がいた場合は連絡をお願いしたい。

特に、本年度中に未納が解消されない 2014 年からの長期未納者については、本年度末付で除名処理となる為、当該者へ連絡可能な理事会メンバーは本人へ納入喚起を行うこととした。

◆2016 年度税務申告について

税務申告について法人税 70,000 円のみ納めた。なお、消費税については、2014 年度の収益が 1 千万円以下であった為、その 2 年後となる 2016 年度は納税義務が発生しなかった。

◆2016 年度監査について

2017 年度 3 月 8 日午後 1 時より事務局内にて、2016 年度決算について御子柴克彦、熊倉鴻之助両監事によって会計監査が行われた。その結果、収支内容及び財政状況について正しく示されている旨認められた。

◆学会公務における交通費の実費支払いについて

2016 年 12 月 15 日付の持ち回り審議にて、本学会公務の際に発生した旅費精算につき、今回（2017 年度第 1 回理事会）より実費とすることが承認された。

8. 出版・広報報告

澤本和延出版・広報担当理事より、以下の通り報告があった。

◆機関誌『神経化学』について

2016 年 12 月末発刊第 55 巻 3 号では通常掲載内容とともに、「米国の研究制度の中で私の辿った路」として鈴木邦彦先生の寄稿を掲載した。

なお、前回より懸案となっている機関誌のペーパーレス化については、業社より相見積もりを取り、出版・広報委員会内で引き続き検討し、次回理事会で再度その検討内容を報告することとした。

また、投稿規程内の引用文献についての表記につき、現機関誌掲載内容との相違点があった為、現掲載内容に併せ投稿規程内表記の相違箇所を修正した。

◆大会抄録のHP掲載について

第59回日本神経化学学会大会抄録集は、当会ホームページへ既に掲載済である。

上記に関連し議場より、学会運営経費削減の折から前項での機関誌のペーパーレス化に関し、昨今は大会抄録やプログラム号についても電子版となり紙媒体より費用が軽減されていることから、それらの製作費については今後大会経費からの支出とする旨提案がなされたが、大会経費負担増の懸念も否めない為、同案については慎重に検討を行うこととなった。

9. 委員会報告

(1) 将来計画委員会

和田圭司委員長より、以下の通り報告があった。

◆若手の研究・学会活動の継続的支援について

現在若手育成セミナーの運営は当学会の大事な事業に成長したが、同セミナー参加以降も若手研究者同士が学会活動に参加し積極的に交流を図る場、また当学会の将来を担う人材を輩出する目的となる場として、若手の会（仮称）の設立について議論した。その結果、同会設立について賛同を得る反面、様々な意見があった。今後については、引き続き学会や大会内での若手研究者への支援について検討していきたい。

(2) 出版・広報委員会

澤本和延委員長より、以下の通り報告があった。

◆神経化学トピックスの掲載について

学会ホームページ上の神経化学トピックスページへ、以下の1件を新規掲載した。

・永井拓、黒田啓介、貝淵弘三（名古屋大学大学院医学系研究科）

「ドーパミンが快感を生み出す仕組み：リン酸化プロテオミクス解析による報酬シグナルの発見」

◆バナー広告掲載について

- ・1社より問い合わせがあった。なお、掲載の可否については第8審議議題にて行うこととする。
- ・学会ホームページへのアクセス数解析を実施している為、バナー広告申込み企業より問い合わせがあった際に役立てたいとする。
- ・バナー並びに機関誌広告募集については、今後は大会及び若手研究者育成セミナーに広告依頼の申請をした企業へ、大会終了後に学会への広告依頼をする提案がなされ、了承された。

◆学会60周年記念の論文出版について

日本神経化学学会60周年を記念して、Neurochemistry InternationalよりSpecial Issueが発行されることになり、Journal of Neurochemistryにおいては今泉和則理事長挨拶並びに会員5名の総説論文が同雑誌のホームページ上Virtual IssueにおいてArticle Seriesとして掲載中である。現時点では、学会ホームページへこれらのバナーを作成し、リンクを貼る予定としている。

[http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/\(ISSN\)1471-4159/homepage/60th_anniversary.html](http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/(ISSN)1471-4159/homepage/60th_anniversary.html)

◆二重投稿についての会員からの質問について

会員より二重投稿について問い合わせがあり、執行部で検討し回答した。

(3) シンポジウム企画委員会

竹林浩秀委員長より、以下の通り報告があった。

第60回日本神経化学学会大会における理事会企画シンポジウムについて、委員会にて討議した結果、以下の内容に決まった。

タイトル：「最先端のゲノム編集技術と次世代のモデル動物（仮）」

オーガナイザー：等誠司（滋賀医科大学）

シンポジスト：1. 相田知海（東京医科歯科大学 / MIT） オーバービュー&ゲノム編集

2. 真下知士（大阪大学）

ゲノム編集の新技術

- | | |
|-----------------|------------------|
| 3. 河崎洋志（金沢大学） | フェレットを用いたゲノム編集実験 |
| 4. 依馬正次（滋賀医科大学） | 遺伝子改変カニクイザルの現在 |
| 5. 岡野栄之（慶応大学） | 遺伝子改変マーマーモセット |

（敬称略、タイトルは全て仮のもの）

なお、上記シンポジウムは同大会第3日目となる9月9日（土）午前に開催し、大学生、大学院生、研究者へ無料開放とする為、広く告知すべくポスターを作成する旨補足した。

(4) 国際対応委員会

久永眞市委員長より、以下の通り報告があった。

◆ ISN 理事選について

次期 ISN 理事に小泉修一理事が当選した。その他当選された理事は Babette Fuss (USA)、Andrew Lawrence (Australia)、Alessandro Prinetti (Italy) の3名で、財務担当役員として Flavia Gomes (Brazil) が選出された。任期開始は 2017 年 8 月開催の ISN パリ大会よりとなる。

◆ ISN 2017 へのトラベルアワードについて

ISN 2017 へのトラベルアワードサポート人数は 5 名とする。（上限 10 万円 /1 名）

また引き続き、和中明生理事より以下について報告があった。

◆ JSN-APSN 合同シンポジウムについて

第 15 報告議題にて報告する。

◆ APSN-ISN Neuroscience School 開催について

第 60 回大会時に同大会の協力を得て開催予定としている。

◆ APSN について

APSN 2018 年大会開催地はマカオを予定しており、議場へ同大会への参加を促した。

(5) 研究助成金等候補者選考委員会

佐藤薫委員長より、以下の通り報告があった。

- ・ 2016 年 10 月から 2017 年 3 月における学会推薦公募案件について

公募案件は 4 件あった。そのうち公益財団法人山田科学振興財団については 9 件の応募があり、審議の上、2 件推薦することとなった。なお、学会より推薦した候補者については、事前に理事へメールにて報告している。

- ・ 2016 年 10 月から 2017 年 3 月までの推薦後の選考結果については、1 件の公募へ推薦をするも、残念ながらいずれも採択には至らなかった。

なお、学会推薦の公募を会員メール配信やホームページにて告知するも、応募件数が減少している為、是非学会推薦の機会を活かすよう、理事会メンバーからも周知をすることとした。

(6) 脳研究推進委員会

白尾智明委員長よりメール審議をおこなったが、詳細は第 10 報告議題にて報告するとした。

(7) 優秀賞・奨励賞選考委員会

道川誠委員長欠席の為、佐藤真委員より、以下の通り報告があった。

前回審査の際に、応募方法「1) 研究の概要」について委員会内で見直し、資料の通り修正することとした。なお、既に修正された応募様式が機関誌「神経化学 vol.56 no.1」に掲載されており、ホームページからも同様式がダウンロードできるようになっている。

(8) 連合大会委員会

木山博資委員長より特段の報告事項は無いとした。

(9) 利益相反委員会

仲嶋一範委員長より、以下の通り報告があった。

2014 年 9 月 30 日制定日本神経化学会利益相反指針は、2015 年 3 月 1 日から 2 年間で試験的施行期間としていたが、その期間を経た為、本会より正式に施行する。

なお、同指針に則り、新理事会メンバーは 2017 年 4 月 30 日までに利益相反状況申告書を事務局へ提出するよう促した。

(10) ダイバーシティー推進委員会

野田百美委員長欠席の為、馬場広子委員より、以下の通り報告があった。

第 60 回日本神経化学学会大会（仙台）で開催予定の若手育成セミナーにおいて、今回もダイバーシティー推進委員会企画を計画中である。今回のオーガナイザー味岡 逸樹委員及び大隅典子評議員（東北大学）に依頼している。

10. 脳科学関連学会連合について

白尾智明脳研究推進委員長より、以下の通り報告があった。

2016 年 10 月 17 日付持ち回り審議にて、脳科学関連学会連合脳科学将来構想委員会委員である以下の委員を、脳研究推進委員会の委員へ推挙したい旨審議され、承認された。

尾藤晴彦（東京大学大学院医学系研究科）

上記の他、同連合評議員会へ別学会より出席した仲嶋一範理事より、以下の通り補足があった。

日本学術会議第 23 期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン 2017）の重点大型研究計画 28 件に、同連合が中心となりまとめた「健康社会の創成に向けた多次元脳・生体イメージングセンターの構築：大規模ネットワーク解析によるヒトの知能の理解、革新的疾患予防・治療法開発・創薬に向けて」が採択され、5 月に文部科学省からの予算化に関するヒアリングを予定している。

11. 生物科学学会連合について

白尾智明委員長より特段の報告事項は無いとした。

12. 男女共同参画学協会連絡会について

野田百美ダイバーシティー推進委員長欠席の為、馬場広子同委員会委員より、以下の通り報告があった。

- ・シンポジウム 2017 年 3 月 22 日開催及び 2017 度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ募集についての連絡があった。
- ・男女共同参画学協会連絡会第 15 期第 2 回運営委員会が 2017 年 3 月 30 日に東京大学で開催され、池島（片岡）宏子委員が出席予定である。
- ・昨年に続き今年も『同連絡会企画『夏学（なつがく）』（「女子中高生夏の学校」）へ、本委員会から池島（片岡）宏子委員が参加予定である。

13. 第 60 回日本神経化学学会大会（2017 年度）について

福永浩司大会長欠席の為大会事務局担当の矢吹悌先生より、第 60 回日本神経化学学会大会について以下の通り報告があった。

< 第 60 回（2017 年度）大会開催 >

演題登録：2017 年 4 月 1 日より開始

参加登録：2017 年 4 月 1 日より開始

テーマ：神経・精神と化学の融合を目指して 60 年

会 期：2017 年 9 月 7 日（木）～9 日（土）

場 所：仙台国際センター

〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山 TEL: 022-265-2211

理 事 会：2017 年 9 月 6 日（水）13:00～17:00

総会・評議員会：2017 年 9 月 8 日（金）12:00～13:30 予定

上記の他、会期前日 2017 年 9 月 6 日（水）にサテライトシンポジウムを、また初日 2017 年 9 月 7 日（木）の 18 時より日本神経化学学会 60 周年記念パーティの開催を予定している。また、若手研究者育成セミナーについても今回 10 周年を迎える為、記念イベントを思案している。

前 59 回日本神経化学学会大会からの主な変更点は、若手道場の発表者は会員に限りたく、非会員で登録した場合はポスター発表となる点、そして演題登録の際に発表分類は設けていない点等となる。

また、言語について口頭発表は主に A 会場及び D 会場において英語とし、ポスター発表についても基本英語とするが日本語も可とする。

14. 第 61 回日本神経化学学会大会（2018 年度）について

仲嶋一範大会長より、第 61 回日本神経化学学会大会について以下の通り報告があった。

＜ 第 61 回（2018 年度）大会開催 ＞

会 期：2018 年 9 月 6 日（木）～8 日（土）

場 所：神戸国際会議場（及び必要に応じて周囲の施設）

〒 650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町 6-9-1 TEL：078-302-5200

大会テーマ：脳とその病いを成り立ちから理解する

Plenary Lecture：Paola Arlotta (Harvard)（内諾済）、Joshua Gordon (NIH)（内諾済）

使用言語についての方針：抄録は原則として英語とするが、特殊な事情がある場合に限り日本語も可とし、タイトルと名前／所属は日本語と英語を併記する。演題登録時に、口頭発表やポスター発表の言語は「英語」、「日本語」、「どちらも可」という三者からの選択にする。

15. 国際学会について

和中明生理理事より、以下の事項につき資料の通り報告があった。

◆ 2021 年国際神経化学学会・アジア太平洋神経化学学会合同大会について

ISN-APSN 2021 の開催地について、今年 8 月開催の ISN パリ大会にて各立候補地がプレゼンテーションを実施し決定となる。

なお、議場より、日本へ誘致する際のプレゼンテーション資料に盛り込む予算書へ、本学会特別会計からの支出とし、寄付金を増額する旨の提案がなされたが、同提案については必要に応じ理事会で審議する次第にて了承された。

◆ アジア太平洋神経化学学会入会手続きについて

APSN の入会手続きが、ホームページより入会申込書をダウンロードし、記入したのち申込み書面上に記載のある APSN 財務担当へ送る手続きとなった。また、学生会員は会費無料である為、奮って当学会の学生会員にも入会してほしいとした。

16. Neurochemistry International 誌 60 周年記念号の現状報告

和田圭司理事より、Neurochemistry International 誌 60 周年記念号について、資料の通り報告があった。

なお、米田幸雄評議員、澤本和延出版・広報担当理事、そして和田圭司理事を客員編集者とし、また現在の掲載数は総説 18 本、原著 18 本を予定しているとした。

17. その他

特になし。

【審議事項】

1. 名誉会員の推薦候補者について

島田昌一庶務担当理事より、候補者について年齢、経歴や当会への貢献度等を踏まえ、候補者として御子柴克彦監事、熊倉鴻之助監事が推薦され、審議の結果、総会への推薦が承認された。なお、この度の推薦に必要な推薦文の提出については、それぞれ今泉和則理事長、白尾智明副理事長よりご対応いただくこととした。

2. 功労会員の推薦について

島田昌一庶務担当理事より、1 名の評議員について功労会員候補者として総会への推薦する旨提議がなされ、承認された。

3. 新評議員の推薦について

島田昌一庶務担当理事より報告があり、審議の結果、3名について総会への推薦が承認された。

4. 2016 年度決算について

馬場広子会計担当理事より、2016 年度決算等について以下の通り報告があり、承認された。

◆ 2016 年度一般会計決算について

一般会計については、収入の部では入会者数の減少や賛助会員の退会により昨年に続き会費が減収となったが、第 59 回大会会計が大きく黒字となったことによる余剰金の繰り入れ等があった為、予算時より金額を上回る結果となった。また支出の部においても諸々経費削減を実施した為、その結果決算額としては約 55 万円の赤字となるも、昨年度決算時の赤字額より大きく抑えることができた。

◆ 第 59 回大会会計決算について

第 59 回大会会計については、収支報告が黒字となった為、和田圭司大会長に謝意が述べられた。

◆ 第 58 回大会会計決算について

第 58 回大会会計については、2015 年度決算時に精算案件が残っていた為に 2016 年度へ繰り越しとなったが、すべて同年度内に精算を終え、会計を締めた。

上記 2016 年度決算結果に鑑み、今後の学会運営について今泉和則理事長より、支出を抑える方針が変わりはないとするも収入を増やす努力を続けていくことが望ましいと意見が述べられた。

5. 理事選挙について

橋本均理事より、今年初めてオンラインによる理事選挙を実施し、実際の選挙運営に即すよう現行の選挙に関する細則第 2 章「役員、評議員、名誉会員」より以下の 3 条項について改定案が提出され、審議の結果、承認された。

第 4 条 1 項

< 現行 >

理事選挙は立候補制とする。立候補資格は評議員及び正会員とする。評議員の資格がない正会員は、会員歴 5 年以上かつ、会員歴 5 年以上の正会員 1 名以上の推薦がある場合のみ立候補できる。

< 改定案 >

理事選挙は立候補制とする。立候補資格は会費の滞納がない評議員及び正会員とする。評議員の資格がない正会員は、会員歴 5 年以上かつ、評議員または会員歴 5 年以上の正会員 1 名以上の推薦がある場合のみ立候補できる。

第 4 条 5 項

< 現行 >

4 項の立候補届出書の必要事項は、氏名、年齢、所属、職名と抱負を記載するものとする。

< 改定案 >

4 項の立候補届出書の必要事項は、氏名、年齢、所属、職名、略歴と抱負を記載するものとする。

第 4 条 20 項

< 現行 >

開票は選挙管理委員会が会員の中から委嘱した立会人のもとに行う。ただし会員は誰でも開票に立会うことが出来る。

< 改定案 >

開票は選挙管理委員よりの開票承認を得たのち学会事務局にて開票する。ただし会員は誰でも開票に立会うことが出来る。

6. 理事会参加役員構成について

島田昌一庶務担当理事より、今後の理事会参加役員の構成について、以下の通り提議がなされ、討議した。

1) 大会時に開催する場合

- ・ 理事、監事、大会長（今期、次期）、各委員会委員長が出席する。

2) 単独開催の場合

- ・理事、監事、大会長（今期、次期）が出席する。
- ・委員会委員長が理事会で直接説明する必要があると判断した案件に関しては、委員長自身が理事会に出席し説明する。
- ・委員会委員長自身が説明する必要はないと判断した案件に関しては、その委員会に所属する理事が代理で報告をする。このために、各委員会には少なくとも1名の理事を配置する。

その結果、上記に加え、理事以外の役員（委員長等）が理事会へ参加した際の守秘義務の取り扱いについて、理事長に一任とする旨明文化するよう提案がなされ、次回理事会時に次期庶務担当理事よりその文案を内規として提議することが了承された。

7. 文献データベース収録について

澤本和延出版・広報担当理事より、国立研究開発法人化学技術振興機構から同振興文献データベースにおける「日本神経化学学会大会（web）」並びに「神経化学（機関誌）」のコンテンツの利用許諾依頼があった旨報告があり、その許諾について審議をした。

その結果、文献検索システムに活用される際の諸注意を検証し、次回理事会で再度審議することが了承された。

8. バナー広告申請について

澤本和延出版・広報担当理事より、1社の企業よりバナー広告の申し込みがあった為、募集要項掲載の入稿手順に則り、まず出版・広報委員会で掲載の可否を審議し掲載可とみなした旨報告があった。

掲載の可否について審議の結果、バナー広告の収入源はある程度確保すべきであるという観点から、今回の申込企業のバナー広告は承認された。また、同バナー広告の掲載内容等を考慮し、今回の申込企業が次年度も広告の掲載を継続する場合は、その掲載料金について更なる交渉を行うこととした。

また、澤本和延出版・広報担当理事より、バナー広告の入稿手順について、現行は出版・広報委員会で掲載の可否を審議し理事会で決定する流れとなっているが、申し込みから掲載までの時間を短縮する為に、出版・広報委員会にて掲載の可否を審議し決定する旨提案がなされた。

しかしながら、審議の結果、時間短縮の為に理事会メール審議等を利用するとし、当面は現行のままとすることが承認された。

9. 今後の合同大会予定について

10. 第62回大会（2019年度）について

今泉和則理事長より、第9及び第10審議議題は関連案件となる為、同時に進める旨説明があり、続いて木山博資連合大会委員長より過去における合同大会の歴史と、現時点での合同大会における状況について報告があった。更にその報告より、2019年度第62回大会を日本神経科学学会との合同大会とする提案がなされた。

同提案を討議する前に、武井延之評議員より、同提案に関し合同大会開催とした際の具体的な会期並びに会場、そして合同開催に向け顕在化している具体的課題について説明があった。

会 期：2019年7月24日（水）～28日（日）

場 所：朱鷺メッセ

〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島6-1 TEL：025-246-8400

問題点：

- 1) 日本神経科学学会は3日+1日（公開講座等）を予定する為、当学会オリジナルプログラムは4日目とする。
- 2) 演題・参会登録システムは日本神経科学学会のオリジナルシステムを利用する。
- 3) プログラム編成に関してはプログラム委員に一任とする。
- 4) 発表演語は基本的に英語とする。

- 5) 抄録は日本神経科学学会のオリジナルシステム / フォーマットを利用する (タイトルのみ日 / 英併記抄録本文は英語)。
- 6) 収支金額割合の算出方法について等

討議ののち、今泉和則理事長より、2019 年度第 62 回日本神経化学会大会は日本神経科学学会と合同開催とする旨議場に諮られ、承認された。また併せて、合同大会の本学会大会長は那波宏之評議員 (新潟大学) とする次第についても承認された。

なお、上記問題点については引続き次回理事会にて審議することとした。

11. その他

特になし。

以上を以て、予定した全ての議事を終了し、本年度第 1 回理事会を閉じた。

次の第 61 回日本神経化学学会大会（神戸）のお知らせ

次回 2018 年第 61 回日本神経化学学会大会は、日本生物学的精神医学会と合同で、「脳とその病いを成り立ちから理解する」をテーマに下記の日程、場所で開催することになりました。

日 時：2018 年 9 月 6 日（木）～8 日（土）

場 所：神戸国際会議場

〒 650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1

TEL：078-302-5200

公募シンポジウムの募集は、2017 年仙台大会終了後の 9 月中に開始する予定です。

一般演題の登録は、2018 年 2 月より開始を予定しております。

詳しいご案内は、本学会ホームページ (<http://www.neurochemistry.jp/>) 及び大会ホームページ (<http://www.c-linkage.co.jp/jsbpjsn2018/>) に掲載予定です。

会員の皆様の積極的なご応募をお待ちいたしております。

なお、9 月 7 日（金）から隣接会場にてアジア太平洋地域生物学的精神医学会国際会議（WFSBP 2018 KOBE）が開催されますので、一部連携する予定であることを申し添えます。

第 61 回大会を成功させるため、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

第 61 回日本神経化学学会大会

会 長：仲嶋一範（慶應義塾大学医学部解剖学教室）

〒 160-8582 東京都新宿区信濃町 35

TEL：03-3353-1211、FAX：03-5379-1977、E-mail：kazunori@keio.jp

運営事務局：株式会社コンベンションリンクージ内

〒 102-0075 東京都千代田区三番町 2

TEL：03-3263-8688、FAX：03-3263-8693、E-mail：jsbpjsn2018@c-linkage.co.jp

学会掲示板

【助成・褒章案内】

公益財団法人 東レ科学振興会
第 58 回（平成 29 年度）東レ科学技術賞候補者推薦要領

候補者の対象：日本神経化学会が関与する分野で、下記のいずれかに該当する方

- (1) 学術上の業績が顕著な方
- (2) 学術上重要な発見をした方
- (3) 効果が大きい重要な発明をした方
- (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献した方

科学技術賞：1 件につき、賞状、金メダルおよび賞金 500 万円（2 件以内）

推薦者：東レ科学振興会指定の学協会代表者および東レ科学振興会指定の推薦委員（非公開）

候補者推薦件数：1 学協会から 2 件以内および 1 推薦委員から 1 件以内

推薦手続：所定の推薦書用紙に選考に必要な事項を正確に記載し、東レ科学振興会宛て 1 部ご送付願います。

日本神経化学会の推薦をご希望の方は、日本神経化学会研究助成金等候補者選考委員会宛てにご送付下さい。同委員会で選考の上、推薦候補者を決定致します。

推薦用紙等詳細はこちら >> http://www.toray-sf.or.jp/information/science_tech.html

推薦締切期日：平成 29 年 10 月 10 日（火）必着

日本神経化学会の推薦をご希望の方は平成 29 年 9 月 26 日（火）必着。

選考方法：下記委員からなる選考委員会において選考し、東レ科学振興会理事会で受賞者を決定します。

選考委員 清水孝雄（委員長）、榊 裕之、岡 眞、中野明彦、
松原英一郎、丸岡啓二、仲野 徹、雨宮慶幸、岩井一宏

選考結果は平成 30 年 2 月下旬に推薦者に通知します。

科学技術賞の贈呈：平成 30 年 3 月の予定

(注) a. 推薦を受けた候補者は、その年度および次の年度にわたって選考の対象としております。

b. 受賞者は、原則として 1 件 1 人としします。特に複数人であることを必要とする場合は理由を明確にしてください。

c. この科学技術賞は、所得税法（第 9 条第 1 項第 13 号ニ）の規定により非課税となっています。

公益財団法人 東レ科学振興会

第 58 回（平成 29 年度）東レ科学技術研究助成候補者推薦要領

候補者の対象：日本神経化学会が関与する分野で国内の研究機関において、自らのアイディアで萌芽研究に従事しており、かつ今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる若手研究者（原則として推薦時 45 才以下）。本助成が重要な研究費と位置づけられ、これにより申請研究が格段に進展すると期待されることが要件。

従来の研究の多くが海外で行われていても差し支えありません。

研究助成金：総額 1 億 3 千万円。1 件 3 千万円程度まで 10 件程度とします。

推薦者：東レ科学振興会指定の学協会代表者および東レ科学振興会の推薦委員（非公開）

候補者推薦件数：1 学協会から 2 件以内および 1 推薦委員から 1 件以内

推薦手続：所定の推薦書用紙に選考に必要な事項を正確に記載し、東レ科学振興会あて 1 部ご送付願います。

日本神経化学会の推薦をご希望の方は、日本神経化学会研究助成金等候補者選考委員会宛てにご送付下さい。同委員会にて選考の上、推薦候補者を決定致します。

推薦用紙等詳細はこちら >> <http://www.toray-sf.or.jp/information/grant.html>

推薦締切期日：平成 29 年 10 月 10 日（火）必着

日本神経化学会の推薦をご希望の方は 平成 29 年 9 月 26 日（火）必着。

選考方法：下記委員からなる選考委員会において、提出された書類により一次選考を行ったのち面接による二次選考を経て、東レ科学振興会理事会で決定します。

なお、二次選考は平成 29 年 12 月 23 日（予定）に行います。

選考委員 清水孝雄（委員長）、榊 裕之、岡 眞、中野明彦、

松原英一郎、丸岡啓二、仲野 徹、雨宮慶幸、岩井一宏

選考結果は平成 30 年 2 月下旬に推薦者（学協会の代表者および東レ科学振興会の推薦委員）に通知します。

研究助成金の贈呈式：平成 30 年 3 月の予定

（注）a. この研究助成金は、研究目的を達成するために有効に使用されるものであれば、どのような使途で申請されても結構です。ただし、原則として間接経費、管理経費、共通経費は助成の対象になりません。また、助成金受領決定後、その使途を変更される場合は、事前に当会の承諾を得ていただきます。

助成研究の期間は、特別の事情がない限り助成金受領決定の次年度から 3 年以内とします。

b. 助成金の受領者は、研究終了時まで毎年「助成研究年次報告書」を、また、研究終了時に、「助成研究終了報告書」を提出していただきます。

c. この助成金は、所得税法（第 9 条第 1 項第 13 号二）の規定により非課税となっています。

女性科学者に明るい未来をの会 第 38 回 (2017 年) 猿橋賞

1. 対 象：推薦締切日に 50 才未満で、創立の趣旨に沿って自然科学の分野で優れた研究業績を収めている女性科学者（ただし、日本に在住・在職で、かつ今後も国内で若手の育成に貢献できる人）
2. 表彰内容：賞状、副賞として賞金 30 万円、1 件（1 名）
3. 応募方法：推薦書は、当会のホームページ <http://www.saruhashi.net/> からダウンロードしたワードファイルに記入した後、PDF 形式で保存してください。
【記入事項】①推薦者（個人・団体、自薦も可）、受賞候補者の略歴
②推薦対象となる研究題目
③推薦理由（A4 記入用紙 1 ページに収まること）
④主な業績リスト（指定は 1 頁。やむを得ない場合でも追加は 1 頁まで。）
【添付資料】主な論文別刷 5 編以内。添付資料は PDF ファイルで作成して下さい。
【送付先】saruhashi2017@saruhashi.net
推薦書（PDF ファイル）にはパスワードを付け、添付資料の PDF ファイルと一緒に送付してください。推薦書のパスワードは別送付してください。
4. 締 切：2017 年 11 月 30 日（木）必着
日本神経化学会の推薦をご希望の方は 2017 年 11 月 16 日（木）必着
（本宛先は推薦書受付専用です。書類は、猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承下さい。）
5. 問い合わせ先：E-mail：saruhashi2017@saruhashi.net
※募集要項に変更がある場合は、猿橋賞ホームページ（<http://www.saruhashi.net/>）に掲載されますので、応募の際はホームページをご確認下さい。

公益財団法人山田科学振興財団 2020 年度 国際学術集会開催助成のご案内

援助の主旨及び内容：山田科学振興財団は、自然科学の基礎的分野における国際学術集会の主たる開催費を援助いたします。以下の要件を満たす学術集会を山田コンファレンスもしくは山田シンポジウムと称し、これらの開催を援助するために提案を募集します。

- 1) 基礎科学の適切なテーマについて、国際的視野で最高レベルの研究の現状を総括する。
- 2) 基礎科学研究者の世代間の対話によって、若い世代の研究の発展の基礎を構築する。
- 3) 基礎科学の異分野間の交流を図り、cross disciplinary な討論を通じて、新しい発展を模索する。

応募者資格：応募者（主催責任者）の身分、経歴、年齢等は問いません。但し、日本の研究機関に所属する研究者であることが必要です。

助成金額：総額 800 万円以内

応募方法：山田科学振興財団ホームページにて「公募要項」をご覧の上、ご応募下さい。

http://www.yamadazaidan.jp/jigyo/bosyu_kokusai.html

募集期間：2017 年 4 月 1 日（土）～2018 年 2 月 23 日（金）必着

開催時期：2020 年度開催予定の国際学術集会

選考結果の通知：2018 年 8 月初旬にホームページにて発表

応募書類送付先及び連絡先：公益財団法人 山田科学振興財団 (Yamada Science Foundation)

〒544-8666 大阪市生野区巽西 1 丁目 8 番 1 号

電話 大阪 (06) 6758-3745 (代表)

公益財団法人 内藤記念科学振興財団
第 49 回（2017 年度） 内藤記念科学振興賞候補者推薦要領

趣旨：人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的領域において、進歩発展に顕著な功績のあった研究者に対して褒賞を授与するものである。

候補資格：1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において、独創的テーマに取り組み、進歩発展に顕著な功績を挙げた研究者。

2) 当該研究テーマの進展に今後も大きな成果を期待しうる研究者。

3) 候補者は単独とするが、異なる研究グループによる共同研究の場合には、連名であっても良い。

4) 候補者の再度の推薦は差し支えない。

5) 文化勲章受章者、文化功労者、学士院賞、学士院賞恩賜賞受賞者を対象としない。

推薦者：1) 下記 32 学会の代表者

高分子学会	日本獣医学会	日本農芸化学会
日本遺伝学会	日本植物生理学会	日本発生生物学会
日本ウイルス学会	日本神経科学学会	日本ビタミン学会
日本栄養・食糧学会	日本神経化学会	日本病理学会
日本解剖学会	日本生化学会	日本物理学会
日本化学会	日本生物工学会	日本分子生物学会
日本癌学会	日本生物物理学会	日本免疫学会
日本細菌学会	日本生理学会	日本薬学会
日本細胞生物学会	日本動物学会	日本薬理学会
応用物理学会	日本再生医療学会	日本分析化学会
日本バイオイメージング学会		
日本ケミカルバイオロジー学会		

2) 内藤記念科学振興財団の理事、監事および評議員

※推薦件数は、1 推薦者につき 1 件

推薦方法：内藤記念科学振興財団ホームページ「振興賞」に記載の順に従い推薦する。

日本神経化学会の推薦をご希望の方は、当会研究助成金等候補者選考委員会宛てにご送付下さい。

同委員会で選考の上、推薦候補者を決定致します。

締切日：2017 年 10 月 2 日（月）（内藤記念科学振興財団必着）

日本神経化学会の推薦をご希望の方は、2017 年 9 月 15 日（金）当会必着。

選考方法：内藤記念科学振興財団選考委員会で審査し、理事会で決定する。

採否の結果は、2018 年 2 月に候補者および推薦者に通知する。

授賞式・顕彰：受賞者夫妻は 2018 年 3 月 20 日（火）に行う贈呈式に出席いただきます。

受賞者には内藤記念科学振興賞（正賞：金メダル、副賞：1,000 万円）を贈呈する。

その他：1) 学会推薦の場合は、学会の公印を捺印する。

2) 内藤記念科学振興財団の理事、監事または評議員推薦の場合は、私印を捺印する。

お問合せ先：公益財団法人 内藤記念科学振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目42番6号 NKD ビル 8 階

TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917

URL <http://www.naito-for.jp/> E-mail joseikin@naito-for.jp

財団法人 井上科学振興財団 第 34 回 (2017 年度) 井上學術賞受賞候補者推薦要項

1. 候補者の対象：自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた研究者で、2017 年 9 月 20 日現在の年齢が 50 歳未満の者
2. 学術賞：本賞：賞状及び金メダル 副賞：200 万円
授賞件数は 5 件以内とする。
(注) 受賞者は、原則として 1 件につき 1 人とする。特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示すこと。但し、この場合においても 1 件として取り扱う。
3. 推薦依頼先：次の団体及び個人に推薦を依頼する。
 - (1) 下記の 36 学会
 - (2) 井上科学振興財団の選考委員経験者（現任者を除く）
 - (3) 受賞後 5 年を経過した井上學術賞受賞者
4. 推薦件数：各推薦学会からは 2 件以内、各推薦者からは 1 件とする。
5. 提出方法：所定の推薦書用紙(井上科学振興財団 HP <http://www.inoue-zaidan.or.jp/> からダウンロード可能)に必要事項を記載し、井上科学振興財団宛てに提出すること。
なお、書類の返却はしない。
日本神経化学会の推薦をご希望の方は、当会研究助成金等候補者選考委員会宛てにご送付下さい。同委員会にて選考の上、推薦候補者を決定致します。
6. 締切期日：2017 年 9 月 20 日（水）井上科学振興財団必着
日本神経化学会の推薦をご希望の方は 2017 年 9 月 4 日（月）必着。
7. 選考：井上科学振興財団選考委員会において選考し、同財団理事会において決定する。
選考の結果は、2017 年 12 月中旬に推薦者に通知される。
8. 学術賞の贈呈：2018 年 2 月 2 日（金）午後 4 時から 東京で開催の予定。
9. 推薦書提出先及び連絡先：公益財団法人 井上科学振興財団
〒 150-0036 東京都渋谷区南平台町 15-15 南平台今井ビル 601
電 話：03-3477-2738
F A X：03-3477-2747
E-mail：inoue-fs@inoue-zaidan.or.jp

応用物理学会	日本気象学会	日本セラミックス協会
高分子学会	日本金属学会	日本天文学会
触媒学会	日本顕微鏡学会	日本動物学会
地球電磁気・地球惑星圏学会	日本細胞生物学会	日本農芸化学会
電気化学会	日本地震学会	日本発生生物学会
電子情報通信学会	日本植物学会	日本物理学会
日本遺伝学会	日本植物生理学会	日本分子生物学会
日本応用数理学会	日本神経化学会	日本分析化学会
日本解剖学会	日本神経科学学会	日本免疫学会
日本海洋学会	日本数学会	日本薬学会
日本化学会	日本生化学会	プラズマ・核融合学会
日本癌学会	日本生物物理学会	有機合成化学協会

株式会社エイコム

シスメックス株式会社

武田薬品工業株式会社

田辺三菱製薬株式会社

日本たばこ産業株式会社 医薬総合研究所

(50 音順)

日本神経化学会雑誌「神経化学」投稿規定

1. 日本神経化学会の機関誌として、日本神経化学会及び関連学会の活動に関する記事、神経化学領域の研究紹介等の投稿を受け付けます。学会からの依頼原稿以外については、投稿前に、日本神経化学会事務局または出版・広報委員会の「神経化学」編集委員長にご相談下さい。なお、大会号の掲載記事については、大会プログラム委員会の指示に従って下さい。
2. 投稿原稿の著者は、すべて日本神経化学会の会員である必要があります。非会員による記事については、日本神経化学会の承認が得られた場合にのみ掲載します。
3. 投稿内容は、他誌に掲載されておらず、また投稿中でもないものに限りします。
4. 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）を含む著作権及び出版著作権は、日本神経化学会に帰属します。なお、ここでいう「著作物」とは、紙媒体に限らず電子媒体も含むものとします。ただし、著者自身による使用を拘束するものではありません。本誌は2016年1月からオープンアクセス化されました。出版された著作物は、本会ホームページ等で公開される可能性があることをご了承下さい。
5. 投稿原稿の採否は、通常号については出版・広報委員会が、大会号については大会プログラム委員会が決定します。受理した原稿の体裁は、全体の統一のため出版・広報委員会または大会プログラム委員会において修正することがあります。
6. 執筆要領
(以下は通常号についての要領です。大会号については、大会プログラム委員会の指示に従って下さい。)
 - 1) 原稿は全て電子情報化して下さい。本文は一般的な文書作成ソフト（Microsoft Office Word 等）にて入稿をお願い致します。図表・写真も、jpeg、tiff、Illustrator、PowerPoint、Excel 等、一般的に使われているデータ形式でご用意ください。解像度については、できる限り高い状態のものでお願い致します。電子情報化できない図表・写真に関しましては、制作会社でスキャニング処理を致しますので原稿をお送り下さい（郵送時等に破損する可能性がありますので、極力電子化をお願い致します）。
 - 2) 「神経化学」は、電子媒体を含めて日本神経化学会が独自の著作権をもつ雑誌ですので、お使いになる図表や写真については他の雑誌との複版にならないようご注意ください。複版の場合は必要に応じた許諾を事前に必ずとっていただきますようお願い致します。
 - 3) 字数制限は設けません。ご参考までに、既刊の「神経化学」をご覧ください。
 - 4) 原稿はプリント出力したもの（図表、写真は、まとめて添付し、本文中に挿入されるべき位置を明示する）と電子媒体（CD ないしは USB メモリー）の両者をお送り下さい。例外として、文章のみの原稿は学会から E-メール添付ファイルとして送付していただく依頼をした場合に限り E-メールに添付してご送付下さい。
 - 5) 引用文献は、本文中には文献番号を引用順に括弧に入れて示し、本文の最後に一括して引用順に並べて記載して下さい。詳細は、既刊の「神経化学」をご覧ください。
例：
 - 1) Sekine, K., Honda, T., Kawauchi, T., Kubo, K. and Nakajima, K. The outermost region of the developing cortical plate is crucial for both the switch of the radial migration mode and the Dab1-dependent “inside-out” lamination in the neocortex. *J Neurosci*, 31, 9426-39 (2011).
 - 2) …
 - 6) 投稿原稿の著者以外による未発表データ等を“personal communication”や“unpublished data”として記載する場合は、公表に関してご本人の同意があることを証明できる文書を投稿時に必ず添付していただきますようお願い致します。
 - 7) 原稿の送付先は、学会から著者の方に直接お知らせします。
 - 8) 投稿内容に関連して開示すべき利益相反（conflict of interest）がある場合には、その内容を記事の末尾等に記載して下さい。利益相反に関する一般的な概念については、“Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals” (http://www.icmje.org/ethical_4conflicts.html) をご参照下さい。

複写をご希望の方へ

日本神経化学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

権利委託先：一般社団法人 学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3 階

電話：03-3475-5618 FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接日本神経化学会(e-mail：jsn@imic.or.jp FAX：03-5361-7091)へお問合せ下さい。

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction. Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc. Please contact the copyright holder directly.

Users in countries and regions where there is a local PRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance(JAACC).

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/>

E-mail info@jaacc.jp

Fax +81-33475-5619

神経化学 56 巻 第 2 号

平成 29 年 8 月 28 日発行

編集兼発行者 日本神経化学会

代 表 者 和田圭司

発 行 者 日本神経化学会

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館

一般財団法人 国際医学情報センター内

印 刷 所 株式会社 仙台共同印刷

.....

仙台から新しい未来を CREATE THE FUTURE

未来を創る購買システム 

POLESTAR

<http://www.science-tour.com>

仙台和光純薬

試薬・受託合成・臨床検査薬
分析用理化学機器・消耗品・器材他
<http://www.sendaiwako.com>

仙台市若林区卸町東二丁目2-32

TEL : 022 (239) 2700 FAX : 022 (239) 2705

研究分野の試薬・消耗品・機器 トータルソリューションを提供する

東北化学薬品株式会社

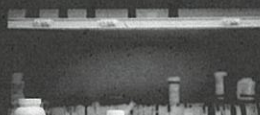
八戸支店 TEL : 0178-43-9236 FAX : 0178-44-7629
青森支店 TEL : 017-738-4451 FAX : 017-738-0278
秋田支店 TEL : 018-824-1201 FAX : 018-824-1166
岩手支店 TEL : 0197-68-2271 FAX : 0197-68-2440
仙台支店 TEL : 022-345-4870 FAX : 022-345-4495
山形支店 TEL : 0237-47-0068 FAX : 0237-47-0285
東京支店 TEL : 03-3866-9777 FAX : 03-3866-9735
むつ小川原営業所 TEL : 0175-73-2271 FAX : 0175-73-2272
大館営業所 TEL : 0186-45-0566 FAX : 0186-45-0570
盛岡営業所 TEL : 019-601-7533 FAX : 019-645-8911
鶴岡営業所 TEL : 0235-24-9786 FAX : 0235-24-9875
米沢営業所 TEL : 0238-24-7622 FAX : 0238-24-7667
福島営業所 TEL : 024-597-8102 FAX : 024-597-8103
生命システム情報研究所 TEL : 019-601-7534 FAX : 019-645-8911



化学工業薬品



食品



臨床検査試薬



農業資材



東北化学薬品株式会社

〒036-8655 青森県弘前市大字神田一丁目3-1

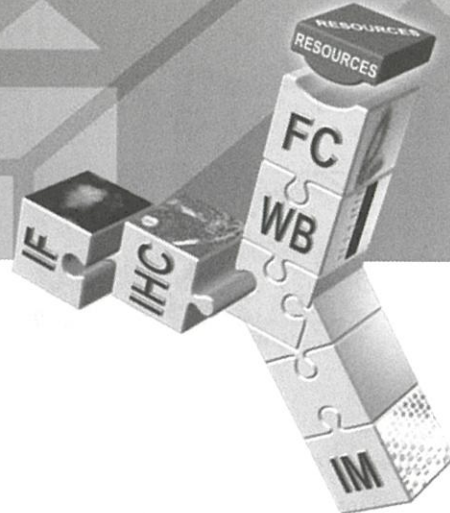
TEL : (0172) 33-8131 FAX : (0172) 33-6800 URL : <http://www.t-kagaku.co.jp>

Think Antibody, Think Bio-Rad

これからは抗体も バイオ・ラッド

世界有数の抗体メーカーAbD Serotec社が
ラインアップに加わり、
バイオ・ラッド製品・アプリケーション
の幅がより広く、より深くなりました。

- ・ 1次抗体、2次抗体、組換えタンパク質、イムノアッセイキット、バッファーなど
12,000品目を超えるラインアップ
- ・ 論文の実績多数
大人気製品anti-F4/80抗体は480報以上の論文数
(CiteAbより)
- ・ お求めやすい価格
1次抗体: ¥9,400~
PrecisionAb抗体シリーズ: ¥24,000~
(*トライアルサイズ抗体+Positive control lysate付の場合)

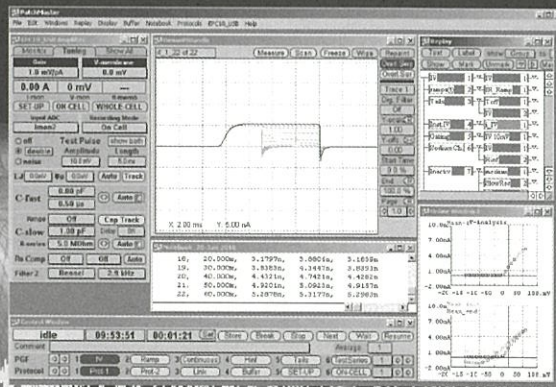
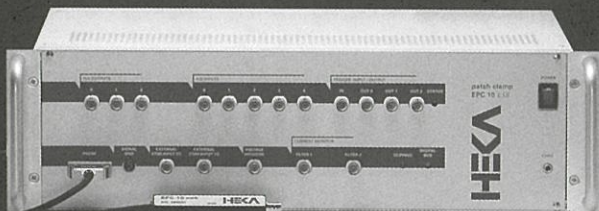


bio-rad-antibody.jp

BIO-RAD

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

HEKA社が誇るパッチクランプアンプの最高峰



EPC10 USB 1ch パッチクランプ

Patchmaster

- USB インタフェース一体型でこれ1台で動作
- 洗練されたデザインと高品質なアンプ性能
- 広範囲のゲイン制御で幅広いアプリケーションに

- パッチクランプ記録・解析用ソフトウェア
- 充実したオンライン解析機能
- 刺激プロトコルで広範なイオンチャネルに対応



バイオリサーチセンター株式会社

www.brck.co.jp

← お得な情報が満載です!! sales@brck.co.jp ← お問い合わせはこちらまで!

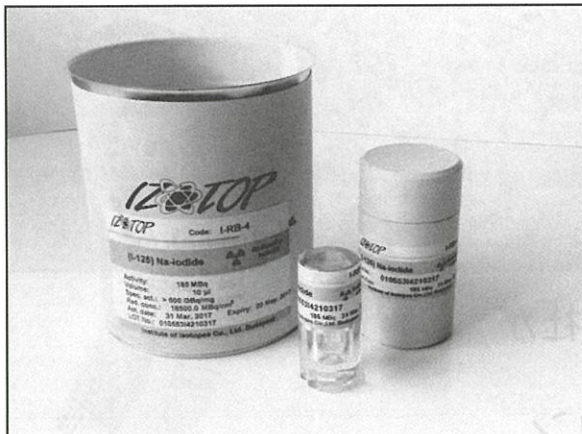
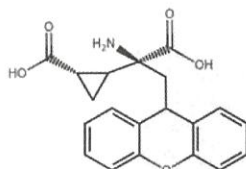
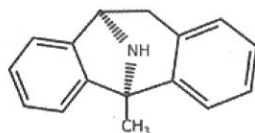


Figure : Iodine -125 Radionuclide

LY 341495



MK 801



RADIOISOTOPE

取扱化合物

Amino acids
Autoradiography Standards
Biological Chemicals
Carbohydrates
Ceramides
Coenzyme A
Drugs
Fatty acids
Glitazones
Inositides
Isoprenoids
Lipids
Neurochemicals
Nucleotides
Peptides
Pesticides,
Statins
Steroids
Toxins

ANAWA
Biomedical Services & Products

ARC American
Radiolabeled
Chemicals, Inc.

BlyChem

IZOTOP

特別合成承ります。
お気軽にお問い合わせください。

室町機械株式会社
営業部 アイソトープ課

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-2-1
Tel : 03-3242-1601 Fax : 03-3242-1608
Email : isotope@muromachi.com
URL : <http://www.muromachi.com/>

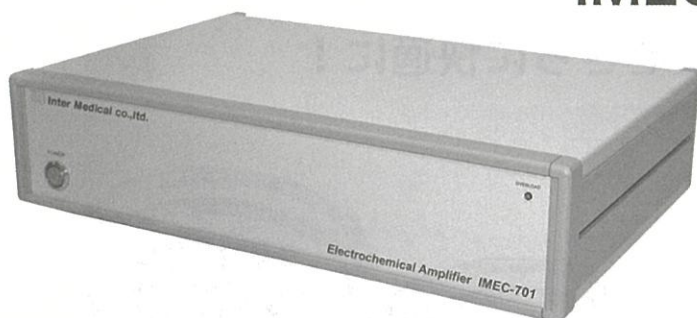
公益社団法人
日本アイソトープ協会

〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45
Tel : 03-5395-8033 Fax : 03-5395-8055
URL : <http://www.jrias.or.jp>

電気化学測定装置

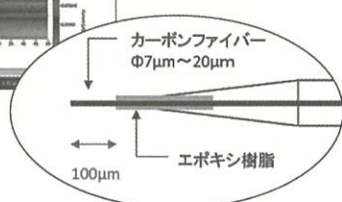
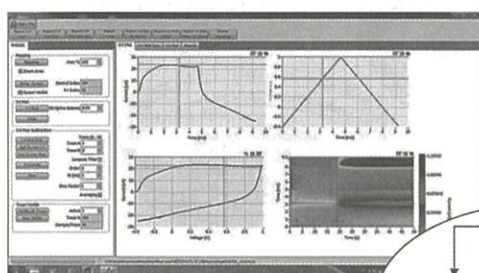
in Inter Medical co.,ltd.
株式会社 インターメディカル

IMEC-701



【特長】

- センサーを用いて、*in-vivo*、*in-vitro* におけるドーパミンやグルタミン酸などの濃度変化をリアルタイムに計測できるシステムです。
- fast-scan cyclic voltammetry など、様々な電気化学的手法が可能で、速いレスポンスにも対応しております。



【測定対象】

- ・酸素 ・一酸化窒素
- ・ドーパミン ・グルタミン酸
- ・セロトニン
- ・その他検討中

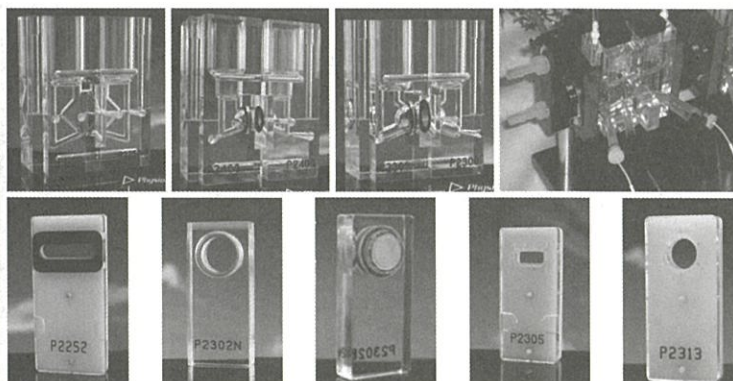
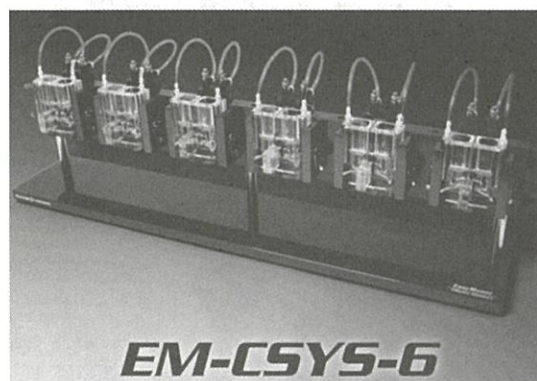
Ussing Chamber System

Physiologic Instruments
for Medical Research

Ussing Chamber Systemは、短絡電流法を使い上皮膜における電解質輸送を電気生理学的に測定する装置です。腸、腎臓、膀胱、気管など原理的にはどのような膜の輸送にも使用することが可能です。

EasyMount システム

3種類のチャンバーと数十種類のスライダーで構成します。チャンネル数は1～8chが選択可能です。



in Inter Medical co.,ltd.
株式会社 インターメディカル

<本 社>
〒464-0850 名古屋市千種区今池三丁目40番4号
TEL(052)731-8000 (代) / FAX(052)731-5050
website : <http://www.intermedical.co.jp/>
E-mail : info@intermedical.co.jp

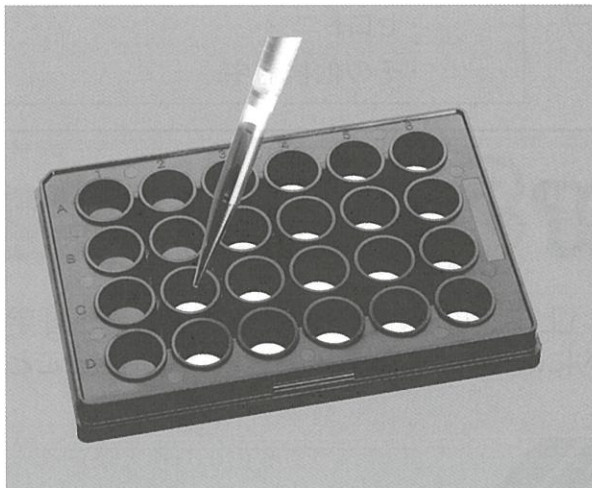
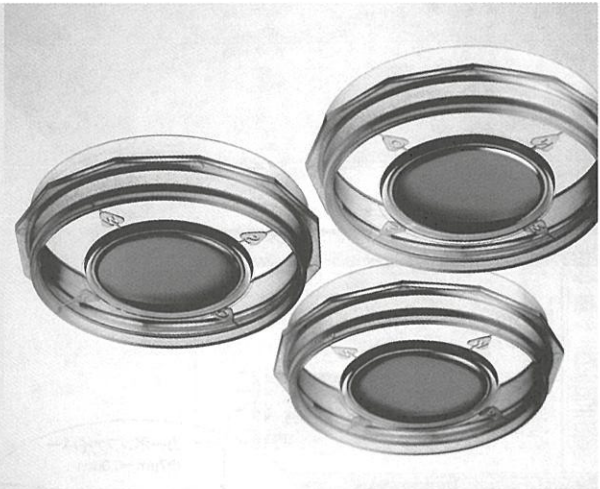
セルイメージングと細胞培養をさらに快適に！

セルイメージングディッシュ

エッペンドルフセルイメージングディッシュがあれば、生細胞や固定細胞の高解像度での顕微鏡観察時に最良の結果が得られます。

底面のガラス厚は 145 μm と 170 μm の 2 種からお選び頂けます。

- > TC 処理（付着細胞培養用表面処理）により細胞の付着を促進
- > 2 mm の深いイメージングエリア：
細胞および試薬の節約が可能
- > 持ちやすいデザイン



セルイメージングプレート 24 / 96 ウェル

エッペンドルフセルイメージングプレートはバックグラウンドノイズを軽減するブラックウェルプレート。ガラスボトム (170 μm) とフィルムボトム (25 μm) の 2 種からお選び頂けます。

- > ハイコンテンツスクリーニングにも対応
- > ガラスボトムは平面性に優れ信頼性の高い結果が得られます
- > フィルムボトムはガス透過性および UV 透過性が高く、光毒性 / 低酸素研究に最適

エッペンドルフ日本法人
設立 20 周年記念キャンペーン開催中！
対象製品が 25 ~ 40% OFF！
キャンペーン期間：10 月 31 日まで



詳細はこちら

CO₂ インキュベーター Galaxy 170

シンプルイズベスト。
庫内からファンを排除し、さらに表面の凹凸を削減することで、コンタミネーションリスクの発生を抑え、日常メンテナンスの手間を軽減します。

- > ファンレスチャンバー
- > シームレス構造
- > 高温滅菌（オプション）



カタログ PDF



Contact: info@eppendorf.jp / www.eppendorf.com

エッペンドルフ株式会社 101-0031 東京都千代田区東神田 2-4-5 Tel: 03-5825-2361 Fax: 03-5825-2365
Eppendorf® and the Eppendorf Brand Design are the registered trademarks of Eppendorf AG, Hamburg, Germany.
All rights reserved, including graphics and images. Copyright © 2017 by Eppendorf AG.

Protein Misfolding Diseases and Therapy 2017

Satellite symposium in JSN 2017 meeting

Date | September 6, 2017 13:00-20:00

Venue | Sendai International Conference Center (仙台国際センター)



Organizer

Dr Kohji Fukunaga
(Tohoku University)



Special Lecture

Dr Ronald Melki
(Paris-Saclay Institute of Neuroscience, Paris)

“Structural and functional characterization of alpha-synuclein seeding assemblies in Parkinson’s disease and related synucleinopathies”

Speakers

Chiara Zurzolo (Institute Pasteur)
Laura J Blair (University of South Florida)
Yasushi Kawata (Tottori University)
Atsushi Takeda (Sendai Nishitaga Hospital)
Takafumi Hasegawa (Tohoku University)

Yuji Owada (Tohoku University)
Kazuhiko Yanai (Tohoku University)
Kenta Teruya (Tohoku University)
Kohji Fukunaga (Tohoku University)

Sponsorship

Strategic Research Program for Brain Sciences from AMED, Japan
(国立研究開発法人日本医療研究開発機構) <http://lewybody2016.jp>

Co-host

Tohoku University Graduate School of Pharmaceutical Sciences

Attendance is free of charge and reservation is not required.

Secretariat

Dr Yasushi Yabuki. Department of Pharmacology, Tohoku University Graduate School of Pharmaceutical Sciences
Tel: 022-795-6838; Fax: 022-795-6835, E-mail: secretariat@jsn2017.jp